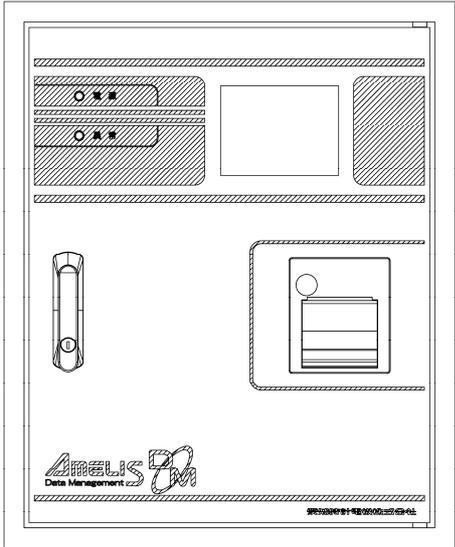




保証書付

アメリスDM 取扱説明書 (日常操作編)

型式 CO8-2



「アメリスDM」は、水道・電力など各種メーターに応じた検針を行い、使用量・料金を計算・印刷するシステムです。あらかじめ設定しておいた単価情報により、きめ細かい料金管理がおこなえるため、検針後のわずらわしい料金計算などの業務がいりません。

また、パソコンと接続することで、料金請求書を作成することも可能です（パソコンはオプション）。

検針、料金票印刷ともに指定日に自動でおこなえるので、日頃操作される方にしていただくのは、記録紙の補充など簡単な作業だけです。

短い周期で検針を行い、水道・電力などの検針値をCSV形式で保存することができ、SDカードやUSBメモリで取り出すことができます。

この取扱説明書は、「アメリスDM」の取扱方法のうち、日常的な操作手順や注意事項が書かれています。本書を必ず読んで本機を使用してください。また、必要なとき参照できるように大切に保管してください。

また、この取扱説明書には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

取扱説明書は他に「保守点検操作編」があります。

第2版
2016年 2月

目 次

	頁
§ 1. 安全に正しくお使いいただくために	1
§ 2. 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください	1
§ 3. 正しくお使いいただくために	2
§ 4. システム構成例	3
4-1. 外観図	5
4-2. 各部の名称	5
§ 5. 記録紙の交換方法	6
5-1. プリンター、記録紙に関する注意事項	6
5-1-1. 記録紙交換上の注意	6
5-1-2. 記録紙の取扱上の注意	6
5-1-3. 記録紙のメーカーと型式について	6
5-2. 交換手順	7
§ 6. 管理される方の各操作について	8
6-1. メニューの流れ	9
6-2. 検針操作メニュー	10
6-2-1. 検針票（メーター値票）の表示・印刷	11
(1) 自動検針モードが設定されているときの操作手順	11
(2) 手動検針モードが設定されているときの操作手順	16
6-2-2. 検針票（使用量票）の表示・印刷	23
(1) 自動検針モードが設定されているときの操作手順	23
(2) 手動検針モードが設定されているときの操作手順	29
6-2-3. 検針票（料金票）の表示・印刷	37
(1) 自動検針モードが設定されているときの操作手順	37
(2) 手動検針モードが設定されているときの操作手順	43
6-2-4. 入居・退去時の検針	51
(1) 全て（全テナント全メーター）に対する入退去処理	51
(2) 任意のテナントに対する入退去処理	58
(3) 任意メーター種別に対する入退去処理	64
(4) 任意テナント任意メーターに対する入退去処理	70
(5) 過去の入退去データの閲覧・印刷	77
6-2-5. 現在の検針値（メーター値、使用量、料金）の確認	83
6-3. エネルギー管理メニュー	91
6-3-1. ロガーデータ転送	91
6-3-2. 検針票転送	97
6-3-3. 履歴転送	104

6-4. 設定メニュー	108
6-4-1. 時刻設定	108
6-4-2. 検針方法設定	111
6-4-3. 固定費設定	115
6-4-4. テナント情報設定	119
6-4-5. 単価設定	125
6-4-6. 画面調整設定	132
6-4-7. 履歴	135
6-4-8. ロガー設定	140
6-4-9. ネットワーク設定	144
§ 7. 警報・故障（アラーム・エラー表示）の見分け方と処置方	152
7-1. 画面例	152
7-2. 異常の復旧方法	152
§ 8. 日常点検について	157
§ 9. 長時間使用しない場合の処置	158
§ 10. 廃棄する場合の処置	158
§ 11. 機器仕様	159
11-1. アメリスDM検針盤	159
11-2. 端末伝送器（パルス4点入力用）	160
11-3. 端末伝送器（パルス16点入力用、パルス32点入力用）	160
11-4. 端末伝送器（8ビット電文16点入力用）	161
11-5. 最大表示（印刷）桁数	161
§ 12. 付属品	161

添付 保証書

§ 1. 安全に正しくお使いいただくために

この指導書の表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表 示	意 味	該当頁
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。	なし
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。	1 頁
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定されること、及び物理的損害のみの発生が想定されることを表しています	2、6 頁
注 記	取り扱いを誤った場合、品質、性能、信頼性が損なわれることが想定されることを表しています。	2、6、8、51、64、91、97、104、108、111、140、151、158 頁

警告表示用図記号について次のような意味があります。



§ 2. 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください。

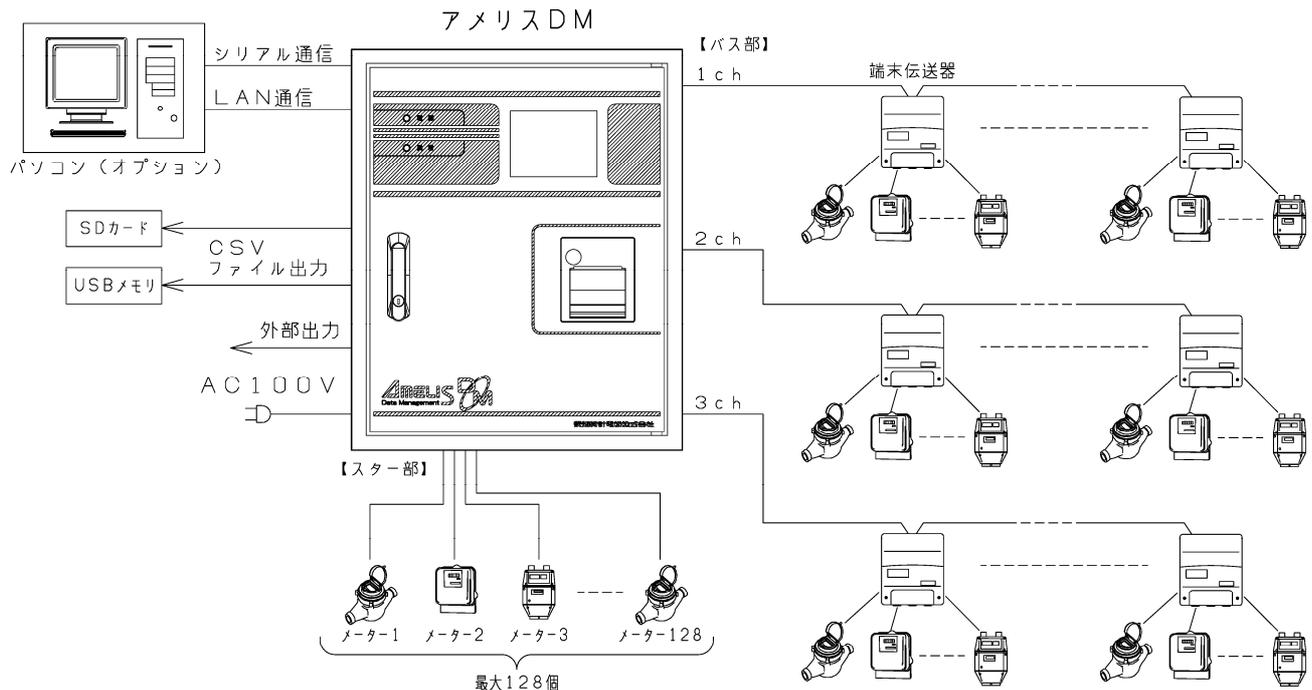
 警告	
	濡れた身体で操作、作業をしないでください。 感電の恐れがあります。 とくに、扉を開けて作業する場合は注意してください。
	本機の内部にはAC100Vが使用されています。 本機の扉を開けて作業をする場合は 直流電源部 や「AC100V」と書かれているところは触れないようにしてください。 感電の恐れがあります。
	内蔵電池（バックアップ電池、バックアップバッテリー）は充電、加熱、火中への投入等をしないでください。 発火、破裂等の恐れがあります。
	内蔵電池（バックアップ電池、バックアップバッテリー）は分解しないでください。 刺激性ガスの発生する恐れがあります。

⚠ 注意	
	<p>本機には水などの液体がかからないようにしてください。 感電や故障の原因になります。 万一、液体がかかった場合は電源をOFFにして保守契約先に連絡してください。</p>
	<p>本機の扉を開けて作業する場合は、注意して作業をしてください。 作業中に頭部などを扉のカドで打つ恐れがあります。</p>

§ 3. 正しくお使いいただくために。

注 記	
	<p>本機の設置場所・環境は「アメリスDM 工事指導書 工事編」を参照してください。</p>
	<p>本機のそばで喫煙をしないでください。 タバコの灰が本機の内部にはいると故障の原因になります。</p>
	<p>本機の近くに磁気を発生するもの（変圧器やモータ等を使用している機器など）や磁気を帯びているもの（スピーカーなど）を置かないでください。 誤動作の原因になります。</p>
	<p>本機を改造したり、分解したりしないでください。 故障の原因になります。</p>
	<p>画面は指で押してください。 先のとがったもので押さないでください。 故障の原因になります。</p>

§ 4. システム構成例



解 説

アメリスDM検針盤（以下：アメリスDM）には、検針盤に直接メーターを接続するスター部と、端末伝送器を介して接続するバス部が存在します。

スター部は、標準ではパルス出力付きメーターが64台接続可能です。オプションとして、32台単位で最大64台の増設が可能です（最大128台まで接続可能）。また、オプション増設は32台単位で8ビット電文用とパルス用を選択可能です。

バス部は1ch（チャンネル）～3chの3系統があり、各チャンネルにアメリスDM用端末伝送器が接続されます。端末伝送器は、1チャンネルあたり最大100台まで接続でき、各チャンネルの合計で最大300台接続できます。

端末伝送器にはパルス4点入力用、パルス16点入力用、パルス32点入力用、8ビット電文16点入力用の4種類があり、それぞれのメーター接続については以下の通りです。

- ・パルス 4点入力用：パルス出力付きメーターが 4台接続可能
- ・パルス16点入力用：パルス出力付きメーターが16台接続可能
- ・パルス32点入力用：パルス出力付きメーターが32台接続可能
- ・8ビット電文16点入力用：8ビット電文出力付きメーターが16台接続可能

ただし、アメリスDMで管理することができるメーター数は、スター部、バス部の合計で最大900台までという接続制限があります（例：バス部にパルス32点入力用の端末伝送器を28台設置しても、スター部に5台メーターが繋がっていれば、バス部に接続できるメーターは895台までです）。

アメリスDMには外部出力機能があります。異常発生時に外部出力の接点を閉じてお知らせします。この接点をランプやブザーなどに接続すれば、離れた場所でアメリスDMの異常を知ることができます。

アメリスDMは、USBポートを1個、SDカードスロットを1個搭載しています。検針票やロガーデータ、履歴データ等の検針盤内部で保持しているデータをCSV形式のファイルにしてダウンロードすることができます。

アメリスDMにはLANポートを1個搭載しています。ブラウザ（Internet Explorer 8）を使用して、検針票やロガーデータ、履歴データ等の検針盤内部で保持しているデータをWeb画面にて閲覧することができます。また、データをCSV形式のファイルにしてダウンロードすることができます。

動作概要

●検針モード

自動検針モード

設定されている検針日時になると「アメリスDM」が自動的に検針をおこない、検針値をメーター値として記憶します。

メーター値を元にして作成できる帳票はメーター値票、使用量票、料金票の3種類があり、1種類を選択します。

- ・メーター値票・・・テナント毎に設定されているメーターの検針値を記録します。
- ・使用量票・・・前回検針したメーター値との差から使用量を算出し、検針値・使用量を記録します。
- ・料金票・・・前回検針したメーター値との差から使用量を算出し、さらにあらかじめ設定されている単価情報により料金を算出します。その他の請求固定費と合わせて請求料金を算出し、検針値・使用量・料金（請求金額）を記録します。

手動検針モード

検針をおこないたいタイミングに画面操作にて検針をおこないます。記録する帳票は「自動検針モード」と同様、メーター値票、使用量票、料金票の3種類から1種類を選択します。

●印刷モード

自動印刷モード

自動検針がおこなわれたタイミングで検針後自動的に帳票（3種類から選択した1種類）を印刷します。

手動印刷モード

画面操作にて「アメリスDM」に保存されている検針データを選択し、印刷します。

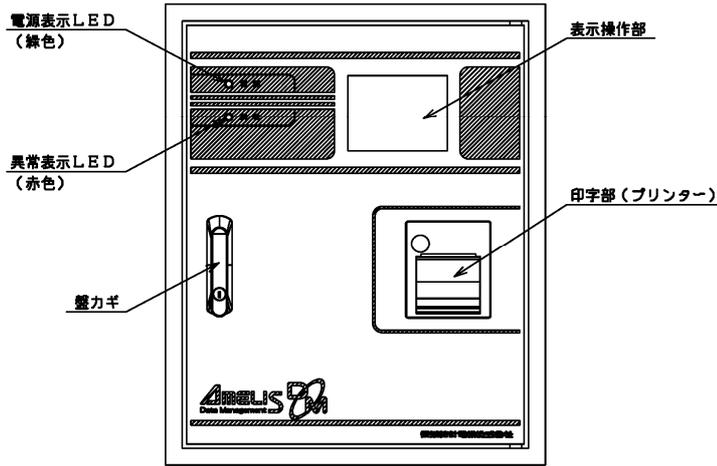
また、シリアルポートを介してパソコン（専用ソフトのインストールが必要）を接続し、パソコンから「アメリスDM」に通信すると、検針値・請求書の発行がおこなえる等、さらに機能がアップします。（ただし、パソコンはオプションです）

LANポートを介してパソコンを接続し、ブラウザ（Internet Explorer 8）を使用して、検針票やロガーデータ、履歴データ等の「アメリスDM」で保持しているデータをWeb画面にて閲覧することができます

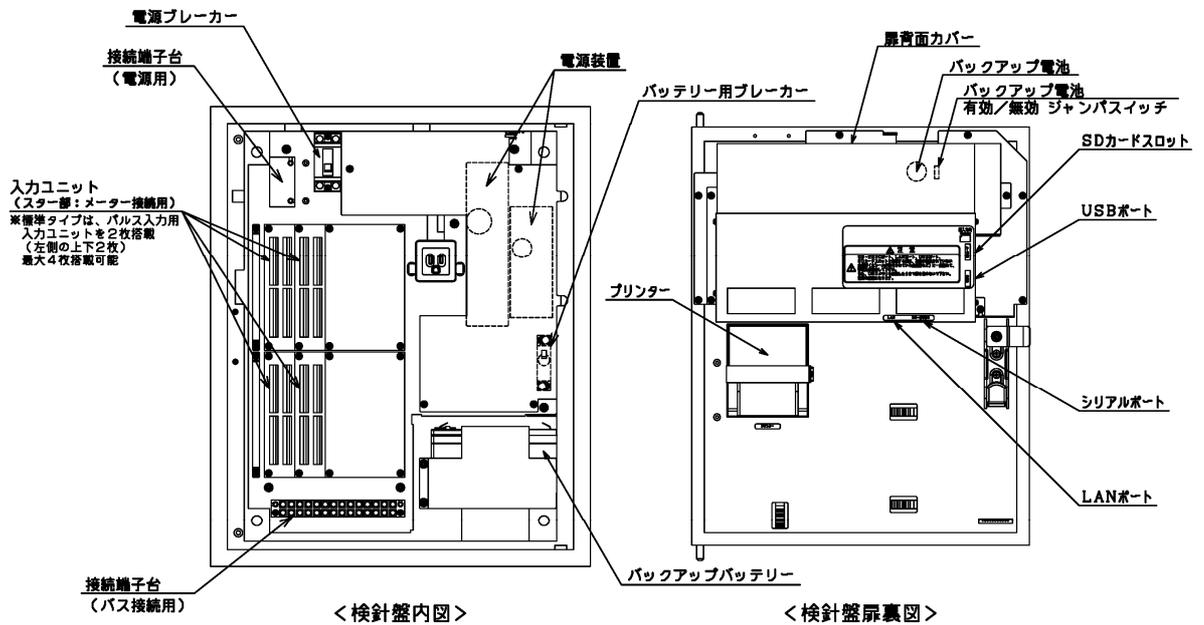
SDカードスロット、USBポートから検針票やロガーデータ、履歴データ等の検針盤内部で保持しているデータをCSVファイルにしてダウンロードすることができます。

なお、このシステム構成例は実際のシステム構成とは異なることがあります。

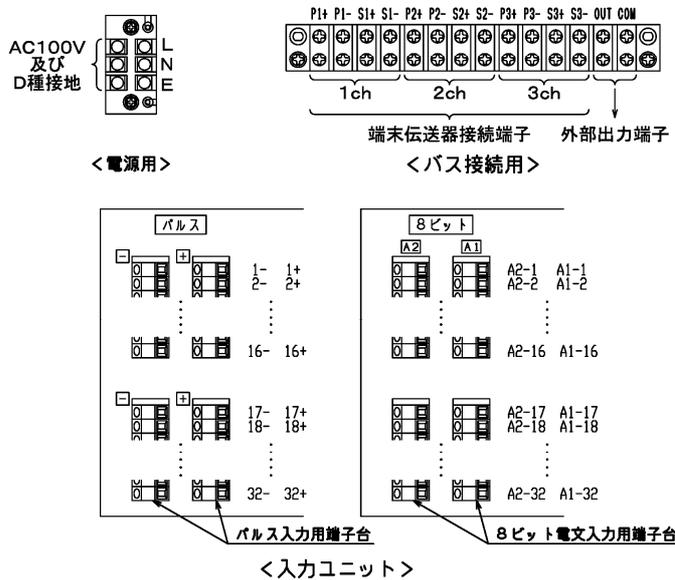
4-1. 外観図



4-2. 各部の名称



●接続端子台 詳細 (電源用、バス接続用の端子台ネジ部は透明カバーで保護されています)



§ 5. 記録紙の交換方法

記録紙の両端に赤い帯状の線が現れ始めたら記録紙の残りが少なくなっています。完全に記録紙がなくなると画面に「プリンター紙なし」が表示されます。「プリンター紙なし」が表示されるまで使い続けても問題ありませんが、なるべく赤い線が現れた時点で記録紙を交換するようにしてください。

5-1. プリンター、記録紙に関する注意事項

5-1-1. 記録紙交換上の注意

 注意	
	印刷直後は、サーマルヘッド部周辺が高温になっていることがあります。 印刷直後に記録紙を交換するときは、サーマルヘッドには絶対にさわらないでください。
	プリンターにはペーパーカッターが取り付けられています。 ペーパーカッターの刃先に触れないようにしてください。けがをする恐れがあります。
	記録紙は必ず指定の用紙を使用してください。 指定以外の用紙を使用するとプリンターの故障の原因となります。

5-1-2. 記録紙の取扱上の注意

注 記	
	乾燥した冷暗所に保存してください。 保存状態によっては記録紙が変質・変色し、印刷不良の原因となります。
	固いもので強くこすらないでください。 記録紙が変質・変色し印刷不良の原因となります。
	有機溶剤の近くに置かないでください。 記録紙が変質・変色し印刷不良の原因となります。
	塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープ等に長時間接触させないでください。 記録紙が変質・変色し印刷不良の原因となります。

5-1-3. 記録紙のメーカーと型式について

必ず下記の指定用紙を使用してください。

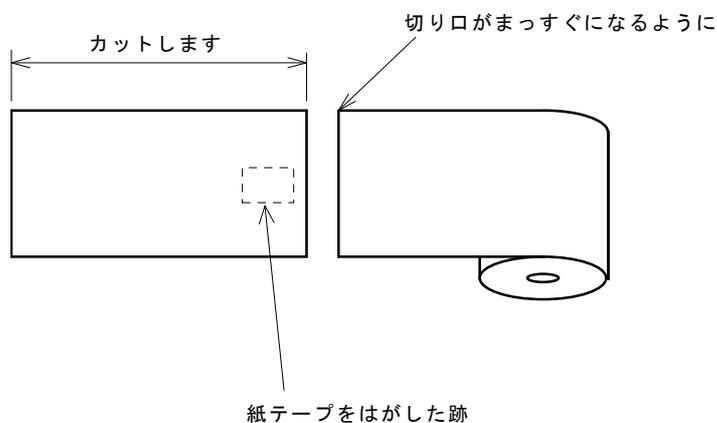
メーカー：三栄電機株式会社製
型 式：μTP-58E

5-2. 交換手順

(1) 新しい記録紙の準備をします。

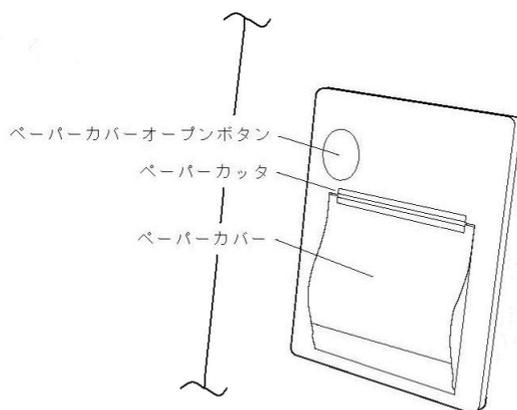
新しい記録紙は先端が紙テープで固定されています。まず紙テープをはがしてください。

紙テープをはがした跡には、記録紙の性質上印刷はされませんので、下図のように先端からテープをはがした後までをカットしてください。



(2) ペーパーカバーを開けます。

下図のペーパーカバーオープンボタンを押します。



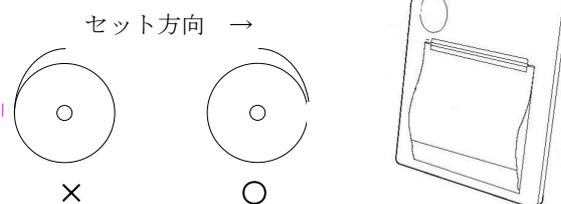
(3) 記録紙をセットします。

記録紙をプリンター内に納め、記録紙の先端を少し引き出してペーパーカバーとペーパーカッターではさみこむようにセットします。



注 記

記録紙の方向に注意してください。



セット方向を間違えると記録紙が裏側となり、印刷できません。

§ 6. 管理される方の各操作について

「アメリスDM」の操作には、大きく分けて日常的に操作していただく「日常操作」と、メンテナンスや点検など、日頃はあまり操作しない「保守点検操作」に分けられます。

本編ではおもに「日常操作」について解説していますが、必要に応じて「保守点検操作編」もご覧ください。

操作は全て表示操作部（画面）でおこないます。

なお、表示操作部は5分以上操作がないとバックライトを消灯して画面を消します。バックライトを点灯させるには画面のどこでもかまいませんので指で軽くふれてください。

画面表示は説明用のものであり、実際のシステム構成によって多少画面表示が異なります。また、印刷の関係上、文字の形・表示位置が実際の画面とは多少異なる場合があります。

注 記



画面は指で軽くふれてください。

先端のところがったもので押さないでください。

画面が破損し、操作ができなくなる可能性があります。

「アメリスDM」には、検針と検針票（メーター値票、使用量票、料金票の内いずれかを選択）の作成方法として3つのモードがあります。

- (1) 自動検針+自動印刷モード・・・検針日になると自動的に検針をおこない、検針票も自動で印刷します。
印刷された検針票を回収するだけで特に操作は必要ありません。
ただし、全て自動でおこないますので、記録紙の残量に気を付けてください。
- (2) 自動検針+手動印刷モード・・・検針日に自動で検針をおこないます。検針票は手動で印刷してください。
- (3) 手動検針モード・・・・・・・・・・検針、印刷を操作でおこないます。検針票を作成することにより、検針の処理をおこないます。

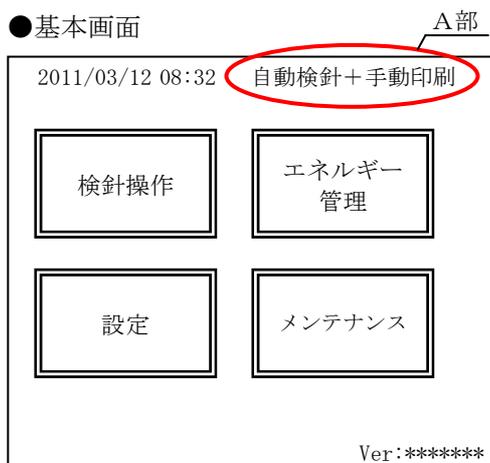
運用形態に合わせてお好みのモードを選択してください。

モード選択手順は取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

6-1. メニューの流れ

「アメリスDM」には4つの基本メニューがあり、各基本メニューから詳細メニューへと移っていきます。

●基本画面



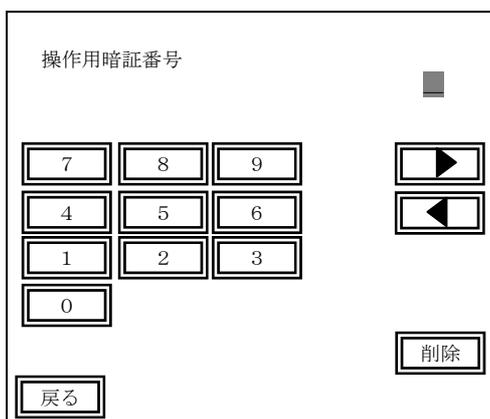
エラーが発生していなければ、電源投入時またはバックライト点灯時にこの画面が表示されます。

選択したモードによって、A部には

- ①自動検針+自動印刷
- ②自動検針+手動印刷
- ③手動検針

のいずれかが表示されます。

●操作用暗証番号入力画面



また、セキュリティのため『操作用暗証番号』が設定されている場合は、電源投入時またはバックライト点灯時に暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号入力後に基本画面が表示されます。

※モードの変更方法、操作用暗証番号の設定については取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

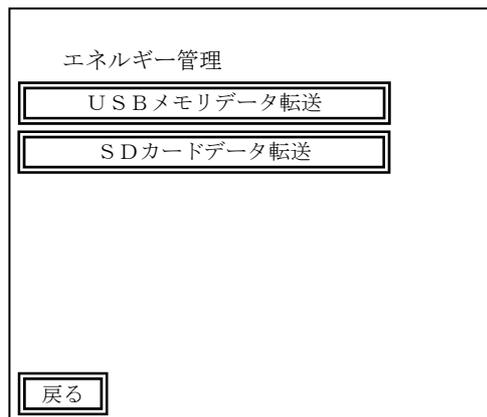
各メニューのボタンを押すことにより、選択したメニューの詳細メニュー画面に遷移します。

● 検針操作メニュー



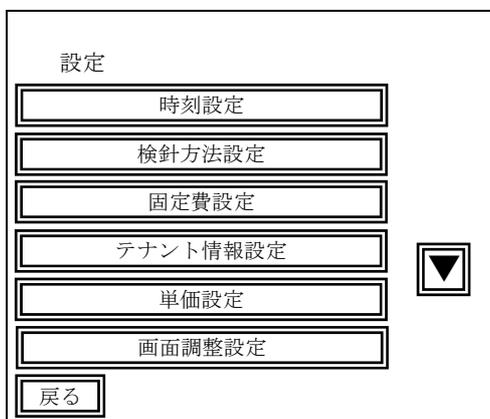
検針メニューは本編10ページから操作説明が記載されています。

● エネルギー管理メニュー



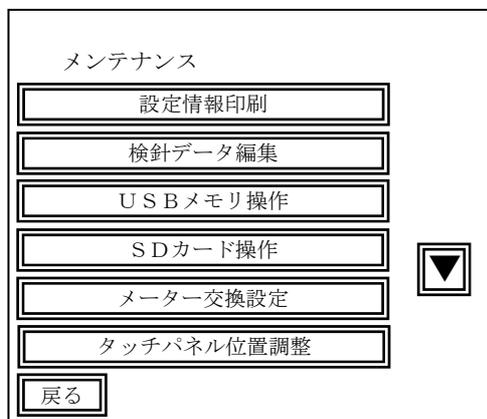
エネルギー管理メニューは本編91ページから操作説明が記載されています。

● 設定メニュー



設定メニューは本編108ページから操作説明が記載されています。

● メンテナンスメニュー



メンテナンスメニューについては、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

各詳細メニュー画面において、「戻る」を押すと基本画面に戻ります。

6-2. 検針操作メニュー

検針票に関する操作(閲覧、作成)をおこないます。また、操作時点のメーター指針値の確認がおこなえます。

ここでは、

- 検針票(メーター値票、使用量票、料金票※)の表示・印刷
- 入居・退去時の検針(手動検針モードにはありません)
- 現在の検針値(指針値、使用量、料金)の確認

がおこなえます。

※検針票は、メーター値票、使用量票、料金票の中から1つ選択して設定されています。設定方法については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

6-2-1. 検針票（メーター値票）の表示・印刷

自動検針モードが設定されている場合は、検針日ごとの検針値を使用してテナントごとにメーター値票を作成します。

手動検針モードが設定されている場合は、そのつど検針を行いテナントごとにメーター値票を作成します。

作成したメーター値票は、表示及び印刷できます。

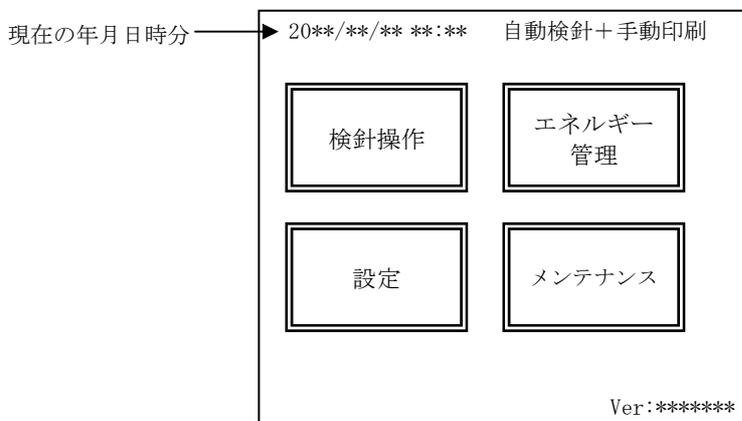
なお、自動検針+自動印刷モードが設定されている場合は、検針後自動的にメーター値票が印刷されますので、再度メーター値票が必要になった場合に印刷操作をおこなってください。

ここでは、

- 全て（全テナント全メーター）
 - 任意テナント
 - 任意メーター種別
 - 任意テナント任意メーター種別
- ごとに対象を選択することができます。

(1) 自動検針モードが設定されているときの操作手順

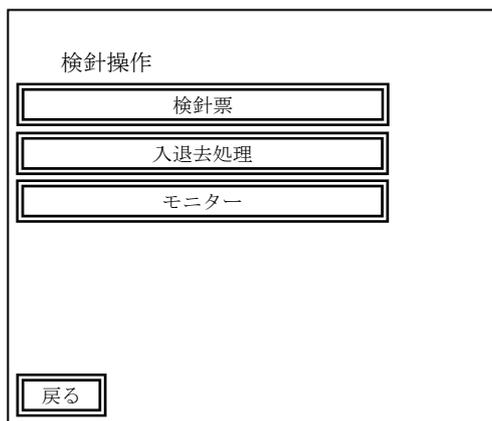
①バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。



検針票 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

入退去処理 …… P 5 1 参照

モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **検針票** を押すと次の画面になります。

メーター値票 を押します。

戻る を押すと<画面 2 >の戻ります。

<画面 3 >

④ **メーター値票** を押すと次の画面になります。

1画面で表示できない数の過去データがある場合は**▲**、**▼**ボタンで表示されていない過去データを表示させます。

表示・印刷させたい検針票の日付を選択します。

※検針周期の設定により、閲覧できる過去データの保存周期は異なります。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

⑤ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

表示、印刷させたいメーターを選択します。

全て . . . P 1 3 ⑥へ
任意テナント . . . P 1 4 ⑨- 1 へ
任意メーター種別 . . . P 1 4 ⑨- 2 へ
任意テナント任意メーター種別 . . . P 1 4 ⑨- 3 へ

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 5 >

⑥ **全て** を押すと次の画面になります。

設定されているテナント名称 → テナント**
設定されているメーター名称 → 水道-001

メーター値票

検針日時: **年**月**日**時**分
メーター値: * m³

戻る **次頁** **印刷**

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターのメーター値票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターのメーター値票を表示している場合は、次のテナントの最初に設定されているメーターのメーター値票を表示します。
▼ を押すと、**▲** が表示されます。
▲ は **▼** と逆の動作をします。
次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターのメーター値票を表示します。

<画面6>

⑦ **印刷** を押すと次の画面になります。

メーター値票
印刷しますか?

しない **実行**

実行 を押すと、選択した検針日時のメーター値票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面3>に戻ります。

<画面7>

⑧ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

メーター値票
印刷中

中止

本画面表示中に、選択した検針日時のメーター値票を印刷します。
印刷終了後<画面3>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面3>に戻ります。

印刷例はP15を参照してください。

<画面8>

⑨-1 <画面5>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面9>

⑨-2 <画面5>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面10>

⑨-3 <画面5>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面12>を表示します。

<画面11>

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面12>

<印刷例>

```

*****
          ーター値票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
テナント1

メーター種別 水道-001
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値      ** m3

メーター種別 電灯-001
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値      ** kWh
*****
テナント2

メーター種別 水道-002
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値      ** m3

メーター種別 電灯-002
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値      ** kWh
*****
テナント3

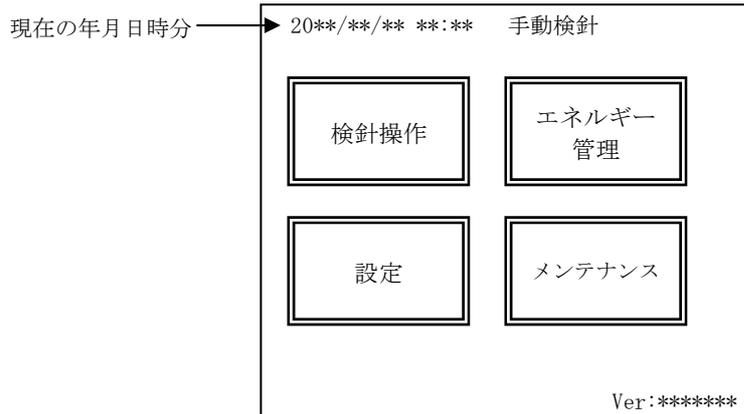
      .
      .
      .
    
```

← 設定されている物件名
 ← 印刷をおこなった日時
 ← 設定されているテナント名称
 ← 設定されているメーター種別名称
 ← 検針をおこなった日時
 ← 検針をおこなった時点での検針値

検針値が取得できなかった場合、メーター値は「??.?.?」と表記されます。

(2) 手動検針モードが設定されているときの操作手順

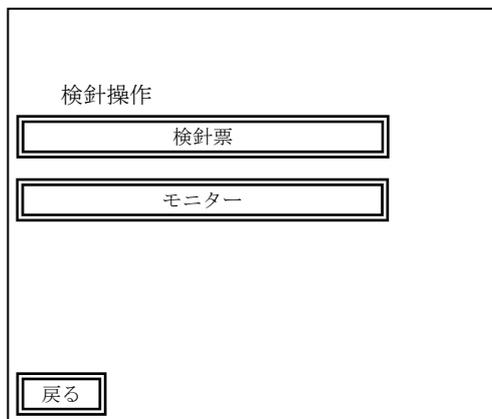
①バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。(どこでもかまいません)



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。



検針票 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

モニター . . . P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **検針票** を押すと次の画面になります。



メーター値票 を押します。

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **メーター値票** を押すと次の画面になります。

手動検針

検針データを更新しますが
検針しますか？
過去の検針票を参照する場合は
[取消]を押してください

戻る **取消** **確認**

取消 …… P 1 7 ⑤へ
確認 …… P 2 0 ⑩へ

確認 は検針を実施して、検針データを更新します。

取消 は過去の検針票を表示・印刷する場合に選択します。

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 4>

⑤ **取消** を押すと次の画面になります。

検針票 (メーター値票)

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

戻る

▲

▼

検針を実施した
年月日時分を表示

1画面で表示できない数の過去データがある場合は▲、▼ボタンで表示されていない過去データを表示させます。

表示・印刷させたい検針票の日付を選択します。

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 5>

⑥ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

検針票 (メーター値票)

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

表示・検針させたいメーターを選択します。

全て …… P 1 8 ⑦へ

任意テナント …… P 1 9 ⑩-1へ

任意メーター種別 …… P 1 9 ⑩-2へ

任意テナント任意メーター種別 …… P 1 9 ⑩-3へ

戻る を押すと<画面 5>に戻ります。

<画面 6>

⑦ **全て** を押すと次の画面になります。

設定されているテナント名称 → テナント**
設定されているメーター名称 → 水道-001

メーター値票

検針日時: **年**月**日**時**分
メーター値: * m³

戻る **次頁** **印刷**

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターのメーター値票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターのメーター値票を表示している場合は、次のテナントの最初に設定されているメーターのメーター値票を表示します。

▼ を押すと、**▲** が表示されます。

▲ は **▼** と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターのメーター値票を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面7>

⑧ **印刷** を押すと次の画面になります。

メーター値票
印刷しますか?

しない **実行**

実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。

しない を押すと、印刷しないで<画面3>に戻ります。

<画面8>

⑨ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

メーター値票
印刷中

中止

本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面3>に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面3>に戻ります。

印刷例はP22を参照してください。

<画面9>

⑩-1 <画面6>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面10>

⑩-2 <画面6>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面11>

⑩-3 <画面6>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面13>を表示します。

<画面12>

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面13>

⑪ <画面4>で **確認** を押した場合は、次の画面になります。

手動検針

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

検針したいメーターを選択します。
※この操作で検針した検針票は、手動検針データとして検針盤に記憶されます。

全て . . . P 2 0 ⑫へ
任意テナント . . . P 2 1 ⑭-1へ
任意メーター種別 . . . P 2 1 ⑭-2へ
任意テナント任意メーター種別 . . . P 2 1 ⑭-3へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面14>

⑫ **全て** を押すと次の画面になります。

手動検針

現在値
検針しますか

戻る

確認

確認 を押すと検針データを更新します。

戻る を押すと<画面14>に戻ります。

<画面15>

⑬ **確認** を押すと次の画面になります。

手動検針

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、
<画面7>を表示します。

<画面16>

⑭-1 <画面14>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面15>を表示します。

<画面17>

⑭-2 <画面14>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面15>を表示します。

<画面18>

⑭-3 <画面14>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面20>を表示します。

<画面19>

検針したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面15>を表示します。

<画面20>

6-2-2. 検針票（使用量票）の表示・印刷

自動検針モードが設定されている場合は、検針日ごとに今回取得した検針値と前回取得した検針値の差分から使用量を算出してテナントごとに使用量票を作成します。

手動検針モードを選択している場合は、そのつど検針を行い、今回取得した検針値と前回取得した検針値の差分から使用量を算出してテナントごとに使用量票を作成します。

作成した使用量票は、表示及び印刷できます。

なお、自動検針＋自動印刷モードが設定されている場合は、検針後自動的に使用量票が印刷されますので、再度使用量票が必要になった場合に印刷操作をおこなってください。

ここでは、

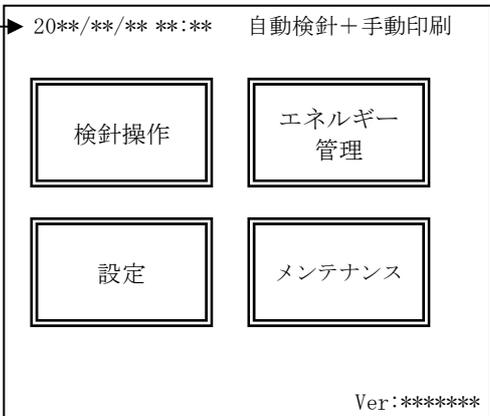
- 全て（全テナント全メーター）
- 任意テナント
- 任意メーター種別
- 任意テナント任意メーター種別

ごとに対象を選択することができます。

（1）自動検針モードが設定されているときの操作手順

①バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）

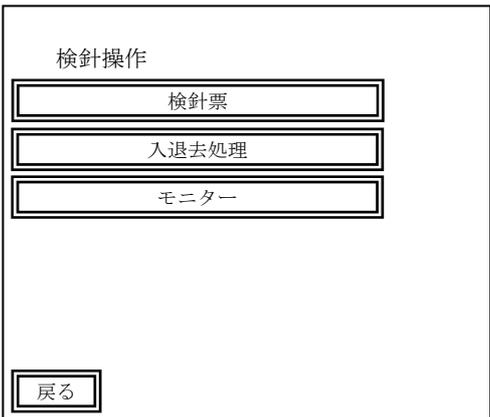
現在の年月日時分 → 20**/**/** **:** 自動検針＋手動印刷



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面1>

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。



検針票 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

入退去処理 …… P 5 1 参照
モニター …… P 8 3 参照

<画面2>

③ **検針票** を押すと次の画面になります。

検針票

メーター値票

使用量票

戻る

使用量票 を押します。

メーター値票 …… P 1 2 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **使用量票** を押すと次の画面になります。

検針票 (使用量票)

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

戻る

検針を実施した年月日時分を表示

1 画面で表示できない数の過去データがある場合は▲、▼ボタンで表示されていない過去データを表示させます。表示・印刷させたい検針票の日付を選択します。

※検針周期の設定により、閲覧できる過去データの保存周期は異なります。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

⑤ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

検針票 (使用量票)

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

表示、印刷させたいメーターを選択します。

全て …… P 2 5 ⑥へ
任意テナント …… P 2 6 ⑫-1 へ
任意メーター種別 …… P 2 7 ⑫-2 へ
任意テナント任意メーター種別 …… P 2 7 ⑫-3 へ

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 5 >

⑥ **全て** を押すと次の画面になります。

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001
 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³
 今回取得した検針値と
 前回取得した検針値と
 の差分
 前回の使用量との比較
 (割合)
 「前年同月比」の場合は、
 前年同月の使用量との比較

使用量票

使用量: * m³
 前回比: ** %

戻る **総使用** **次頁** **印刷**

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの使用量票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの使用量票を表示している場合は、次のテナントの最初に設定されているメーターの使用量票を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの使用量票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

総使用 . . . P 2 5 ⑦へ

印刷 . . . P 2 5 ⑧へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 6>

⑦ **総使用** を押すと次の画面になります。

メーター種別総使用量票

水道-001

使用量集計期間 → **年 **月 **日 **時 **分 ~ **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³

戻る **印刷**

前回検針時から今回検針時までの期間で、設定されているメーター種別ごとの使用量の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されているメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 2 6 ⑩へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 7>

⑧ <画面 6> で **印刷** を押すと次の画面になります。

使用量票
 印刷しますか?
 印刷しない場合は、[次頁]で
 メーター種別総使用量票に移
 ります。

しない **次頁** **実行**

実行 を押すと、選択した検針日時の使用量票を印刷します。

次頁 を押すと、<画面 7>を表示します。

しない を押すと、印刷しないで<画面 3>に戻ります。

<画面 8>

⑨ **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、選択した検針日時の使用量票を印刷します。
印刷終了後<画面 3 >に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 3 >に戻ります。

印刷例は P 2 8 を参照してください。

<画面 9 >

⑩ <画面 7 >で **印刷** を押すと次の画面になります。



実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総使用量票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面 7 >に戻ります。

<画面 1 0 >

⑪ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

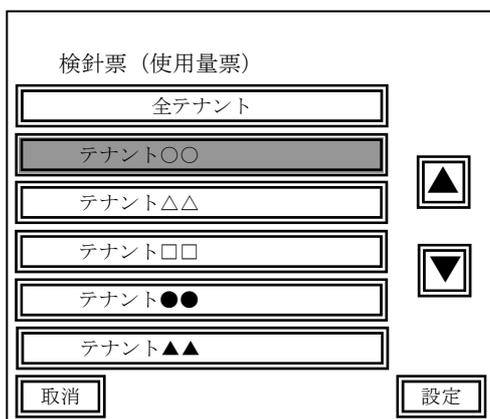


本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総使用量票を印刷します。
印刷終了後<画面 7 >に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 7 >に戻ります。

印刷例は P 2 8 を参照してください。

<画面 1 1 >

⑫-1 <画面 5 >で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。



表示・印刷させたいテナントを選択します。
1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面 6 >を表示します。

<画面 1 2 >

⑫-2 <画面5>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると**設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。**設定** を押すと<画面6>を表示します。

<画面13>

⑫-3 <画面5>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると**設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。**設定** を押すと<画面15>を表示します。

<画面14>

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると**設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。**設定** を押すと<画面6>を表示します。

<画面15>

<印刷例>

使用量票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント 1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
前回比 ** %	←	前回の使用量との比較 (「前年同月比」の場合は、前年同月の使用量との比較)
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
前回比 ** %		

テナント 2		
メーター種別 水道-002		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** m3		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** m3		
使用量 ** m3		
前回比 ** %		
メーター種別 電灯-002		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
前回比 ** %		

テナント 3		

メーター種別総使用量票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

メーター種別 水道	←	対象メーター種別
年月**日**時**分～	←	使用量集計期間
年月**日**時**分	←	
総使用量 **m3	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの使用量を合計した値
メーター種別 電灯		
年月**日**時**分～		
年月**日**時**分		
総使用量 **kWh		

検針値が取得できなかった場合、メーター値、使用量、前回比（前年同月比）は「??.?.?」と表記されます。

前回メーター値が無い場合、使用量が算出できない場合、使用量、前回比（前年同月比）は「-?.?.-」と表記されます。

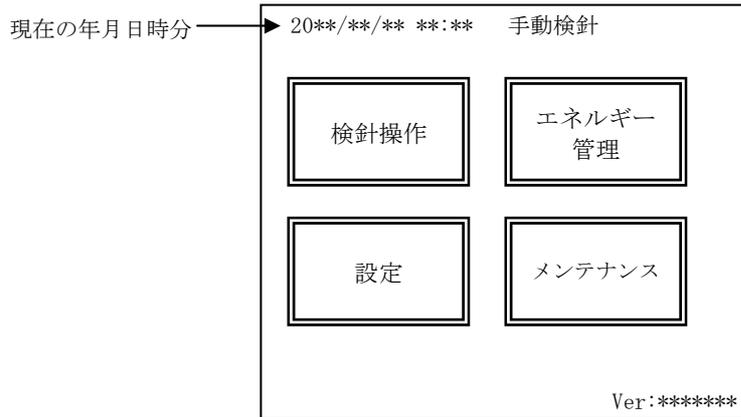
前回比（前年同月比）が桁あふれ（60000%より大きい）の場合、「*?.?.?」と表記されます。

「自動印刷」設定の場合は「種別合計印刷」の設定が「あり」のとき、使用量票に続いて、メーター種別総使用量票が印刷される。

<画面10>から **実行** を押した場合でも、メーター種別総使用量票が印刷される。

(2) 手動検針モードが設定されているときの操作手順

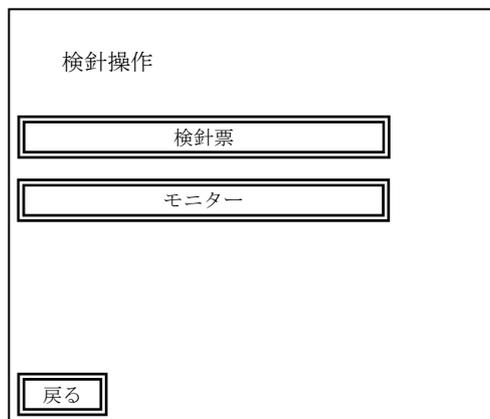
①バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。(どこでもかまいません)



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。



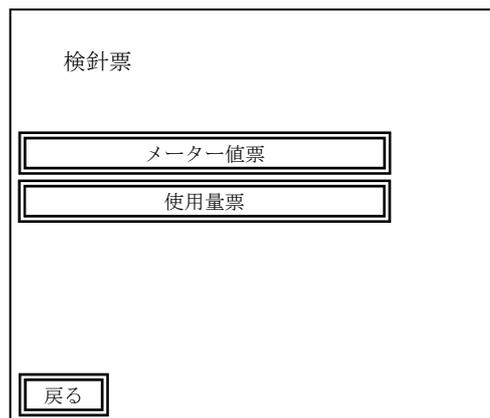
検針票 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

モニター . . . P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **検針票** を押すと次の画面になります。



使用量票 を押します。

メーター値票 . . . P 1 2 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **使用量票** を押すと次の画面になります。

手動検針

検針データを更新しますが
検針しますか？
過去の検針票を参照する場合は
[取消]を押してください

戻る **取消** **確認**

取消 …… P 3 0 ⑤へ
確認 …… P 3 4 ⑭へ

確認 は検針を実施して、検針データを更新します。

取消 は過去の検針票を表示・印刷する場合に選択します。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

⑤ **取消** を押すと次の画面になります。

検針票 (使用量票)

検針を実施した
年月日時分を表示

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

戻る

▲

▼

1画面で表示できない数の過去データがある場合は▲、▼ボタンで表示されていない過去データを表示させます。

表示・印刷させたい検針票の日付を選択します。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 5 >

⑥ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

検針票 (使用量票)

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

表示・検針させたいメーターを選択します。

全て …… P 3 1 ⑦へ
任意テナント …… P 3 3 ⑬-1へ
任意メーター種別 …… P 3 3 ⑬-2へ
任意テナント任意メーター種別 …… P 3 3 ⑬-3へ

戻る を押すと<画面 5 >に戻ります。

<画面 6 >

⑦ **全て** を押すと次の画面になります。

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001
 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³
 今回取得した検針値と
 前回取得した検針値と
 の差分
 前回の使用量との比較
 (割合)
 「前年同月比」の場合は、
 前年同月の使用量との比較

使用量票

使用量: * m³
 前回比: ** %

戻る **総使用** **次頁** **印刷**

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの使用量票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの使用量票を表示している場合は、次のテナントの最初に設定されているメーターの使用量票を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの使用量票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

総使用 . . . P 3 1 ⑧へ

印刷 . . . P 3 1 ⑨へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 7>

⑧ **総使用** を押すと次の画面になります。

メーター種別総使用量票

水道-001

使用量集計期間 → **年 **月 **日 **時 **分
 **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³

戻る **印刷**

前回検針時から今回検針時までの期間で、設定されているメーター種別ごとの使用量の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されているメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 3 2 ⑩

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 8>

⑨ <画面 7>で **印刷** を押すと次の画面になります。

使用量票
 印刷しますか?
 印刷しない場合は、[次頁]で
 メーター種別総使用量票に移
 ります。

しない **次頁** **実行**

実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。

次頁 を押すと<画面 8>を表示します。

しない を押すと、印刷しないで<画面 3>に戻ります。

<画面 9>

⑩ **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面 3 >に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 3 >に戻ります。

印刷例は P 3 6 を参照してください。

<画面 1 0 >

⑪ <画面 8 >で **印刷** を押すと次の画面になります。



実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総使用量票を印刷します。

しない を押すと、印刷しないで<画面 8 >に戻ります。

<画面 1 1 >

⑫ **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総使用量票を印刷します。印刷終了後<画面 8 >に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 8 >に戻ります。

<画面 1 2 >

⑬-1 <画面6>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面7>を表示します。
 <画面13>

⑬-2 <画面6>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。
 <画面14>

⑬-3 <画面6>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面16>を表示します。
 <画面15>

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。
 <画面16>

⑭ <画面4>で **確認** を押した場合は、次の画面になります。

手動検針

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

検針したいメーターを選択します。
※この操作で検針した検針票は、手動検針データとして検針盤に記憶されます。

全て . . . P 3 4 ⑮へ
任意テナント . . . P 3 5 ⑰-1へ
任意メーター種別 . . . P 3 5 ⑰-2へ
任意テナント任意メーター種別 . . . P 3 5 ⑰-3へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面17>

⑮ **全て** を押すと次の画面になります。

手動検針

現在値
検針しますか

戻る

確認

確認 を押すと検針データを更新します。

戻る を押すと<画面17>に戻ります。

<画面18>

⑯ **確認** を押すと次の画面になります。

手動検針

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、<画面7>を表示します。

<画面19>

⑰-1 <画面14>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面20>

⑰-2 <画面14>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面21>

⑰-3 <画面14>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面23>を表示します。

<画面22>

検針したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面23>

<印刷例>

```

*****
                使用量票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
テナント 1

メーター種別 水道-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** m3

使用量 ** m3
前回比 ** %

メーター種別 電灯-001
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** kWh

使用量 ** kWh
前回比 ** %
*****
テナント 2

メーター種別 水道-002
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** m3
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** m3

使用量 ** m3
前回比 ** %

メーター種別 電灯-002
検針日 **年**月**日**時**分
メーター値 ** kWh
前回検針日 **年**月**日**時**分
前回メーター値 ** kWh

使用量 ** kWh
前回比 ** %
*****
テナント 3

.
.

*****
                メーター種別総使用量票
○○○ビル
20**年**月**日**時**分
*****
メーター種別 水道
**年**月**日**時**分～
**年**月**日**時**分
総使用量 **m3

メーター種別 電灯
**年**月**日**時**分～
**年**月**日**時**分
総使用量 **kWh
*****

```

← 設定されている物件名
 ← 印刷をおこなった日時
 ← 設定されているテナント名称
 ← 設定されているメーター種別名称
 ← 今回検針をおこなった日時
 ← 今回検針をおこなった時点での検針値
 ← 前回検針をおこなった日時
 ← 前回検針をおこなった時点での検針値
 ← 今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
 ← 前回の使用量との比較
 (「前年同月比」の場合は、前年同月の使用量との比較)

検針値が取得できなかった場合、メーター値、使用量、前回比(前年同月比)は「??.?.?.?」と表記されます。

前回メーター値が無い場合、使用量が算出できない場合、使用量、前回比(前年同月比)は「-.-.-.-」と表記されます。

前回比(前年同月比)が桁あふれ(60000%より大きい)の場合、「*?.?.?.?」と表記されます。

「自動印刷」設定の場合は「種別合計印刷」の設定が「あり」のとき、使用量票に続いて、メーター種別総使用量票が印刷される。

<画面 11> から **実行** を押した場合でも、メーター種別総使用量票が印刷される。

6-2-3. 検針票（料金票）の表示・印刷

自動検針モードが設定されている場合は、検針日ごとに今回取得した検針値と前回取得した検針値の差分から使用量を算出します。使用量に対してあらかじめ設定されている単価をかけ合わせて使用料金を算出、さらに別途「固定費」が設定されている場合は加算して小計を算出します。小計に対して設定されている税金率をかけ合わせて税金額を算出し、合計して請求金額を算出してテナントごとに料金票を作成します。

手動検針モードを選択している場合は、そのつど検針を行い、今回取得した検針値と前回取得した検針値の差分から算出した使用量を用いて請求金額を算出し、テナントごとに料金票を作成します。

作成した料金票は、表示及び印刷できます。

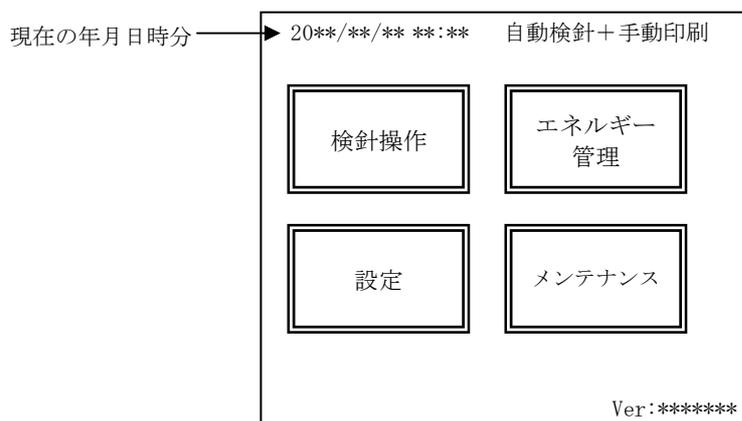
なお、自動検針+自動印刷モードが設定されている場合は、検針後自動的に料金票が印刷されますので、再度料金票が必要になった場合に印刷操作をおこなってください。

ここでは、

- 全て（全テナント全メーター）
 - 任意テナント
 - 任意メーター種別
 - 任意テナント任意メーター種別
- ごとに対象を選択することができます。

(1) 自動検針モードが設定されているときの操作手順

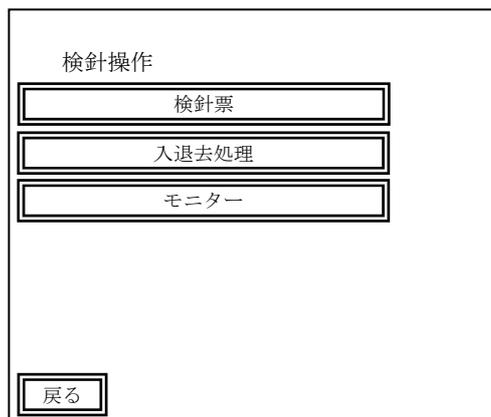
①バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。



検針票 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

入退去処理 …… P 5 1 参照

モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **検針票** を押すと次の画面になります。

料金票 を押します。

メーター値票 …… P 1 2 参照

戻る を押すと<画面 2>に戻ります。

<画面 3>

④ **料金票** を押すと次の画面になります。

1画面で表示できない数の過去データがある場合は▲、▼ボタンで表示されていない過去データを表示させます。表示・印刷させたい検針票の日付を選択します。

※検針周期の設定により、閲覧できる過去データの保存周期は異なります。

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 4>

⑤ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

表示、印刷させたいメーターを選択します。

全て …… P 3 9 ⑥へ
任意テナント …… P 4 1 ⑫-1へ
任意メーター種別 …… P 4 1 ⑫-2へ
任意テナント任意メーター種別 …… P 4 1 ⑫-3へ

戻る を押すと<画面 4>に戻ります。

<画面 5>

⑥ **全て** を押すと次の画面になります。

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001
 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³
 今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分 → 使用量: * m³
 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。 → 料金: ** 円
 前回料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較 → 前回比: ** %

戻る 総料金 次頁 印刷

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は、<画面7>を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 3 9 ⑦へ
 印刷 . . . P 4 0 ⑧へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。
 <画面6>

設定されている固定費名称 → 固定費名称: 固定費1
 固定費: ** 円 ▲
 固定費名称: 固定費2
 固定費: ** 円 ▼
 固定費名称: 固定費3
 固定費: ** 円
 小計: ** 円
 税金額: ** 円
 請求金額: ** 円

戻る 総料金 次頁 印刷

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。

総料金 を押すと<画面8>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の固定費の部分(6行)は表示されません。“固定費” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 3 9 ⑦へ
 印刷 . . . P 4 0 ⑧へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。
 <画面7>

⑦ **総料金** を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票
 水道-001
 料金換算期間 → **年 **月 **日 **時 **分 ~ **年 **月 **日 **時 **分
 総使用量 * m³
 総料金 * 円

戻る 印刷

前回検針時から今回検針時までの期間で、設定されているメーター種別ごとの使用量の合計値及び料金の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されている次のメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 4 0 ⑩

戻る を押すと<画面3>に戻ります。
 <画面8>

⑧ <画面 7 > で **印刷** を押すと次の画面になります。

料金票
印刷しますか?
印刷しない場合は、[次頁]で
メーター種別総料金票に移り
ます。

しない **次頁** **実行**

実行 を押すと、選択した検針日時の料金票を印刷します。

次頁 を押すと、<画面 8 >を表示します。

しない を押すと、印刷しないで<画面 3 >に戻ります。

<画面 9 >

⑨ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

料金票
印刷中

中止

本画面表示中に、選択した検針日時の料金票を印刷します。

印刷終了後<画面 3 >に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 3 >に戻ります。

印刷例はP 4 2を参照してください。

<画面 1 0 >

⑩ <画面 8 > で **印刷** を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票
印刷しますか?

しない **実行**

実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。

しない を押すと、印刷しないで<画面 8 >に戻ります。

<画面 1 1 >

⑪ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

メーター種別総料金票
印刷中

中止

本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。

印刷終了後<画面 8 >に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 8 >に戻ります。

印刷例はP 4 2を参照してください。

<画面 1 2 >

⑫-1 <画面5>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面13>

⑫-2 <画面5>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面14>

⑫-3 <画面5>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面16>を表示します。

<画面15>

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面16>

<印刷例>

料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント 1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 (「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較)
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円	←	小計の消費税分
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計

テナント 2		
メーター種別 水道-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** m3		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** m3		
使用量 ** m3		
.		
.		
.		

メーター種別総料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

メーター種別 水道	←	対象メーター種別
年月**日**時**分～	←	使用量集計期間
年月**日**時**分		
総使用量 **m3	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの使用量を合計した値
総料金 **円	←	
メーター種別 電灯	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの料金を合計した値
年月**日**時**分～		
年月**日**時**分		
総使用量 **kWh		
総料金 **円		

合計金額 **円		

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

検針値が取得できなかった場合、メーター値、使用量、料金、前回比（前年同月比）は「??・・・?」と表記されます。

前回メーター値が無い場合、使用量が算出できない場合、使用量、料金、前回比（前年同月比）は「-・・・-」と表記されます。

料金単価が設定されていない場合、料金は「-・・・-」と表記されます。

前回比（前年同月比）が桁あふれ（60000%より大きい）の場合、「*・・・*」と表記されます。

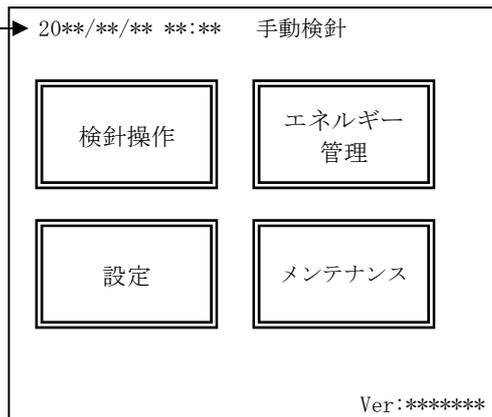
「自動印刷」設定の場合は「種別合計印刷」の設定が「あり」のとき、料金票に続いて、メーター種別総料金票が印刷されます。

<画面 1 1>から **実行** を押した場合でも、メーター種別総料金票が印刷されます。

(2) 手動検針モードが設定されているときの操作手順

①バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。(どこでもかまいません)

現在の年月日時分



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。



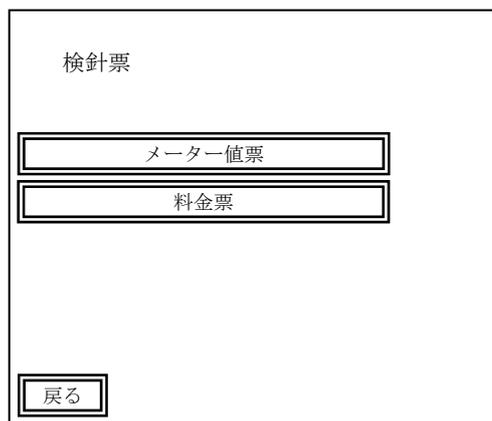
検針票 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

モニター・・・P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **検針票** を押すと次の画面になります。



料金票 を押します。

メーター値票・・・P 1 2 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **料金票** を押すと次の画面になります。

手動検針

検針データを更新しますが
検針しますか？
過去の検針票を参照する場合は
[取消]を押してください

戻る **取消** **確認**

取消 …… P 4 4 ⑤へ

確認 …… P 4 8 ⑭へ

確認 は検針を実施して、検針データを更新します。

取消 は過去の検針票を表示・印刷する場合に選択します。

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 4>

⑤ **取消** を押すと次の画面になります。

検針を実施した
年月日時分を表示

検針票 (使用量票)

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

戻る

▲

▼

1画面で表示できない数の過去データがある場合は▲、▼ボタンで表示されていない過去データを表示させます。

表示・印刷させたい検針票の日付を選択します。

戻る を押すと<画面 4>に戻ります。

<画面 5>

⑥ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

検針票 (使用量票)

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

表示・検針させたいメーターを選択します。

全て …… P 4 5 ⑦へ

任意テナント …… P 4 7 ⑬-1へ

任意メーター種別 …… P 4 7 ⑬-2へ

任意テナント任意メーター種別 …… P 4 7 ⑬-3へ

戻る を押すと<画面 5>に戻ります。

<画面 6>

⑦ **全て** を押すと次の画面になります。

料金票

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001

検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³

今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分 → 使用量: * m³
 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。 → 料金: ** 円
 前回比: ** %

前回の料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較

戻る **総料金** **次頁** **印刷**

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は<画面7>を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 4 5 ⑧へ

印刷 . . . P 4 6 ⑨へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面7>

料金票

テナント**

設定されている固定費名称 → 固定費名称: 固定費1
 固定費: ** 円 ▲
 固定費名称: 固定費2
 固定費: ** 円 ▼
 固定費名称: 固定費3
 固定費: ** 円

小計: ** 円
 税金額: ** 円
 請求金額: ** 円

戻る **総料金** **次頁** **印刷**

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。

総料金 を押すと<画面8>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の「固定費の部分」は表示されません。

“固定費” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 4 5 ⑧へ

印刷 . . . P 4 6 ⑨へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面8>

⑧ **総料金** を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票

水道-001

料金換算期間 → **年 **月 **日 **時 **分 ~ **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³
 総料金 * 円 ▼

戻る **印刷**

前回検針時から今回検針時までの期間で、設定されているメーター種別ごとの使用量の合計値及び料金の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されている次のメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 4 6 ⑩

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面9>

⑨ <画面7>または<画面8>で **印刷** を押すと次の画面になります。

料金票
印刷しますか？
印刷しない場合は、[次頁]で
メーター種別総料金票に移り
ます。

しない **次頁** **実行**

実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。

次頁 を押すと<画面9>を表示します。

しない を押すと、印刷しないで<画面3>に戻ります。

<画面10>

⑩ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

料金票
印刷中

中止

本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面3>に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面3>に戻ります。

印刷例はP50を参照してください。

<画面11>

⑪ <画面9>で **印刷** を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票
印刷しますか？

しない **実行**

実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。

しない を押すと、印刷しないで<画面9>に戻ります。

<画面12>

⑫ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

メーター種別総料金票
印刷中

中止

本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。印刷終了後<画面9>に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面9>に戻ります。

印刷例はP50を参照してください。

<画面13>

⑬-1 <画面6>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
テナントを選択すると 設定、取消 ボタンが表示されます。取消 は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面14>

⑬-2 <画面6>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
選択したメーター種別のボタンは反転します。
メーター種別を選択すると 設定、取消 ボタンが表示されます。取消 は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面15>

⑬-3 <画面6>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示・印刷させたいテナントを選択します。
1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
テナントを選択すると 設定、取消 ボタンが表示されます。取消 は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面17>を表示します。

<画面16>

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
選択したメーター種別のボタンは反転します。
メーター種別を選択すると 設定、取消 ボタンが表示されます。取消 は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面17>

⑭ <画面4>で **確認** を押した場合は、次の画面になります。

手動検針

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

検針したいメーターを選択します。
※この操作で検針した検針票は、手動検針データとして検針盤に記憶されます。

全て . . . P 4 8 ⑮へ
任意テナント . . . P 4 9 ⑰-1へ
任意メーター種別 . . . P 4 9 ⑰-2へ
任意テナント任意メーター種別 . . . P 4 9 ⑰-3へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面18>

⑮ **全て** を押すと次の画面になります。

手動検針

現在値
検針しますか

戻る

確認

確認 を押すと検針データを更新します。

戻る を押すと<画面18>に戻ります。

<画面19>

⑯ **確認** を押すと次の画面になります。

手動検針

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、
<画面7>を表示します。

<画面20>

⑰-1 <画面18>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面21>

⑰-2 <画面18>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面22>

⑰-3 <画面18>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

検針したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面24>を表示します。

<画面23>

検針したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

<画面24>

<印刷例>

料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント 1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 (「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較)
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円	←	小計の消費税分
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計

テナント 2		
メーター種別 水道-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** m3		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** m3		
使用量 ** m3		
.		
.		
.		

メーター種別総料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

メーター種別 水道	←	対象メーター種別
年月**日**時**分～	←	使用量集計期間
年月**日**時**分		
総使用量 **m3	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの使用量を合計した値
総料金 **円	←	
メーター種別 電灯	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの料金を合計した値
年月**日**時**分～		
年月**日**時**分		
総使用量 **kWh		
総料金 **円		

合計金額 **円		

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

検針値が取得できなかった場合、メーター値、使用量、料金、前回比（前年同月比）は「??・・・?」と表記されます。

前回メーター値が無い場合、使用量が算出できない場合、使用量、料金、前回比（前年同月比）は「-・・・-」と表記されます。

料金単価が設定されていない場合、料金は「-・・・-」と表記されます。

前回比（前年同月比）が桁あふれ（60000%より大きい）の場合、「*・・・*」と表記されます。

「自動印刷」設定の場合は「種別合計印刷」の設定が「あり」のとき、料金票に続いて、メーター種別総料金票が印刷されます。

<画面 1 2>から[実行]を押した場合でも、メーター種別総料金票が印刷されます。

6-2-4. 入居・退去時の検針

自動検針モードの場合、検針日に自動的に検針して、今回取得した検針値と前回取得した検針値とで使用量および料金を計算します。

しかし、途中でテナントの入居・退去が発生する場合、入居・退去の当日の検針値で使用量および料金を算出する必要があります。

入居の場合は使用量および料金計算をスタートする日に、退去の場合は使用量および料金を精算する日に、その都度それぞれ操作してください。

ただし、入退去の検針は設定されているメーターに対して、自動検針が終了してから次の自動検針がおこなわれるまでの間に2回までしか実行できません。2回を超えて検針しようとしているメーターが含まれている場合、P 55 <画面 1 4>が表示され検針できません。

ここでは、

○全て（全テナント全メーター）

○任意テナント

○任意メーター種別

○任意テナント任意メーター種別

に対して入退去処理をおこなうことができます。

手動検針モードが設定されている場合は、手動でその都度検針できますので入退去処理の項目はメニューにありません。（入居・退去されるテナントごとに検針操作をおこなってください）

この場合は、「6-2-3. 検針票（料金票）の表示・印刷（2）手動検針モードが設定されているときの操作手順」の **検針操作** でおこないます。

操作手順

（1）全て（全テナント全メーター）に対する入退去処理

入居・退去のときに、全てのテナント・メーターに対して検針をおこないます。

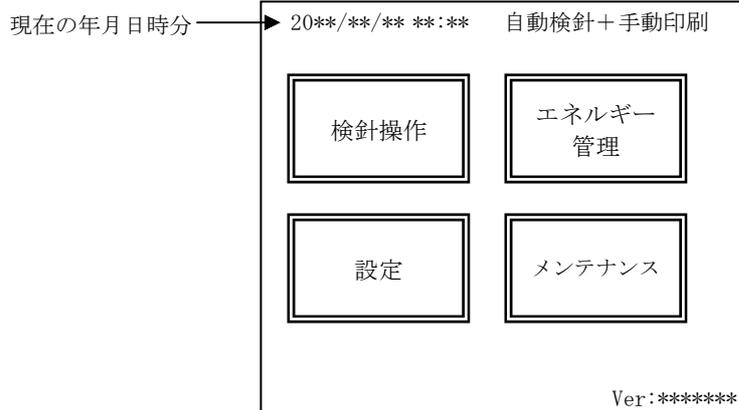
注 記



入居・退去するテナント以外のテナントも今回検針値が更新されてしまいますので、**通常はこの操作はおこなわないでください**

（この操作は全テナント、全メーターに対して一度検針値をゼロからやり直すような特殊な場合におこなうのみです。通常は“任意テナント”などに対して実施します）

① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください（どこでもかまいません）。



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

検針票 …… P 1 1 参照
モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

- ③ **入退去処理** を押すと次の画面になります。

入退去 を押します。

過去の入退去データ …… P 7 7 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

- ④ **入退去** を押すと次の画面になります。

入退去処理（検針）したいメーターを選択します。

※入退去操作の上限回数は自動検針実施後 2 回です。

上限回数を超えるメーターが含まれている場合は<画面 1 4 >を表示します。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

- ⑤ **全て** を押すと次の画面になります。

確認 を押します。

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 5 >

⑥ **確認** を押すと次の画面になります。

入退去処理

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、
<画面 7> を表示します。

※ “検針票” の設定が “料金票” の場合を
例として記載しています。

<画面 6>

入退去処理

テナント**
水道-001
検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
メーター値: * m³
前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
前回メーター値: * m³

使用量: * m³ ▼
料金: ** 円
前回比: ** %

戻る 総料金 次頁 印刷

設定されているテナント名称 → テナント**
設定されているメーター名称 → 水道-001
入退去処理を行った日時 → 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分

今回取得した検針値と前回
取得した検針値との差分 → 使用量: * m³
設定されている単価を用い
て使用量から演算した金額
※演算した「料金」の小数
点以下の金額は切り捨て
になります。 → 料金: ** 円
前回の料金との比較(割合)
「前年同月比」の場合は、
前年同月の料金との比較 → 前回比: ** %

▼ を押すと、同一テナントに設定されてい
る次のメーターの料金票を表示します。
同一テナントに設定されている最後のメー
ターの料金票を表示している場合は、
<画面 8> を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナント
に対して次のテナントの最初に設定されて
いるメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が 「前年同月比」 の場合
は、左記の 「前回比」 は 「前年同月比」
に変わります。“比較” の設定が 「なし」
の場合は、左記の 「前回比」 の項目は表
示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書
(保守点検操作編) をご覧ください。

総料金 . . . P 5 4 ⑦へ

印刷 . . . P 5 4 ⑧へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 7>

入退去処理

テナント**

固定費名称: 固定費 1 ** 円 ▲
固定費: ** 円
固定費名称: 固定費 2 ** 円 ▼
固定費: ** 円
固定費名称: 固定費 3 ** 円
小計: ** 円
税金額: ** 円
請求金額: ** 円

戻る 総料金 次頁 印刷

設定されている
固定費名称 → 固定費名称: 固定費 1
固定費名称: 固定費 2
固定費名称: 固定費 3

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定さ
れているメーターの料金表情報を表示しま
す。

総料金 を押すと<画面 9>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の
「固定費の部分」は表示されません。

“固定費” の設定については、取扱説明
書 (保守点検操作編) をご覧ください。

総料金 . . . P 5 4 ⑦へ

印刷 . . . P 5 4 ⑧へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 8>

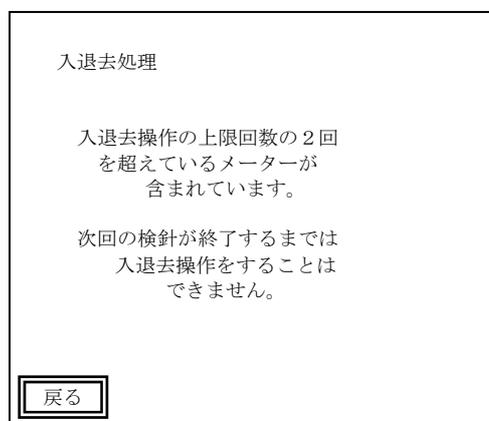
- ⑪ **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
印刷終了後<画面9>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面9>に戻ります。

<画面13>

- ⑫ <画面4>にて入退去操作の上限回数を超えていた場合に **全て** を押すと次の画面が表示されます。



戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面14>

<印刷例>

【入退去処理後の手動印刷】（画面10からの印刷）

料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 ○○○	** 円	} 対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円	←	小計の消費税分
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計

テナント2		
.		
.		
.		

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。

<印刷例>

【入退去処理後の自動印刷】（自動検針時に実行される印刷）

料金票			
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名	
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時	

テナント 1	←	設定されているテナント名称	

メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称	
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回自動検針をおこなった日時	
メーター値 ** m3	←	今回自動検針をおこなった時点での検針値	
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時	
前回メーター値 ** m3	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値	
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分（入退去処理後からの使用量）	
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額	
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）	
注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。			
メーター種別 電灯-001			
検針日 **年**月**日**時**分			
メーター値 ** kWh			
前回検針日 **年**月**日**時**分			
前回メーター値 ** kWh			
使用量 ** kWh			
料金 ** 円			
前回比 ** %			
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。	
固定費 △△△	** 円		
固定費 □□□	** 円		

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計	入退去処理実施時から今回の自動検針までの料金データ。
税金額 ** 円	←	小計の消費税分	
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計	

テナント 1			

メーター種別 水道-001			
検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時	
メーター値 ** m3	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値	
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回自動検針をおこなった日時	
前回メーター値 ** m3	←	前回自動検針をおこなった時点での検針値	
使用量 ** m3	←	入退去処理時の検針値と前回自動検針時の検針値との差分（入退去処理時までの使用量）	
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額	
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）	
注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。			
メーター種別 電灯-001			
検針日 **年**月**日**時**分			
メーター値 ** kWh			
前回検針日 **年**月**日**時**分			
前回メーター値 ** kWh			
使用量 ** kWh			
料金 ** 円			
前回比 ** %			
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。	
固定費 △△△	** 円		
固定費 □□□	** 円		

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計	前回の自動検針から入退去処理実施時までの料金データ。
税金額 ** 円	←	小計の消費税分	
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計	

テナント 2			
.			
.			
.			

(2) 任意テナントに対する入退去処理

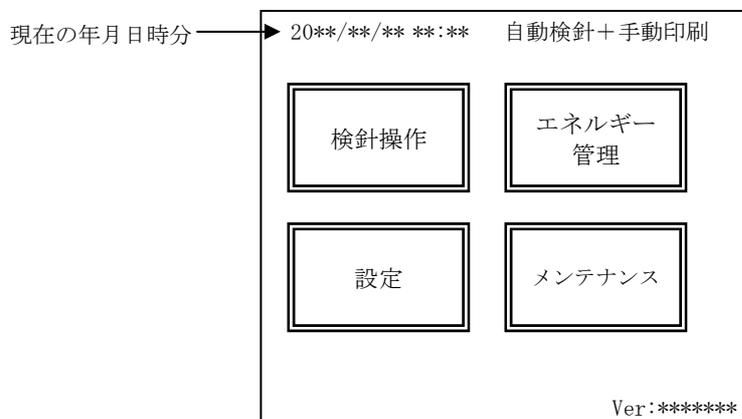
入居・退去のときに、該当するテナントを指定して検針をおこないます。

入居・退去の検針は、通常この操作をおこなってください。

入居の場合は、あらかじめテナント情報を設定しておく必要があります。

※テナント情報設定については取扱説明書（保守点検編）をご覧ください。

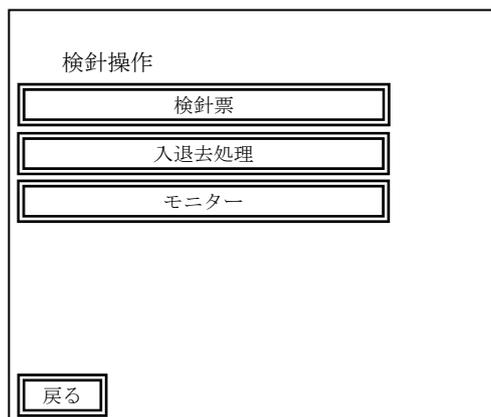
① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください（どこでもかまいません）。



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。

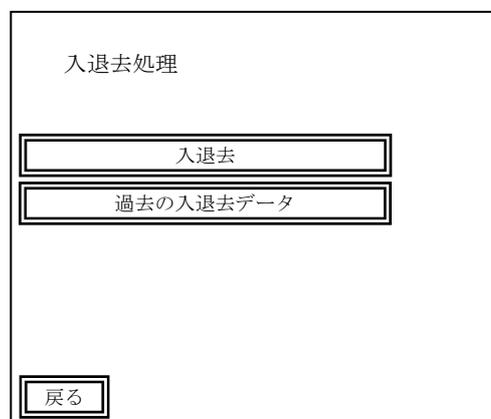


※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

検針票 …… P 1 1 参照
モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **入退去処理** を押すと次の画面になります。



入退去 を押します。

過去の入退去データ …… P 7 7 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

- ④ **入退去** を押すと次の画面になります。

入退去処理（検針）したいメーターを選択します。
 ※入退去操作の上限回数は自動検針実施後2回です。
 上限回数を超えるメーターが含まれている場合は<画面15>を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面4>

- ⑤ **任意テナント** を押すと次の画面になります。

入退去処理（検針）したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。

※**全テナント**は**選択しない**でください。
 テナントを選択すると**設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
 <画面5>

- ⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

確認 を押します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面6>

- ⑦ **確認** を押すと次の画面になります。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、<画面8>を表示します。

※“検針票”の設定が“料金票”の場合を例として記載しています。

<画面7>

入退去処理

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001
 入退去処理を行った日時 → 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³

今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分 → 使用量: * m³
 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。 → 料金: ** 円
 前回の料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較 → 前回比: ** %

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は、<画面8>を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。“比較” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

. . . P 6 0 ⑧へ
 . . . P 6 1 ⑨へ
 を押すと<画面3>に戻ります。

<画面8>

入退去処理

テナント**

設定されている固定費名称 → 固定費名称: 固定費1
 固定費: ** 円 ▲
 固定費名称: 固定費2
 固定費: ** 円 ▼
 固定費名称: 固定費3
 固定費: ** 円 ▼

小計: ** 円
 税金額: ** 円
 請求金額: ** 円

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。 を押すと<画面9>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の「固定費の部分」は表示されません。“固定費” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

. . . P 6 0 ⑧へ
 . . . P 6 1 ⑨へ
 を押すと<画面3>に戻ります。

<画面9>

⑧ を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票

水道-001

料金換算期間 → **年 **月 **日 **時 **分 ~ **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³
 総料金 * 円 ▼

前回検針時から今回検針時（入退去処理時）までの期間で、選択したメーター種別ごとの使用量の合計値及び料金の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されている次のメーター種別を順次表示します。▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

. . . P 6 1 ⑩
 を押すと<画面3>に戻ります。

<画面10>

- ⑨ <画面 8 >または<画面 9 >で **印刷** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面 3 >に戻ります。

<画面 1 1 >

- ⑩ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面 3 >に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 3 >に戻ります。

<画面 1 2 >

- ⑪ <画面 1 0 >で **印刷** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面 1 0 >に戻ります。

<画面 1 3 >

- ⑫ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。印刷終了後<画面 1 0 >に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 1 0 >に戻ります。

<画面 1 4 >

⑬ <画面4>にて入退去操作の上限回数を超えていた場合に **任意テナント** を押すと次の画面が表示されます。

入退去処理

入退去操作の上限回数の2回
を超えているメーターが
含まれています。

次の検針が終了するまでは
入退去操作をすることは
できません。

戻る

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面15>

<印刷例>

【入退去処理後の手動印刷】 (画面11からの印刷)

***** 料金票		
〇〇〇ビル		← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分		← 印刷をおこなった日時

テナント1		← 設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001		← 設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分		← 今回検針(入退去処理を実施)をおこなった日時
メーター値 ** m3		← 今回検針(入退去処理を実施)をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分		← 前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3		← 前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3		← 今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円		← 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %		← 前回の料金との比較 (「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較)
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計	** 円	← 各メーターの料金と固定費の合計
税金額	** 円	← 小計の消費税分
請求金額	** 円	← 小計+消費税の合計

テナント2		
.		
.		
.		

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

<印刷例>

【入退去処理後の自動印刷】（自動検針時に実行される印刷）

料金票			
〇〇〇ビル		←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分		←	印刷をおこなった日時

テナント1		←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001		←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分		←	今回自動検針をおこなった日時
メーター値 ** m3		←	今回自動検針をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分		←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
前回メーター値 ** m3		←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3		←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分（入退去処理後からの使用量）
料金 ** 円		←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %		←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別 電灯-001			
検針日 **年**月**日**時**分			
メーター値 ** kWh			
前回検針日 **年**月**日**時**分			
前回メーター値 ** kWh			
使用量 ** kWh			
料金 ** 円			
前回比 ** %			
固定費 〇〇〇			
固定費 △△△			
固定費 □□□			

小計 ** 円		←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円		←	小計の消費税分
請求金額 ** 円		←	小計+消費税の合計

テナント1			
メーター種別 水道-001			
検針日 **年**月**日**時**分		←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
メーター値 ** m3		←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分		←	前回自動検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3		←	前回自動検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3		←	入退去処理時の検針値と前回自動検針時の検針値との差分（入退去処理時までの使用量）
料金 ** 円		←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %		←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別 電灯-001			
検針日 **年**月**日**時**分			
メーター値 ** kWh			
前回検針日 **年**月**日**時**分			
前回メーター値 ** kWh			
使用量 ** kWh			
料金 ** 円			
前回比 ** %			
固定費 〇〇〇			
固定費 △△△			
固定費 □□□			

小計 ** 円		←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円		←	小計の消費税分
請求金額 ** 円		←	小計+消費税の合計

テナント2			
.			
.			
.			

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。

入退去処理実施時から今回の自動検針までの料金データ。

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。

前回の自動検針から入退去処理実施時までの料金データ。

(3) 任意メーター種別に対する入退去処理

入居・退去のときに、該当するメーター種別を指定して検針をおこないます。

注 記



この検針は全てのテナントが対象ですので、入居・退去するテナント以外のテナントも今回検針値が更新されてしまいます。
通常はこの操作はおこなわないでください。

① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください（どこでもかまいません）。

現在の年月日時分

20**/**/** **:** 自動検針+手動印刷

検針操作	エネルギー管理
設定	メンテナンス

Ver:*****

基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。

検針操作

検針票
入退去処理
モニター

戻る

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

検針票 …… P 1 1 参照
モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **入退去処理** を押すと次の画面になります。

入退去処理

入退去
過去の入退去データ

戻る

入退去 を押します。

過去の入退去データ …… P 7 7 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

- ④ **入退去** を押すと次の画面になります。

入退去処理

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

入退去処理（検針）したいメーターを選択します。

※入退去操作の上限回数は自動検針実施後2回です。

上限回数を超えるメーターが含まれている場合は<画面15>を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面4>

- ⑤ **任意メーター種別** を押すと次の画面になります。

検針票（料金票）

水道〇〇

水道△△

電灯〇〇

電灯△△

動力〇〇

動力△△

取消

設定

入退去処理（検針）したいメーター種別を選択します。

1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は**▲**、**▼**ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。選択したメーター種別のボタンは反転します。メーター種別を選択すると**設定**、**取消**ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。

<画面5>

- ⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

入退去処理

検針データを更新しますが
検針しますか

戻る

確認

確認 を押します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面6>

- ⑦ **確認** を押すと次の画面になります。

入退去処理

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、<画面8>を表示します。

※“検針票”の設定が“料金票”の場合を例として記載しています。

<画面7>

入退去処理

設定されているテナント名称 → テナント**

設定されているメーター名称 → 水道-001

入退去処理を行った日時 → 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
メーター値: * m³
前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
前回メーター値: * m³

今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分 → 使用量: * m³

設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。 → 料金: ** 円

前回の料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較 → 前回比: ** %

戻る 総料金 次頁 印刷

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は、<画面8>を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 6 6 ⑧へ

印刷 . . . P 6 7 ⑨へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面8>

入退去処理

設定されている固定費名称 → テナント**

固定費名称: 固定費1 固定費: ** 円 ▲

固定費名称: 固定費2 固定費: ** 円 ▼

固定費名称: 固定費3 固定費: ** 円

小計: ** 円

税金額: ** 円

請求金額: ** 円

戻る 総料金 次頁 印刷

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。

総料金 を押すと<画面9>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の「固定費の部分」は表示されません。

“固定費” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 6 6 ⑧へ

印刷 . . . P 6 7 ⑨へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面9>

⑧ 総料金 を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票

料金換算期間 → 水道-001

**年 **月 **日 **時 **分 ~ **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³

総料金 * 円 ▼

戻る 印刷

前回検針時から今回検針時(入退去処理時)までの期間で、選択したメーター種別ごとの使用量の合計値及び料金の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されている次のメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 6 7 ⑩

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面10>

- ⑨ <画面 8 >または<画面 9 >で **印刷** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面 3 >に戻ります。

<画面 1 1 >

- ⑩ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面 3 >に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 3 >に戻ります。

<画面 1 2 >

- ⑪ <画面 1 0 >で **印刷** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面 1 0 >に戻ります。

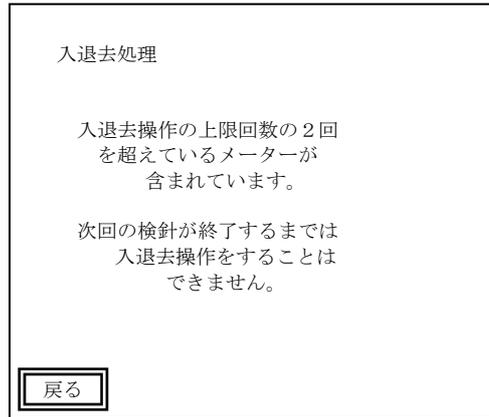
<画面 1 3 >

- ⑫ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。印刷終了後<画面 1 0 >に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 1 0 >に戻ります。

<画面 1 4 >

⑬ <画面4>にて入退去操作の上限回数を超えていた場合に **任意メーター種別** を押すと次の画面が表示されます。



戻る を押すと、<画面3>に戻ります。

<画面15>

<印刷例>

【入退去処理後の手動印刷】 (画面11からの印刷)

***** 料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針 (入退去処理を実施) をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針 (入退去処理を実施) をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 (「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較)
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 〇〇〇	** 円	} 対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計	** 円	← 各メーターの料金と固定費の合計
税金額	** 円	← 小計の消費税分
請求金額	** 円	← 小計+消費税の合計

テナント2		
.		
.		
.		

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

<印刷例>

【入退去処理後の自動印刷】（自動検針時に実行される印刷）

料金票			
〇〇〇ビル		←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分		←	印刷をおこなった日時

テナント 1		←	設定されているテナント名称
メーター種別	水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日	**年**月**日**時**分	←	今回自動検針をおこなった日時
メーター値	** m 3	←	今回自動検針をおこなった時点での検針値
前回検針日	**年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
前回メーター値	** m 3	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
使用量	** m 3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分（入退去処理後からの使用量）
料金	** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比	** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別	電灯-001		
検針日	**年**月**日**時**分		
メーター値	** k W h		
前回検針日	**年**月**日**時**分		
前回メーター値	** k W h		
使用量	** k W h		
料金	** 円		
前回比	** %		
固定費	〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費	△△△	** 円	
固定費	□□□	** 円	

小計	** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額	** 円	←	小計の消費税分
請求金額	** 円	←	小計+消費税の合計

テナント 1			
メーター種別	水道-001		
検針日	**年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
メーター値	** m 3	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
前回検針日	**年**月**日**時**分	←	前回自動検針をおこなった日時
前回メーター値	** m 3	←	前回自動検針をおこなった時点での検針値
使用量	** m 3	←	入退去処理時の検針値と前回自動検針時の検針値との差分（入退去処理時までの使用量）
料金	** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比	** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別	電灯-001		
検針日	**年**月**日**時**分		
メーター値	** k W h		
前回検針日	**年**月**日**時**分		
前回メーター値	** k W h		
使用量	** k W h		
料金	** 円		
前回比	** %		
固定費	〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費	△△△	** 円	
固定費	□□□	** 円	

小計	** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額	** 円	←	小計の消費税分
請求金額	** 円	←	小計+消費税の合計

テナント 2			
.			
.			
.			

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。

入退去処理実施時から今回の自動検針までの料金データ。

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。

前回の自動検針から入退去処理実施時までの料金データ。

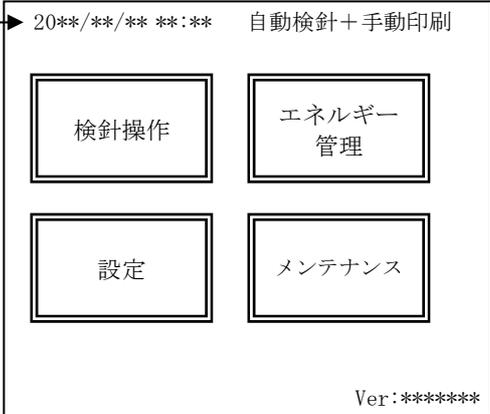
(4) 任意テナント任意メーターに対する入退去処理

入居・退去のときに、該当するテナント及びメーター種別を指定して検針をおこないます。
入居の場合は、あらかじめテナント情報を設定しておく必要があります。

※テナント情報設定については取扱説明書（保守点検編）をご覧ください。

① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください（どこでもかまいません）。

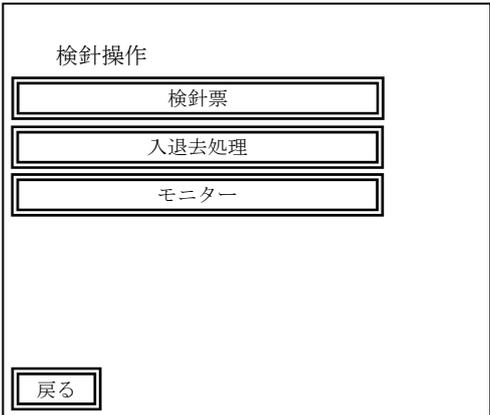
現在の年月日時分 → 20**/**/** **:** 自動検針+手動印刷



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。

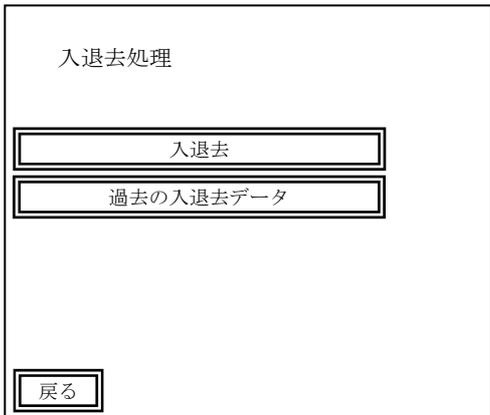


※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

検針票 …… P 1 1 参照
モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

③ **入退去処理** を押すと次の画面になります。



入退去 を押します。

過去の入退去データ …… P 7 7 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

- ④ **入退去** を押すと次の画面になります。

入退去処理（検針）したいメーターを選択します。
 ※入退去操作の上限回数は自動検針実施後2回です。
 上限回数を超えるメーターが含まれている場合は<画面16>を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面4>

- ⑤ **任意テナント任意メーター種別** を押すと次の画面になります。

入退去処理（検針）したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。

※**全テナント**は**選択しない**でください。
 テナントを選択すると**設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
 <画面5>

- ⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

続けて入退去処理（検針）したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。メーター種別を選択すると**設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。

<画面6>

- ⑦ **設定** を押すと次の画面になります。

確認 を押します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面7>

⑧ **確認** を押すと次の画面になります。

入退去処理

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、
<画面 9> を表示します。

※ “検針票” の設定が “料金票” の場合を
例として記載しています。

<画面 8>

入退去処理

設定されているテナント名称 → テナント**

設定されているメーター名称 → 水道-001

入退去処理を行った日時 → 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分

メーター値: * m³

前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分

前回メーター値: * m³

今回（入退去処理時）取得した検針値と前回取得した検針値との差分 → 使用量: * m³

設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。 → 料金: ** 円

前回の料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較 → 前回比: ** %

▼ ▲

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は、<画面 8> を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

総料金 . . . P 7 3 ⑨へ

印刷 . . . P 7 3 ⑩へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 9>

入退去処理

テナント**

設定されている固定費名称 → 固定費名称: 固定費 1

固定費: ** 円 ▲

固定費名称: 固定費 2

固定費: ** 円 ▼

固定費名称: 固定費 3

固定費: ** 円 ▼

小計: ** 円

税金額: ** 円

請求金額: ** 円

▲ ▼

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。

総料金 を押すと<画面 9>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の「固定費の部分」は表示されません。

“固定費” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

総料金 . . . P 7 3 ⑨へ

印刷 . . . P 7 3 ⑩へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 10>

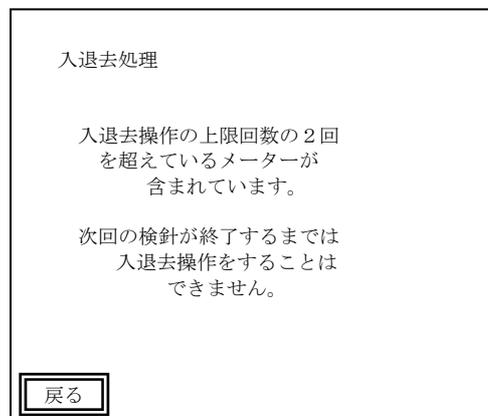
- ⑬ **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
印刷終了後<画面11>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面11>に戻ります。

<画面15>

- ⑭ <画面4>にて入退去操作の上限回数を超えていた場合に**任意テナント任意メーター種別**を押すと次の画面が表示されます。



戻る を押すと、<画面3>に戻ります。

<画面16>

<印刷例>

【入退去処理後の手動印刷】（画面12からの印刷）

料金票		
〇〇〇ビル		← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分		← 印刷をおこなった日時

テナント1		← 設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001		← 設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分		← 今回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
メーター値 ** m3		← 今回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分		← 前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3		← 前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3		← 今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円		← 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %		← 前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 〇〇〇	** 円	} 対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円		← 各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円		← 小計の消費税分
請求金額 ** 円		← 小計+消費税の合計

テナント2		
.		
.		
.		

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

<印刷例>

【入退去処理後の自動印刷】（自動検針時に実行される印刷）

***** 料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント 1	←	設定されているテナント名称

メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回自動検針をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回自動検針をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分（入退去処理後からの使用量）
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）

メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		

固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円	←	小計の消費税分
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計
*****		入退去処理実施時から今回の自動検針までの料金データ。
テナント 1		

メーター種別 水道-001		
検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	前回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回自動検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回自動検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	入退去処理時の検針値と前回自動検針時の検針値との差分（入退去処理時までの使用量）
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）

メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		

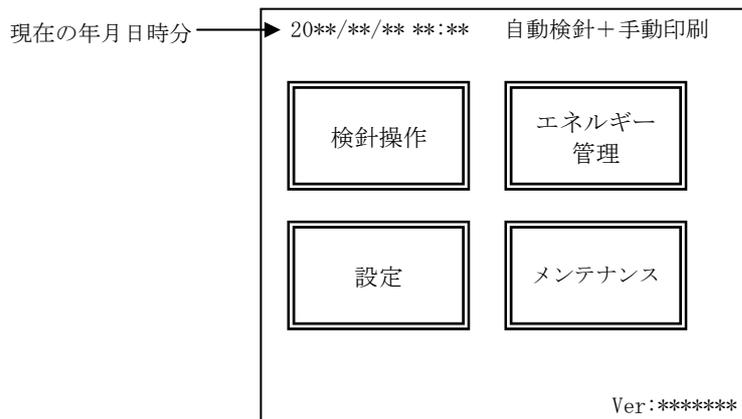
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円	←	小計の消費税分
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計
*****		前回の自動検針から入退去処理実施時までの料金データ。
テナント 2		
.		
.		
.		

(5) 過去の入退去データの閲覧・印刷

過去におこなった入退去処理について、表示・印刷をおこないます。

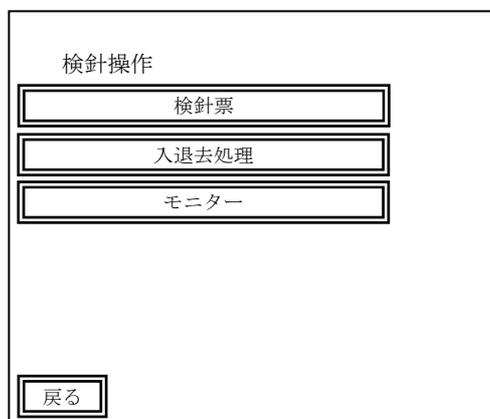
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください（どこでもかまいません）。



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。

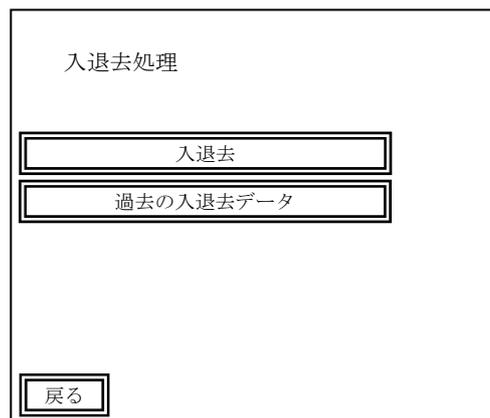


※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

検針票 …… P 1 1 参照
モニター …… P 8 3 参照

<画面 2 >

- ③ **入退去処理** を押すと次の画面になります。



過去の入退去データ を押します。

入退去 …… P 5 1 参照

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **過去の入退去データ** を押すと次の画面になります。

入退去処理を実施した
年月日時分を表示

過去の入退去データ

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

20**年**月**日 **時**分

戻る

1画面で表示できない数の過去データがある場合は▲、▼ボタンで表示されていない過去データを表示させます。
表示・印刷させたい入退去処理をおこなったの日付を選択します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面4>

⑤ **20**年**月**日 **時**分** を押すと次の画面になります。

過去の入退去データ

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

表示・検針させたいメーターを選択します。

全て . . . P 7 9 ⑥へ
任意テナント . . . P 8 1 ⑫-1へ
任意メーター種別 . . . P 8 1 ⑫-2へ
任意テナント任意メーター種別 . . . P 8 1 ⑫-3へ

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面5>

⑥ **全て** を押すと次の画面になります。

過去の入退去データ

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001
 入退去処理を行った日時 → 検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³

今回（入退去処理時）取得した検針値と前回取得した検針値との差分
 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

使用量: * m³
 料金: ** 円
 前回比: ** %

設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

前回の料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較

戻る **総料金** **次頁** **印刷**

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は、<画面7>を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

総料金 . . . P 7 9 ⑦へ

印刷 . . . P 8 0 ⑧へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面6>

過去の入退去データ

テナント**

設定されている固定費名称 → 固定費名称: 固定費1
 固定費: ** 円
 固定費名称: 固定費2
 固定費: ** 円
 固定費名称: 固定費3
 固定費: ** 円
 小計: ** 円
 税金額: ** 円
 請求金額: ** 円

戻る **総料金** **次頁** **印刷**

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。

総料金 を押すと<画面8>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の「固定費の部分」は表示されません。

“固定費” の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

総料金 . . . P 7 9 ⑦へ

印刷 . . . P 8 0 ⑧へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面7>

⑦ **総料金** を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票

水道-001

料金換算期間 → **年 **月 **日 **時 **分 ~ **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³
 総料金 * 円

戻る **印刷**

前回検針時から今回検針時（入退去処理時）までの期間で、選択したメーター種別ごとの使用量の合計値及び料金の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されている次のメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 8 0 ⑩

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面8>

- ⑧ <画面6>または<画面7>で **印刷** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面3>に戻ります。

<画面9>

- ⑨ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面3>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面3>に戻ります。

<画面10>

- ⑩ <画面11>で **印刷** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面8>に戻ります。

<画面11>

- ⑪ **実行** を押すと次の画面が表示されます。

本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。印刷終了後<画面8>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面8>に戻ります。

<画面12>

⑫-1 <画面5>で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。

表示したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面13>

⑫-2 <画面5>で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面14>

⑫-3 <画面5>で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。

表示したいテナントを選択します。
 1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
 選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
 テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面16>を表示します。

<画面15>

表示したいメーター種別を選択します。
 1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
 選択したメーター種別のボタンは反転します。
 メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

<画面16>

<印刷例>

【過去の入退去データ印刷】（画面9からの印刷）

料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針（入退去処理を実施）をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針（入退去処理を実施）をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針（入退去処理を実施する1回前の検針）をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針（入退去処理を実施する1回前の検針）をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 （「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較）
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 ○○○	** 円	} 対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計 ** 円	←	各メーターの料金と固定費の合計
税金額 ** 円	←	小計の消費税分
請求金額 ** 円	←	小計+消費税の合計

テナント2		
	.	
	.	
	.	

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

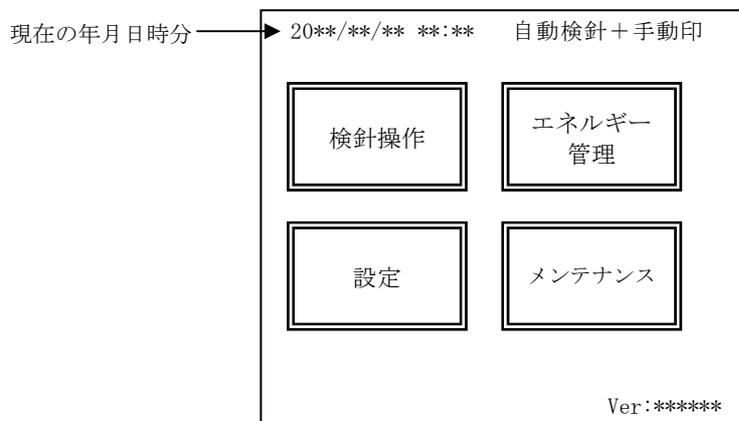
- 6-2-5. 現在の検針値（メーター値、使用量、料金）の確認
 今現在のメーター値、料金について確認することができます。
 ここでは、
- 全て（全テナント全メーター）
 - 任意テナント
 - 任意メーター種別
 - 任意テナント任意メーター種別
- ごとに対象を選択することができます。

※ここでの検針操作は検針票として検針盤に保存されません。

プラスαシステムをご利用の場合（「シリアルポート設定」にて、外部通信の項目が「アルファ通信」に設定されている場合）「メーター値票」を「全て」に対して検針すると通常印字の他にメンテナンス用としてプラスαシステムへのデータ送出順での印字が行えます。

操作手順

- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください（どこでもかまいません）。

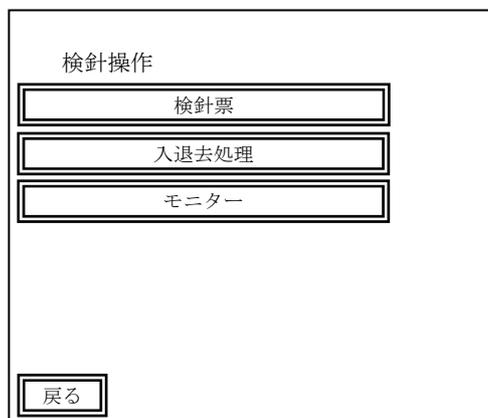


基本画面が表示されます。
 他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

※“検針票”の設定が“料金票”で、自動検針モードを選択している場合を例として記載しています。

<画面1>

- ② **検針操作** を押して検針操作メニューを表示させます。

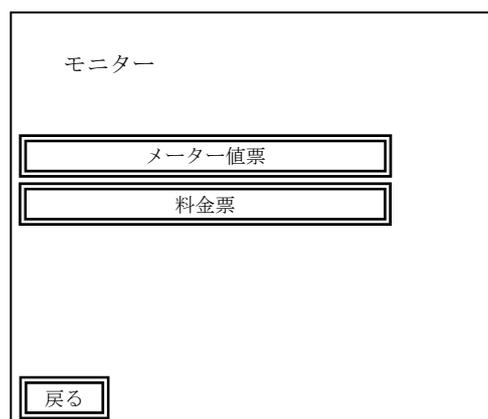


※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

検針票 …… P 1 1 参照
入退去処理 …… P 5 1 参照

<画面2>

- ③ **モニター** を押すと次の画面になります。



料金票 を押します。

メーター値票 を押すとメーター値票のモニタ画面の表示選択になります。

戻る を押すと<画面2>に戻ります。

<画面3>

④ **料金票** を押すと次の画面になります。

モニター (料金票)

全て

任意テナント

任意メーター種別

任意テナント任意メーター種別

戻る

表示、印刷させたいメーターを選択します。

全て …… P 8 4 ⑤へ
任意テナント …… P 8 7 ⑫-1へ
任意メーター種別 …… P 8 7 ⑫-2へ
任意テナント任意メーター種別
…………… P 8 7 ⑫-3へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 4>

⑤ **全て** を押すと次の画面になります。

モニター (料金票)

現在値
検針しますか

戻る

確認

確認 を押します。

戻る を押すと<画面 4>に戻ります。

<画面 5>

⑥ **確認** を押すと次の画面になります。

モニター (料金票)

検針中
しばらくお待ちください。

本画面表示中に検針を実施し、検針完了後、
<画面 7>を表示します。

<画面 6>

現在料金票

設定されているテナント名称 → テナント**
 設定されているメーター名称 → 水道-001

検針日時: **年 **月 **日 **時 **分
 メーター値: * m³
 前回検針日: **年 **月 **日 **時 **分
 前回メーター値: * m³

今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分 → 使用量: * m³ ▼
 設定されている単価を用いて使用量から演算した金額 ※演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。 → 料金: ** 円
 前回比: ** %

前回の料金との比較(割合) 「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較

戻る 総料金 次頁 印刷

▼ を押すと、同一テナントに設定されている次のメーターの料金票を表示します。同一テナントに設定されている最後のメーターの料金票を表示している場合は、<画面8>を表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

次頁 を押すと、現在表示しているテナントに対して次のテナントの最初に設定されているメーターの料金票を表示します。

※ “比較” の設定が「前年同月比」の場合は、左記の「前回比」は「前年同月比」に変わります。“比較” の設定が「なし」の場合は、左記の「前回比」の項目は表示されません。

“比較” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 8 5 ⑦へ

印刷 . . . P 8 6 ⑧へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面7>

現在料金票

設定されている固定費名称 → テナント**

固定費名称: 固定費1
 固定費: ** 円 ▲
 固定費名称: 固定費2
 固定費: ** 円 ▼
 固定費名称: 固定費3
 固定費: ** 円

小計: ** 円
 税金額: ** 円
 請求金額: ** 円

戻る 総料金 次頁 印刷

▼ を押すと、次のテナントの最初に設定されているメーターの料金表情報を表示します。

総料金 を押すと<画面9>を表示します。

※ “固定費” の設定がない場合は、左記の「固定費の部分」は表示されません。

“固定費” の設定については、取扱説明書(保守点検操作編)をご覧ください。

総料金 . . . P 8 5 ⑦へ

印刷 . . . P 8 6 ⑧へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面8>

⑦ 総料金 を押すと次の画面になります。

メーター種別総料金票

料金換算期間 → 水道-001

**年 **月 **日 **時 **分 ~
 **年 **月 **日 **時 **分

総使用量 * m³
 総料金 * 円 ▼

戻る 印刷

前回検針時から今回検針時までの期間で、選択したメーター種別ごとの使用量の合計値及び料金の合計値を表示します。

▼ を押すと、設定されている次のメーター種別を順次表示します。

▼ を押すと、▲ が表示されます。

▲ は ▼ と逆の動作をします。

印刷 . . . P 8 6 ⑩

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面9>

⑧ <画面7>または<画面8>で **印刷** を押すと次の画面になります。



実行 を押すと、表示させている検針票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面3>に戻ります。

<画面10-1>

⑨-1 **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、表示させている検針票を印刷します。印刷終了後<画面3>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面3>に戻ります。

<画面11>

⑨-2 <画面3>で **メーター値票**、<画面4>で **全て** を選んでいた場合、
<画面10-1>で **実行** を押すと次の画面が表示されます。



表示順 を押すと表示させている順番で検針票を印刷します。(<画面11>へ)

送出順 を押すとプラスαシステムに送出する順番で検針票を印刷します。
(<画面11>へ)

しない を押すと、印刷しないで<画面3>に戻ります。

<画面10-2>

⑩ <画面9>で **印刷** を押すと次の画面になります。



実行 を押すと、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
しない を押すと、印刷しないで<画面9>に戻ります。

<画面12>

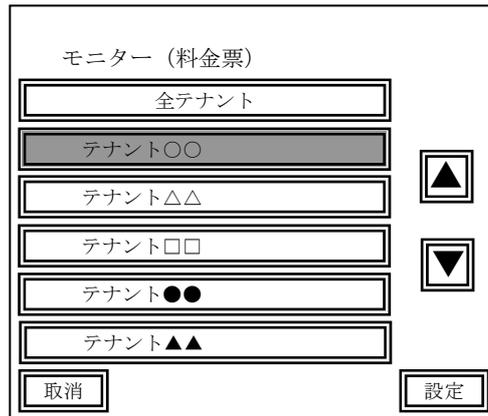
- ⑪ **実行** を押すと次の画面が表示されます。



本画面表示中に、選択した検針日時のメーター種別総料金票を印刷します。
印刷終了後<画面 9>に戻ります。
中止 を押すと印刷を中止し、<画面 9>に戻ります。

<画面 1 3 >

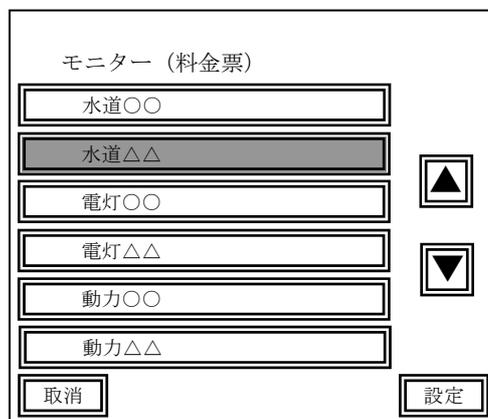
- ⑫-1 <画面 4 >で **任意テナント** を押した場合は、次の画面になります。



表示・印刷させたいテナントを選択します。
1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面 7>を表示します。

<画面 1 4 >

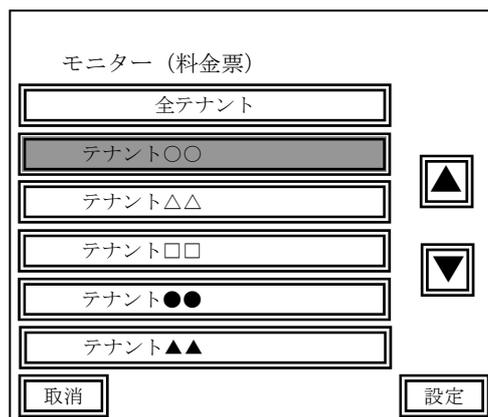
- ⑫-2 <画面 4 >で **任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。



表示・印刷させたいメーター種別を選択します。
1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。
選択したメーター種別のボタンは反転します。
メーター種別を選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面 7>を表示します。

<画面 1 5 >

- ⑫-3 <画面 4 >で **任意テナント任意メーター種別** を押した場合は、次の画面になります。



表示・印刷させたいテナントを選択します。
1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。
選択したテナントのボタンは反転します。
全テナント を選択すると全てのテナントが対象となります。
テナントを選択すると **設定**、**取消** ボタンが表示されます。**取消** は前画面に戻ります。
設定 を押すと<画面 1 7>を表示します。

<画面 1 6 >

モニター（料金票）

水道〇〇	
水道△△	▲
電灯〇〇	
電灯△△	▼
動力〇〇	
動力△△	
取消	設定

続けて、表示・印刷させたいメーター種別を選択します。

1画面で表示できない数のメーター種別が設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーター種別を表示させます。選択したメーター種別のボタンは反転します。

メーター種別を選択すると設定、取消ボタンが表示されます。取消は前画面に戻ります。

設定を押すと<画面7>を表示します。

<画面17>

<印刷例>

料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

テナント 1	←	設定されているテナント名称
メーター種別 水道-001	←	設定されているメーター種別名称
検針日 **年**月**日**時**分	←	今回検針をおこなった日時
メーター値 ** m3	←	今回検針をおこなった時点での検針値
前回検針日 **年**月**日**時**分	←	前回検針をおこなった日時
前回メーター値 ** m3	←	前回検針をおこなった時点での検針値
使用量 ** m3	←	今回取得した検針値と前回取得した検針値との差分
料金 ** 円	←	設定されている単価を用いて使用量から演算した金額
前回比 ** %	←	前回の料金との比較 (「前年同月比」の場合は、前年同月の料金との比較)
メーター種別 電灯-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** kWh		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** kWh		
使用量 ** kWh		
料金 ** 円		
前回比 ** %		
固定費 〇〇〇	** 円	対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。
固定費 △△△	** 円	
固定費 □□□	** 円	

小計	** 円	← 各メーターの料金と固定費の合計
税金額	** 円	← 小計の消費税分
請求金額	** 円	← 小計+消費税の合計

テナント 2		
メーター種別 水道-001		
検針日 **年**月**日**時**分		
メーター値 ** m3		
前回検針日 **年**月**日**時**分		
前回メーター値 ** m3		
使用量 ** m3		
.		
.		
.		

メーター種別総料金票		
〇〇〇ビル	←	設定されている物件名
20**年**月**日**時**分	←	印刷をおこなった日時

メーター種別 水道	←	対象メーター種別
年月**日**時**分～	←	使用量集計期間
年月**日**時**分		
総使用量 **m3	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの使用量を合計した値
総料金 **円	←	
メーター種別 電灯	←	各テナントに割り当てられている「対象メーター種別」に対して、集計期間におけるそれぞれの料金を合計した値
年月**日**時**分～		
年月**日**時**分		
総使用量 **kWh		
総料金 **円		

合計金額	**円	

注意：演算した「料金」の小数点以下の金額は切り捨てになります。

対象テナントに対し、固定費の設定がある場合のみ印刷されます。

「自動印刷」設定の場合は「種別合計印刷」の設定が「あり」のとき、料金票に続いて、メーター種別総料金票が印刷されます。

<画面12>から[実行]を押した場合でも、メーター種別総料金票が印刷されます。

<印刷例(送出順)>

```

*****
メーター値票
(アルファ出力送出順)

〇〇ビル
20**年**月**日**時**分
*****

テナント1
〇〇 ← テナント番号
メーター種別 水道-001
    △△ ← メーター種別
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値  ** m3
    □□ ← メーター番号

メーター種別 電灯-001
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値  ** kWh
*****
テナント2
〇〇
メーター種別 電灯-002
    △△
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値  ** m3
    □□

メーター種別 水道-002
検針日      **年**月**日**時**分
メーター値  ** kWh
*****
テナント3
.
.
.
    
```

「アルファ出力送出順」を印刷

「アルファ出力送出順」の記載がある帳票には、通常の表記に加え、「テナント番号」「メーター種別」「メーター番号」の数列(プラスαへ送信する電文データ)も併せて表記する。

プラスαシステムへ送出する順(アメリスDMへの登録番号が若い順)に印刷する。
 ※同一テナント内でメーターの削除・登録があると必ずしも表示順と同じ順番になるわけではないので注意が必要。

6-3. エネルギー管理メニュー

検針盤で記憶している検針データ（検針票、ロガーデータ）や履歴データをCSVファイル形式で引き出すことができます。

データを引き出す際、USBメモリもしくはSDカードが必要となります。検針盤に搭載しておりますUSBポート、SDカードスロット（位置の詳細はP54-2. 各部の名称 参照）に挿入してご使用ください。

※USBメモリ、SDカードは検針盤に装備されておられません。お客様側でご準備願います。

ここでは、

- ロガーデータ転送
- 検針票転送
- 履歴転送

がおこなえます。

6-3-1. ロガーデータ転送

ロガー機能が設定されている場合、記録したロガーデータをCSVファイル形式で取り出します。

注 記

- ロガーデータ転送中はロガー検針を停止します。
ロガー検針の間隔を考慮してロガーデータを転送する必要があります。

例. ロガー検針の間隔を10分毎に設定した場合

6ファイル（6時間分の検針データ）を出力するのに約1分の転送時間を要します。

24ファイル（1日分の検針データ）を出力するのに約4分の転送時間を要します。

従いまして、ロガー検針の欠測なくロガーデータを転送するには、ロガー検針終了後に最大2日分（転送時間：約8分）を選択して転送させる必要があります。

最大数である2,232ファイル（3ヶ月分の検針データ）を出力するには、約6時間12分の転送時間を要します。

※ロガー機能の詳細についてはP140参照

注 記

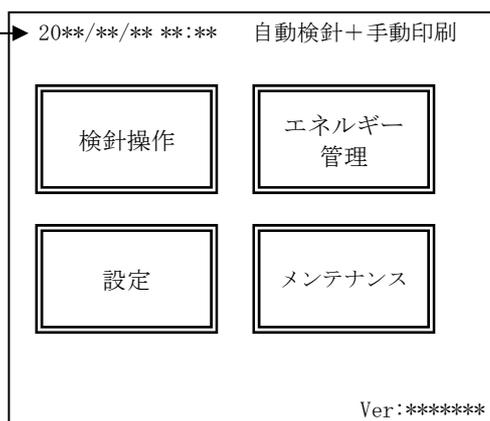


データ転送中にUSBメモリまたはSDカードを抜かないでください。

操作手順

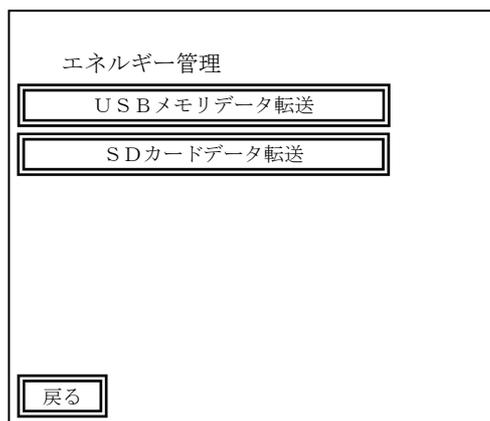
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）

現在の年月日時分



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

② **エネルギー管理** を押してエネルギー管理メニューを表示させます。



USBメモリデータ転送 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面 2 >

<画面 1 >もしくは<画面 2 >を表示時にUSBメモリもしくはSDカードを検針盤に挿入してください。

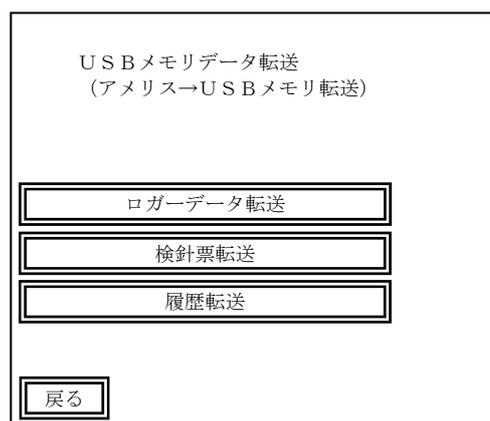


USBメモリの挿入



SDカードの挿入

③ **USBメモリデータ転送** を押すと次の画面になります。



※**SDカードデータ転送** の場合は、「USBメモリ」の部分で「SDカード」に読み替えてください。

ロガーデータ転送 . . . P 9 3 ④へ
検針票転送 P 9 7 参照
履歴転送 P 1 0 4 参照

<画面 3 >

④ **ロガーデータ転送** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送
(アメリス→USBメモリ転送)
ロガーデータ転送

最新データのみ

任意の期間

全データ

戻る

表示、印刷させたいメーターを選択します。

最新データのみ . . . P 9 3 ⑤へ
任意の期間 . . . P 9 4 ⑧へ
全データ . . . P 9 5 ⑪へ

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 4>

⑤ **最新データのみ** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送

転送しますか?
アメリス→USBメモリ転送
ロガーデータ転送

戻る **確認**

確認 を押します。

戻る を押すと<画面 4>に戻ります。

<画面 5>

⑥ **確認** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送

アメリス
→USBメモリ転送
ロガー転送

しばらくお待ちください。

中止

本画面表示中にデータ転送を実施し、転送完了後、<画面 7>を表示します。

中止 を押すとデータの転送を中止して<画面 8>を表示します。

<画面 6>

USBメモリデータ転送

正常に転送が完了しました。

USBメモリを安全に
取り外すことができます。

確認

確認 を押すと<画面 3>を表示します。

<画面 7>

⑦ <画面 6 >で **中止** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送

転送処理を取り消しました。

確認

確認 を押すと<画面 3 >を表示します。

<画面 8 >

⑧ <画面 4 >で**任意の期間** を押した場合は、次の画面になります。

USBメモリデータ転送

アメリカス→USBメモリ転送
ロガーデータ転送

開始日：
**年 **月 **日 **時 **分

終了日：
**年 **月 **日 **時 **分

戻る **確認**

ロガーデータを取得する任意の期間を入力
します。
開始日/終了日を入力し、**確認** を押すと
<画面 1 1 >を表示します。

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 9 >

⑨ ****年**月**日**時**分** を押すと次の画面になります。(開始日/終了日)

開始日

年 月 日
時 分

7 8 9
4 5 6
1 2 3
0

戻る **設定**

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して
開始日/終了日を設定します。
数値を入力すると **設定** ボタンが表示され
ます。
設定 を押すと入力した開始日/終了日を
反映して<画面 9 >に戻ります。

戻る を押すと入力をキャンセルして<画
面 9 >に戻ります。

<画面 1 0 >

⑩ <画面 9 >で **確認** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送

転送しますか?
アメリカス→USBメモリ転送
ロガーデータ転送

期間
**年 **月 **日 **時 **分 ~
**年 **月 **日 **時 **分

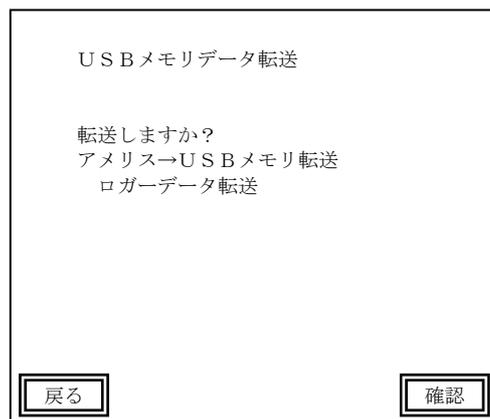
戻る **確認**

確認 を押すと<画面 6 >を表示します。

戻る を押すと<画面 9 >に戻ります。

<画面 1 1 >

⑪ <画面4>で**全データ**を押した場合は、次の画面になります。

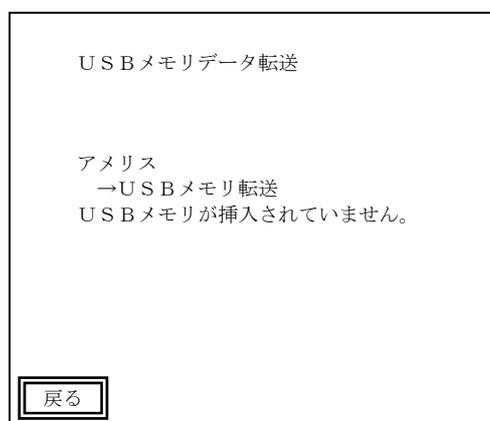


確認 を押すと<画面6>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面12>

⑫ <画面2>でUSBメモリを挿入しないで**USBメモリデータ転送**を押した場合は、次の画面になります。



戻る を押すと<画面2>を表示します。

<画面13>

●CSVファイル例（ロガーデータ）

ファイル名：「LGYMMDDhhmm.csv」

YY：ファイル作成時の西暦下2桁
 MM：ファイル作成時の月（2桁）
 DD：ファイル作成時の日（2桁）
 hh：ファイル作成時の時（2桁）
 mm：ファイル作成時の分（2桁）

例：2011年03月18日01時50分に作成したデータ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	テナント名	メーター種別	単位名称	メーター番号	今回検針日付	今回検針時刻	今回取得検針値	1回前検針日付	1回前検針時刻
2	テナント1	水道 -001	m3	1	20110318	150	29	20110318	140
3	テナント1	水道 -004	m3	10	20110318	150	0	20110318	140
4	テナント1	電灯 -001	kWh	2	20110318	150	44	20110318	140
5	テナント1	動力 -001	Wh	3	20110318	150	45	20110318	140
6	テナント1	水道 -005	m3	11	20110318	150	0	20110318	140
7	テナント2	電灯 -002	kWh	5	20110318	150	37	20110318	140
8	テナント2	動力 -002	Wh	6	20110318	150	28	20110318	140
9	テナント2	水道 -002	m3	4	20110318	150	0	20110318	140
10	テナント3	水道 -003	m3	7	20110318	150	47	20110318	140
11	テナント3	電灯 -003	kWh	8	20110318	150	39	20110318	140
12	テナント3	動力 -003	Wh	9	20110318	150	35	20110318	140
13									
14									
15									

今回検針時刻は01時50分(0150)ですが、ゼロサプレスが実行されるため表示は150となっています。セルの表示形式は全て「標準」です。

「ロガー設定」の検針周期によって1ファイルに記録される〇回前検針データ（検針値）の数は異なります。

分 毎：1ファイルに1時間分の検針データ（検針値）を保存します。

例. 検針周期が「10分毎」の場合

00分、10分、20分、30分、40分、50分 に検針したデータ（6個分）を1ファイルに格納します。

時間毎：1ファイルに1日分の検針データ（検針値）を保存します。

例. 検針周期が「1時間毎」の場合

0時、1時、2時、・・・、23時 に検針したデータ（24個分）を1ファイルに格納します。

日 毎：1ファイルに1週間分の検針データ（検針値）を保存します。

例. 検針周期が「1日毎」の場合

1日、2日、3日、・・・、7日 に検針したデータ（7個分）を1ファイルに格納します。

週間毎：1ファイルに1ヶ月分の検針データ（検針値）を保存します。

例. 検針周期が「1週間毎」の場合

1週目、2週目、・・・、5週目 に検針したデータ（5個分）を1ファイルに格納します。

月 毎：1ファイルに1年分の検針データ（検針値）を保存します。

例. 検針周期が「1月毎」の場合

1月、2月、3月、・・・、12月 に検針したデータ（12個分）を1ファイルに格納します。

6-3-2. 検針票転送

検針盤が記録している検針票データをCSVファイル形式で引き出します。

注 記

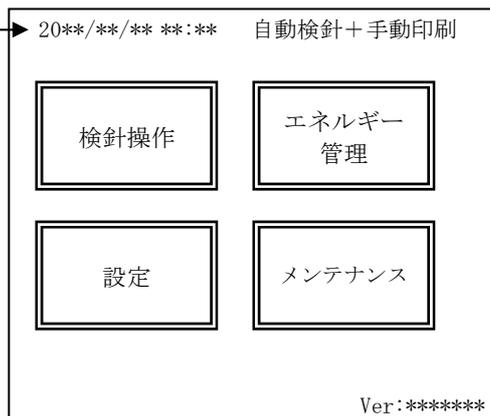


データ転送中にUSBメモリまたはSDカードを抜かないでください。

操作手順

- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）

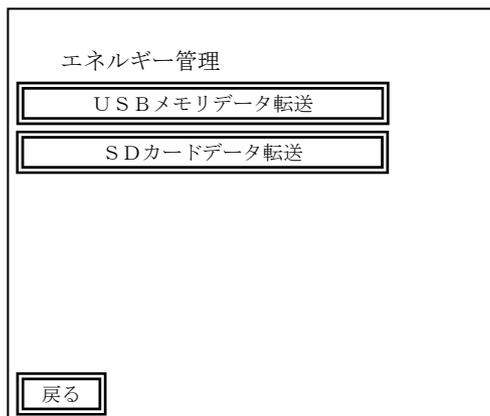
現在の年月日時分



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面1>

- ② **エネルギー管理** を押してエネルギー管理メニューを表示させます。



USBメモリデータ転送 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面2>

<画面1>もしくは<画面2>を表示時にUSBメモリもしくはSDカードを検針盤に挿入してください。

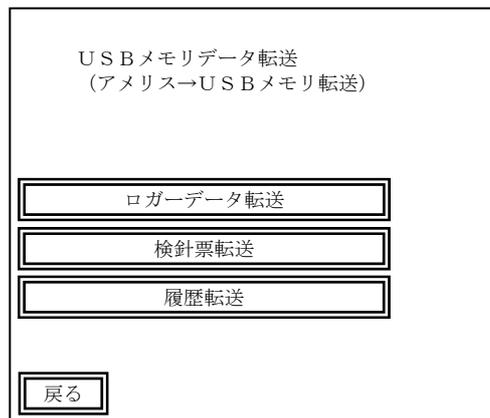


USBメモリの挿入



SDカードの挿入

③ **USBメモリデータ転送** を押すと次の画面になります。

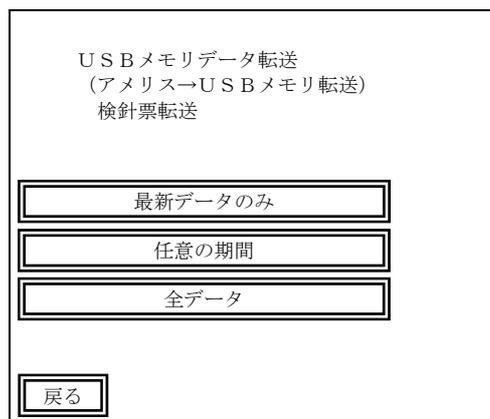


※**SDカードデータ転送** の場合は、「USBメモリ」の部分「SDカード」に読み替えてください。

ロガーデータ転送 . . . P 9 1 参照
検針票転送 P 9 8 ④へ
履歴転送 P 1 0 4 参照

<画面 3 >

④ **検針票転送** を押すと次の画面になります。



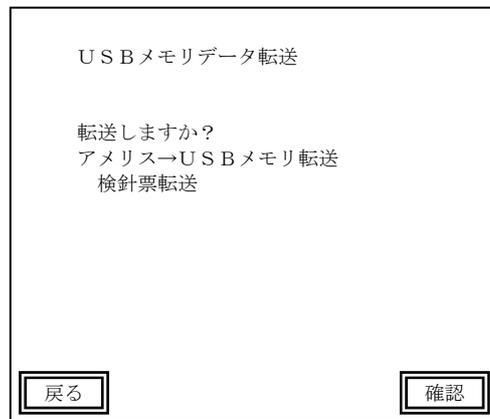
表示、印刷させたいメーターを選択します。

最新データのみ . . . P 9 8 ⑤へ
任意の期間 . . . P 9 9 ⑧へ
全データ . . . P 1 0 0 ⑩へ

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

⑤ **最新データのみ** を押すと次の画面になります。

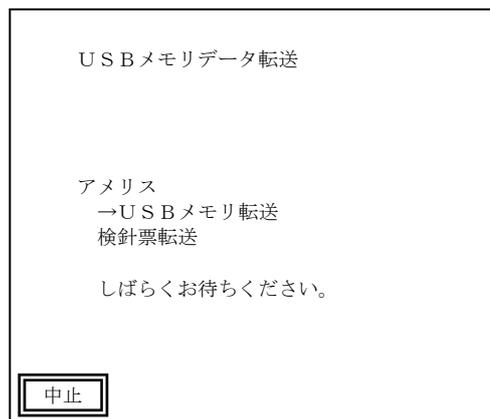


確認 を押します。

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 5 >

⑥ **確認** を押すと次の画面になります。



本画面表示中にデータ転送を実施し、転送完了後、<画面 7 >を表示します。

中止 を押すとデータの転送を中止して<画面 8 >を表示します。

<画面 6 >

USBメモリデータ転送

正常に転送が完了しました。

USBメモリを安全に取り外すことができます。

確認

確認 を押すと<画面 3>を表示します。

<画面 7>

⑦ <画面 6>で **中止** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送

転送処理を取り消しました。

確認

確認 を押すと<画面 3>を表示します。

<画面 8>

⑧ <画面 4>で**任意の期間** を押した場合は、次の画面になります。

USBメモリデータ転送

アメリカス→USBメモリ転送
検針票転送

開始日：
**年 **月 **日 **時 **分

終了日：
**年 **月 **日 **時 **分

戻る

確認

検針票を取得する任意の期間を入力します。
開始日/終了日を入力し、**確認** を押すと
<画面 1 1>を表示します。

戻る を押すと<画面 4>に戻ります。

<画面 9>

⑨ ****年**月**日**時**分** を押すと次の画面になります。(開始日/終了日)

開始日

年 月 日
時 分

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

▶

◀

戻る

設定

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して
開始日/終了日を設定します。
数値を入力すると **設定** ボタンが表示され
ます。
設定 を押すと入力した開始日/終了日を
反映して<画面 9>に戻ります。

<画面 1 0>

⑩ <画面8>で **確認** を押すと次の画面になります。

USBメモリデータ転送

転送しますか？
アメリカス→USBメモリ転送
検針票転送

期間
**年 **月 **日 **時 **分 ~
**年 **月 **日 **時 **分

戻る **確認**

確認 を押すと<画面6>を表示します。

戻る を押すと<画面8>に戻ります。

<画面11>

⑪ <画面4>で **全データ** を押した場合は、次の画面になります。

USBメモリデータ転送

転送しますか？
アメリカス→USBメモリ転送
検針票転送

戻る **確認**

確認 を押すと<画面6>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面12>

⑫ <画面2>でUSBメモリを挿入しないで **USBメモリデータ転送** を押した場合は、次の画面になります。

USBメモリデータ転送

アメリカス
→USBメモリ転送
USBメモリが挿入されていません。

戻る

戻る を押すと<画面2>を表示します。

<画面13>

●CSVファイル例（検針票）

ファイル名：「sYYMMDDhhmm.csv」

YY：ファイル作成時の西暦下2桁
 MM：ファイル作成時の月（2桁）
 DD：ファイル作成時の日（2桁）
 hh：ファイル作成時の時（2桁）
 mm：ファイル作成時の分（2桁）

例：2011年03月21日00時41分に作成したデータ

Microsoft Excel - s1103210041.csv

今回検針時刻は00時41分(0041)ですが、ゼロサプレスが実行されるため表示は41となっています。セルの表示形式は全て「標準」です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	テナント名	メーター種別	メーター単位名称	今回検針日付	今回検針時刻	今回取得検針値	1回前検針日付	1回前検針時刻	1回前
2	テナント1	水道 -001	m3	20110321	41	29	20110321	39	
3	テナント1	水道 -004	m3	20110321	41	0	20110321	39	
4	テナント1	電灯 -001	kWh	20110321	41	44	20110321	39	
5	テナント1	動力 -001	Wh	20110321	41	45	20110321	39	
6	テナント1	水道 -005	m3	20110321	41	0	20110321	39	
7	テナント2	電灯 -002	kWh	20110321	41	37	20110321	39	
8	テナント2	動力 -002	Wh	20110321	41	28	20110321	39	
9	テナント2	水道 -002	m3	20110321	41	0	20110321	39	
10	テナント3	水道 -003	m3	20110321	41	47	20110321	39	
11	テナント3	電灯 -003	kWh	20110321	41	39	20110321	39	
12	テナント3	動力 -003	Wh	20110321	41	35	20110321	39	
13									
14									

上図画面からの続き

	I	J	K	L	M	N	O	
1	1回前取得検針値	今回使用量	今回料金	前回比(使用量)	前回比(料金)	前年同月比(使用量)	前年同月比(料金)	メータ
2	29	0	100	----	100	----	----	
3	0	0	50	----	100	----	----	
4	44	0	200	----	100	----	----	
5	45	0	300	----	100	----	----	
6	0	0	50	----	100	----	----	
7	37	0	200	----	100	----	----	
8	28	0	300	----	100	----	----	
9	0	0	100	----	100	----	----	
10	47	0	100	----	100	----	----	
11	39	0	200	----	100	----	----	
12	35	0	300	----	100	----	----	
13								
14								

上図画面からの続き

	P	Q	R	S	T	U	V
1	メータ交換前日付	メータ交換前時刻	交換前メータ値	メータ交換後日付	メータ交換後時刻	交換後メータ値	固定費名称1
2			??????????			??????????	新規1
3			??????????			??????????	新規1
4			??????????			??????????	新規1
5			??????????			??????????	新規1
6			??????????			??????????	新規1
7			??????????			??????????	新規1
8			??????????			??????????	新規1
9			??????????			??????????	新規1
10			??????????			??????????	新規1
11			??????????			??????????	新規1
12			??????????			??????????	新規1
13							
14							

上図画面からの続き

	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE
1	固定費1	固定費名称2	固定費2	固定費名称3	固定費3	テナント小計	テナント税金額	テナント請求金額	
2	100	新規2	200	新規3	300	-----	-----	-----	
3	100	新規2	200	新規3	300	-----	-----	-----	
4	100	新規2	200	新規3	300	-----	-----	-----	
5	100	新規2	200	新規3	300	-----	-----	-----	
6	100	新規2	200	新規3	300	1300	65	1365	
7	100		-----		-----	-----	-----	-----	
8	100		-----		-----	-----	-----	-----	
9	100		-----		-----	700	35	735	
10	100	新規2	200		-----	-----	-----	-----	
11	100	新規2	200		-----	-----	-----	-----	
12	100	新規2	200		-----	900	45	945	
13									
14									

●CSVファイル（検針票）の項目について

列記号	項目	データの意味
A	テナント名	設定されているテナント名称
B	メーター種別	各テナントに設定されているメーターの種別
C	メーター単位名称	各メーターに設定されている単位
D	今回検針日付	選択した検針票における検針をおこなった日付（ファイル名称の日付）
E	今回検針時刻	選択した検針票における検針をおこなった時刻（ファイル名称の時刻）
F	今回取得検針値	選択した検針票の検針日時に取得した検針値
G	1回前検針日付	選択した検針票の検針日時に対して、1回前に検針をおこなった日付
H	1回前検針時刻	選択した検針票の検針日時に対して、1回前に検針をおこなった時刻
I	1回前取得検針値	選択した検針票の検針日時に対して、1回前に取得した検針値
J	今回使用量	選択した検針票の検針日時に取得した検針値から、その1回前に取得した検針値を差し引いて得られた使用量 ($J = F - I$)
K	今回料金	「J：今回使用量」に対して設定済みの「単価（単位使用量当たりにかかる料金）」を掛け合わせて得られる『使用料金』に、『基本料金（使用量にかかわらず発生する一律の料金）』を加えた、前回（1回前）検針日時から今回検針日時までに発生した料金額 ※単価の設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
L	前回比（使用量）	「J：今回使用量」を「前回（1回前）の検針票における今回使用量」と比較して得られる『前回に対する今回の比率』 ※『印刷データ設定』において、「印刷データ種類」を“使用量”、「比較」を“前回比”に設定した場合に表示します。 『印刷データ設定』の設定方法は、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
M	前回比（料金）	「K：今回料金」を「前回（1回前）の検針票における今回料金」と比較して得られる『前回に対する今回の比率』 ※『印刷データ設定』において、「印刷データ種類」を“料金”、「比較」を“前回比”に設定した場合に表示します。 『印刷データ設定』の設定方法は、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
N	前年同月比（使用量）	「J：今回使用量」を「前年同月の検針票における今回使用量」と比較して得られる『前年同月に対する今回の比率』 ※『印刷データ設定』において、「印刷データ種類」を“使用量”、「比較」を“前年同月比”に設定した場合に表示します。 『印刷データ設定』の設定方法は、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
O	前年同月比（料金）	「K：今回料金」を「前年同月の検針票における今回料金」と比較して得られる『前年同月に対する今回の比率』 ※『印刷データ設定』において、「印刷データ種類」を“料金”、「比較」を“前年同月比”に設定した場合に表示します。 『印刷データ設定』の設定方法は、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
P	メーター交換前日付	メーター交換をおこなう前に設定する「メーター交換実施前の日付」 ※メーター交換に対する設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
Q	メーター交換前時刻	メーター交換をおこなう前に設定する「メーター交換実施前の時刻」 ※メーター交換に対する設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

列記号	項目	データの意味
R	交換前メーター値	メーター交換をおこなう前に設定する「メーター交換実施前のメーター値」 ※メーター交換に対する設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
S	メーター交換後日付	メーター交換をおこなった後に設定する「メーター交換が完了した日付」 ※メーター交換に対する設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
T	メーター交換後時刻	メーター交換をおこなった後に設定する「メーター交換が完了した時刻」 ※メーター交換に対する設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
U	交換後メーター値	メーター交換をおこなった後に設定する「メーター交換が完了した後のメーター値」 ※メーター交換に対する設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。
V	固定費名称 1	メーターの使用と無関係に発生する料金の名称（その 1）
W	固定費 1	「V：固定費名称 1」に設定されている固定費の金額
X	固定費名称 2	メーターの使用と無関係に発生する料金の名称（その 2）
Y	固定費 2	「X：固定費名称 2」に設定されている固定費の金額
Z	固定費名称 3	メーターの使用と無関係に発生する料金の名称（その 3）
AA	固定費 3	「Z：固定費名称 3」に設定されている固定費の金額
AB	テナント小計	「K：今回料金」、「W：固定費 1」、「Y：固定費 2」、「AA：固定費 3」の合計値 ※固定費は登録されているメーターに対して費用請求の有無が選択されます。また、固定費の請求は対象のメーターを使用しているテナントに対しておこなわれます。固定費請求の対象メーターを複数個使用していても、テナントに対して請求する固定費は 1 つずつです。
AC	テナント税金額	「AB：テナント小計」に対して、設定済みの「税金率」を かけ合わせて得られる税金額 ※単価の設定方法については、取扱説明書（保守点検操作編） をご覧ください。
AD	テナント請求金額	「AB：テナント小計」と「AC：テナント税金額」の合計 値

6-3-3. 履歴転送

検針盤が記録している履歴データ（機器異常履歴、端末伝送器通信異常履歴、動作履歴）をCSVファイル形式で引き出します。

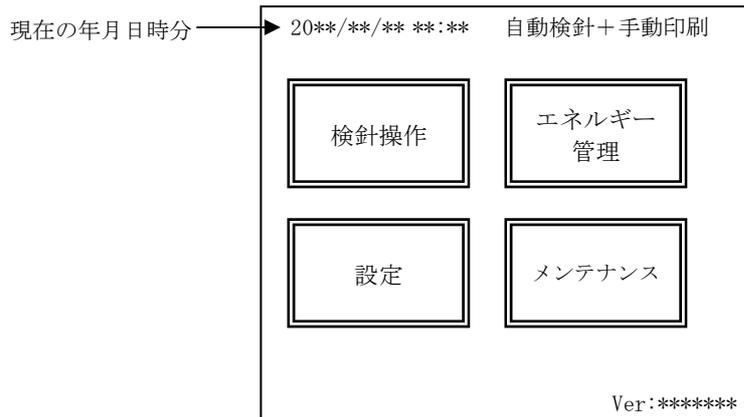
注 記



データ転送中にUSBメモリまたはSDカードを抜かないでください。

操作手順

- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面1>

- ② **エネルギー管理** を押してエネルギー管理メニューを表示させます。



USBメモリデータ転送 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面2>

<画面1>もしくは<画面2>を表示時にUSBメモリもしくはSDカードを検針盤に挿入してください。

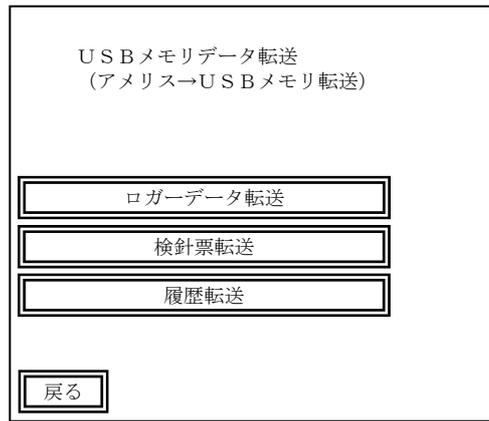


USBメモリの挿入



SDカードの挿入

③ **USBメモリデータ転送** を押すと次の画面になります。

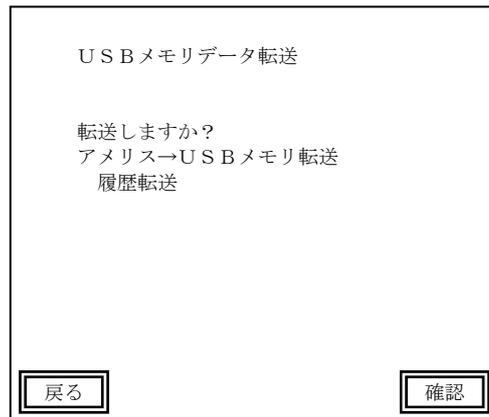


※**SDカードデータ転送** の場合は、「USBメモリ」の部分「SDカード」に読み替えてください。

ロガーデータ転送 . . . P 9 1 参照
検針票転送 P 9 7 参照
履歴転送 P 1 0 5 ④へ

<画面 3 >

④ **履歴転送** を押すと次の画面になります。

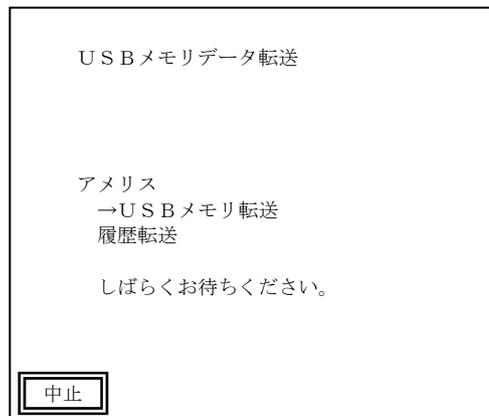


確認 を押します。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

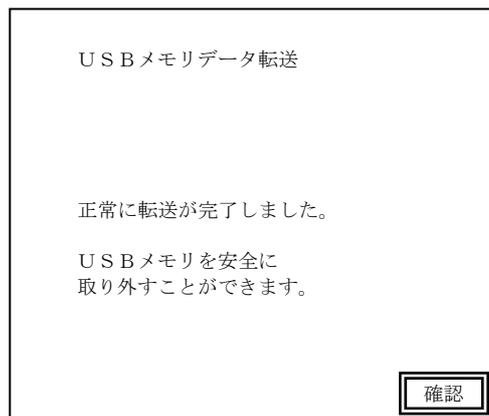
⑤ **確認** を押すと次の画面になります。



本画面表示中にデータ転送を実施し、転送完了後、<画面 6 >を表示します。

中止 を押すとデータの転送を中止して<画面 7 >を表示します。

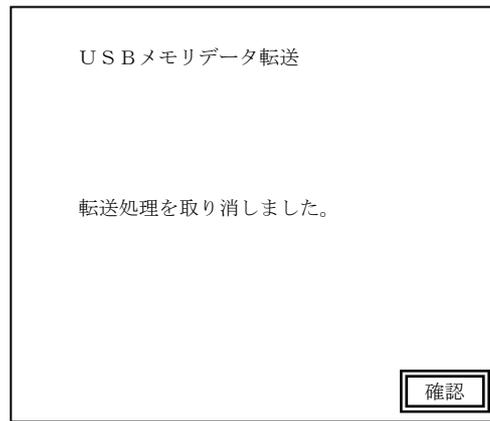
<画面 5 >



確認 を押すと<画面 3 >を表示します。

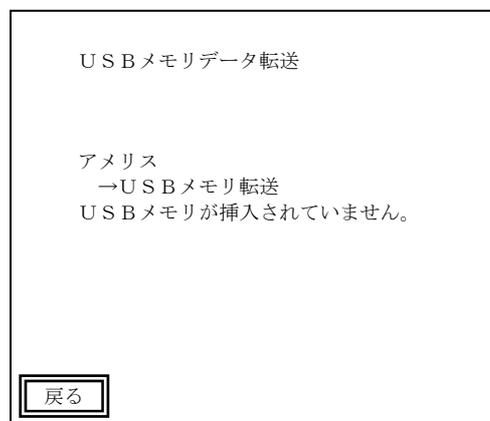
<画面 6 >

⑥ <画面5>で **中止** を押すと次の画面になります。



確認 を押すと<画面3>を表示します。

⑦ <画面2>でUSBメモリを挿入しないで**USBメモリデータ転送** を押した場合は、次の画面になります。



戻る を押すと<画面2>を表示します。

●CSVファイル例（機器異常履歴）

ファイル名：「L_DEVER. csv」

時刻データは、ゼロサプレスが実行されるため、00 時**分は「**」と表示され、01 時**分は「01**1」と表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	異常種別	発生日付	発生時刻	復旧日付	復旧時刻	異常コード	履歴内容				
2	1	20110321	2000	20110321	2000	402	プリンターカバーオープン				
3	1	20110321	2000	20110321	2000	401	プリンター紙なし				
4	6	20110321	1956	20110321	2000	413	停電				
5	6	20110321	1947	20110321	1947	413	停電				
6	6	20110321	1915	20110321	1919	413	停電				
7	1	20110321	131	20110321	132	402	プリンターカバーオープン				
8	1	20110321	131	20110321	132	401	プリンター紙なし				
9	2	20110321	56	-----	----	419	バッテリー終止電圧				
10	6	20110321	56	20110321	56	413	停電				
11	0	20110317	49	-----	----	532	8ビットアラーム:0-01-01				

最大2000件の機器異常履歴が保存されます

●CSVファイル例（端末伝送器通信異常履歴）

ファイル名：「L_TERMER. csv」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	履歴番号	発生日付	発生時刻	復旧日付	復旧時刻	接続チャンネル	接続アドレス	異常コード	履歴内容	
2	0	20110321	100	20110321	100	1	0	1	端末通信異常1-00	
3	0	20110321	100	20110321	100	2	0	1	端末通信異常2-00	
4	0	20110321	100	20110321	100	3	0	1	端末通信異常3-00	
5	0	20110321	100	20110321	100	1	0	1	端末通信異常1-00	
6	0	20110321	100	20110321	100	2	0	1	端末通信異常2-00	
7	0	20110321	100	20110321	100	3	0	1	端末通信異常3-00	
8	0	20110321	100	20110321	100	1	0	1	端末通信異常1-00	
9	0	20110321	100	20110321	100	2	0	1	端末通信異常2-00	
10	0	20110321	100	20110321	100	3	0	1	端末通信異常3-00	
11	0	20110321	100	20110321	100	1	0	1	端末通信異常1-00	

最大2500件の端末伝送器通信異常履歴が保存されます。

●CSVファイル例（動作履歴）

ファイル名：「L_DOUSA. csv」

	A	B	C	D	E	F
1	履歴番号	発生/復旧日付	発生/復旧時刻	履歴内容		
2	0	20110322	38	転送処理開始		
3	0	20110322	37	転送確認画面		
4	0	20110322	37	履歴転送ボタン		
5	0	20110322	37	USBメモリデータ転送ボタン		
6	0	20110322	37	USBメモリ差し込み		
7	0	20110322	37	エネルギー管理ボタン		
8	0	20110322	37	待機画面		
9	0	20110322	36	接続機器設定ボタン		
10	0	20110322	30	検針終了(ロガー)		
11	0	20110322	30	検針開始(ロガー)		

最大2000件の動作履歴が保存されます。

6-4. 設定メニュー

検針盤の設定を変更することができます。

ここでは、

- 時刻設定
- 検針方法設定
- 固定費設定
- テナント情報設定
- 単価設定
- 画面調整設定
- 履歴
- ロガー設定
- ネットワーク設定

がおこなえます。

6-4-1. 時刻設定

検針盤内の時刻を設定します。ここで設定する時刻により、検針をおこなったり、履歴の発生時刻などに使用されます。

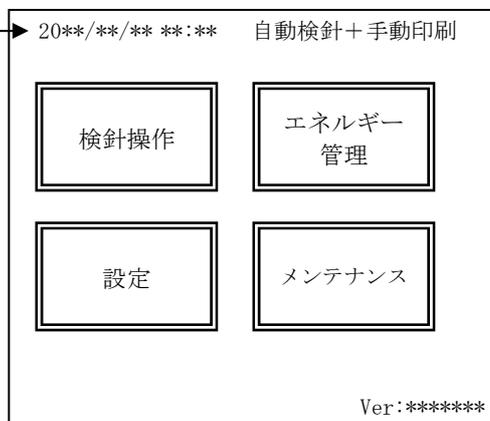
注 記

時刻を変更する際は、自動検針の「次回メーター値取得日」やロガー検針の「次回検針の日時」に注意して変更をおこなってください。

操作手順

- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）

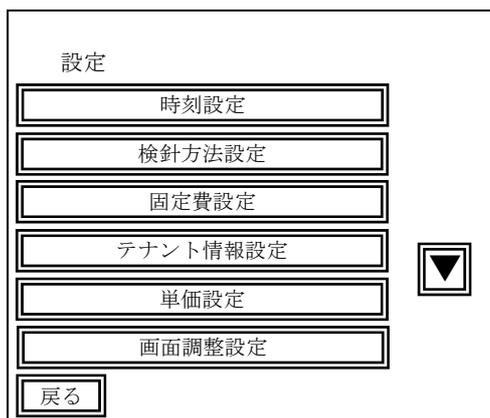
現在の年月日時分



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面1>

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。



時刻設定 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面2>

③ **時刻設定** を押すと次の画面になります。

時刻設定
●年 ○月 ○日
○時 ○分

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

戻る 印刷 設定

右向き矢印、左向き矢印

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して時刻を設定します。数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと<画面4>を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている時刻を印刷することができます。

・・・P110⑦へ

<画面3>

④ **設定** を押すと次の画面になります。

時刻を変更しますか？

旧 **年**月**日**時**分
新 **年**月**日**時**分

次回メーター値取得日の
設定変更を行って下さい。

中止 設定

設定 を押すと表示の時刻に設定を変更し、<画面5>を表示します。

中止 を押すと時刻設定を中止し<画面2>に戻ります。

<画面4>

⑤ **設定** を押すと次の画面になります。

変更日時
印刷しますか？

しない 実行

実行 を押すと<画面6>を表示します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面2>に戻ります。

<画面5>

⑥ **実行** を押すと次の画面になります。

変更日時
印刷中

中止

時刻設定の情報(変更日時印刷)を印刷した後、<画面2>に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面2>に戻ります。

<画面6>

⑦ <画面3>にて印刷を押すと次の画面になります。

時刻設定
印刷しますか？

しない
実行

実行を押すと<画面8>を表示します。

しないを押すと印刷を行わずに<画面2>に戻ります。

<画面7>

⑧ 実行を押すと次の画面になります。

時刻設定
印刷中

中止

現在設定されている時刻を印刷した後、<画面2>に戻ります。（時刻設定印刷）

中止を押すと印刷を中止し、<画面2>に戻ります。

<画面8>

<印刷フォーマット>

変更日時印刷

```

*****
時刻設定
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
*****
  旧 **年**月**日**時**分 ← 設定前の時刻
  新 **年**月**日**時**分 ← 設定後の時刻
*****
    
```

時刻設定印刷

```

*****
設定情報印刷
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
時刻設定
  **年**月**日**時**分 ← 現在設定されている時刻
*****
    
```

6-4-2. 検針方法設定

検針盤がおこなう検針には「自動検針」と「手動検針」があります。

- ・自動検針・・・検針盤に設定した「検針日時」及び「検針周期」に合わせて、検針盤が自動的に検針をおこないます。
- ・手動検針・・・検針盤の画面を操作することにより、任意のタイミングで検針をおこないます。

ここでは、検針盤が次回おこなう検針（検針票作成）の日時、及びその後の検針周期の設定を行います。

次回おこなう検針日時の設定を「00月」と設定すると手動検針モードに設定されます。逆に「00月」から正規の月を入力すると、自動検針モードに設定されます。

注 記

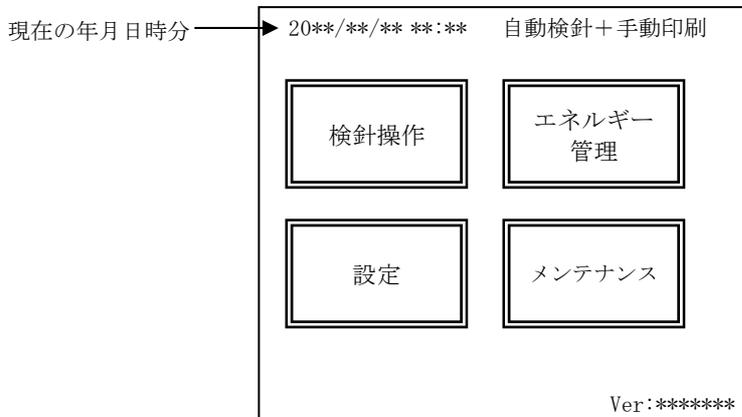
検針方法設定は、検針盤に登録されているメーター種別ごとに検針方法を設定できます。（ただし、自動検針と手動検針の併用はできません）

「手動検針モード」→「自動検針モード」に変更する際に設定した自動検針の設定が一旦全メーターに反映されます。自動検針のタイミングをメーター種別ごとに変えたい場合は、再度メーターを選択して個別に検針タイミングを設定してください。

あるメーターに対して「自動検針モード」→「手動検針モード」の変更をおこなった場合、検針盤に登録されている全メーターに対して「手動検針モード」に切り替えられます。

操作手順

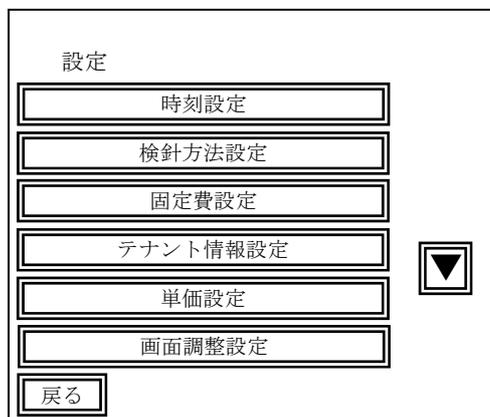
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面1>

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。



検針方法設定 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面2>

③ **検針方法設定** を押すと次の画面になります。

▲、▼ボタンを押して設定したいメーター種別を選択します。

****年**月**日**時 . . . P 1 1 2 ④へ
 検針周期**毎 P 1 1 2 ⑤へ

印刷 を押すと現在設定されている「検針方法設定」を印刷します。

<画面 8> を表示します。

戻る を押すと<画面 2>に戻ります。

<画面 3>

④ <画面 3>にて ****年**月**日**時 を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して次回メーター値取得日時を設定します。数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと<画面 6>を表示します。

『月』の入力を00月と設定すると、手動検針モードに設定されます。逆に00月設定から月を入力すると、自動検針モードに設定されます。

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 4>

⑤ <画面 3>にて **検針周期**毎** を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して検針周期を設定します。

周期単位を「月」、「週間」、「日」、「時間」から選択します。選択されている周期単位が反転して表示されます。

数値を入力もしくは周期単位を変更すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと<画面 6>を表示します。

戻る を押すと<画面 3>に戻ります。

<画面 5>

⑥ <画面 4>または<画面 5>にて **設定** を押すと次の画面になります。

設定 P 1 1 3 ⑦へ

印刷 P 1 1 3 ⑧へ

取消 P 1 1 3 ⑩へ

****年**月**日**時 . . . P 1 1 2 ④へ

検針周期**毎 P 1 1 2 ⑤へ

自動検針モード→手動検針モードの変更があった場合の **設定** . . . P 1 1 4 ⑪へ

手動検針モード→自動検針モードの変更があった場合の **設定** . . . P 1 1 4 ⑫へ

<画面 6>

- ⑦ <画面 6 >にて **設定** を押すと次の画面になります。

検針方法設定

設定が変更されましたが、
更新しますか？

中止 **設定**

設定 を押すと設定を更新し、<画面 8 >を表示します。

中止 を押すと検針方法設定を中止し
<画面 6 >に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面 7 >

- ⑧ <画面 3 >、<画面 6 >の **印刷**
<画面 7 >、<画面 1 1 >、<画面 1 2 >の **設定** を押すと次の画面になります。

検針方法設定
印刷しますか？

しない **実行**

実行 を押すと<画面 9 >を表示します。
<画面 3、画面 6 >から遷移してきた場合
現在設定されている検針方法設定を印刷
します。
<画面 7、画面 1 1、画面 1 2 >から遷移
してきた場合
変更した検針方法設定 (変更前、変更後)
を印刷します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面 2 >
に戻ります。
<画面 8 >

- ⑨ **実行** を押すと次の画面になります。

検針方法設定
印刷中

中止

検針方法設定を印刷した後、<画面 2 >に
戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 2 >に
戻ります。

<画面 9 >

- ⑩ <画面 6 >にて **取消** を押すと次の画面になります。

設定変更破棄確認

現在、本頁で行った設定内容を
破棄して前画面に戻ります
よろしいですか？

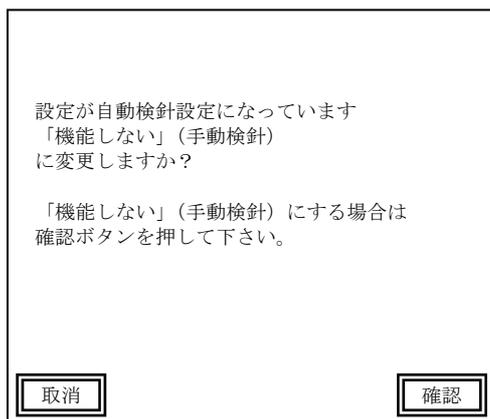
中止 **確認**

確認 を押すと、今回設定しようとして入力した
設定値を破棄して<画面 2 >に戻ります。

中止 を押すと、設定変更破棄を中止して
<画面 6 >に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面 1 0 >

- ⑪ 自動検針モード→手動検針モードの変更があり、
 <画面6>で **設定** を押すと次の画面になります。

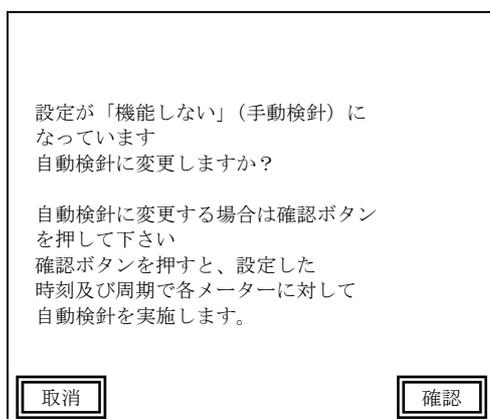


確認を押すと、手動検針モードに設定して
 <画面8>を表示します。
 ※検針盤に設定されている全メーターに対
 して『自動検針モード→手動検針モード』
 の変更を行います。

中止を押すと、設定変更を中止して
 <画面6>に戻ります。
 (入力した値は保持します)

<画面11>

- ⑫ 手動検針モード→自動検針モードの変更があり、
 <画面6>で **設定** を押すと次の画面になります。



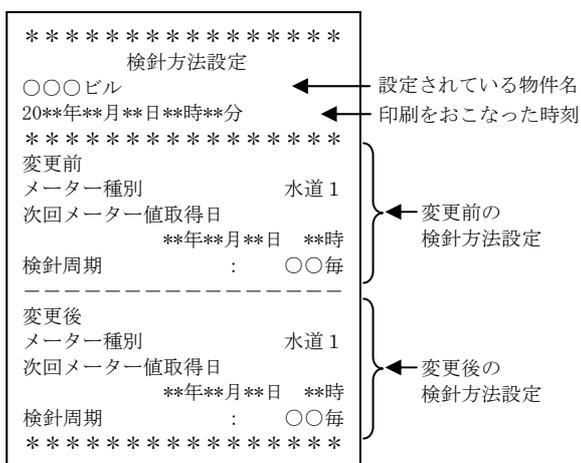
確認を押すと、自動検針モードに設定して
 <画面8>を表示します。
 ※検針盤に設定されている全メーターに対
 して『手動検針モード→自動検針モード』
 の変更を行います。
 手動→自動に変更する際に設定した自動
 検針の設定が全メーターに反映されます。

中止を押すと、設定変更を中止して
 <画面6>に戻ります。
 (入力した値は保持します)

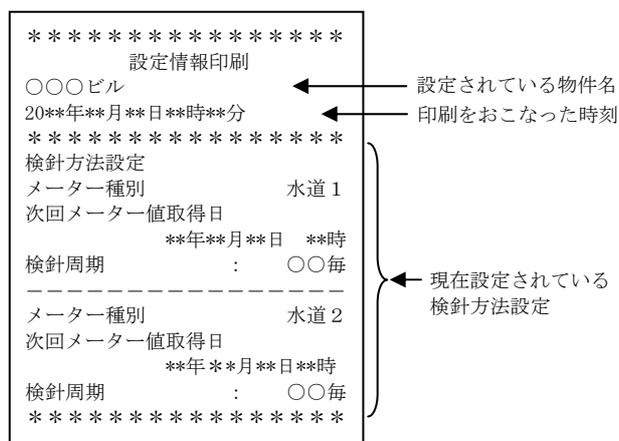
<画面12>

<印刷フォーマット>

設定変更時の印刷



設定内容の印刷



6-4-3. 固定費設定

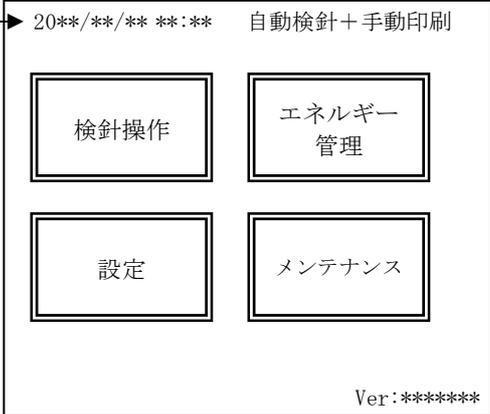
あらかじめ設定されている固定費（メーターの検針値に依存しない雑費用で、料金請求に使用する）の“金額設定”を行います。固定費の項目は最大3項目設定されています。また、固定費を請求するメーター種別の選択をおこないます。

※印刷データ種類が『料金』に設定されている時のみ表示される項目です。
印刷データ種類の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

操作手順

- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）

現在の年月日時分 → 20**/**/** **:** 自動検針+手動印刷

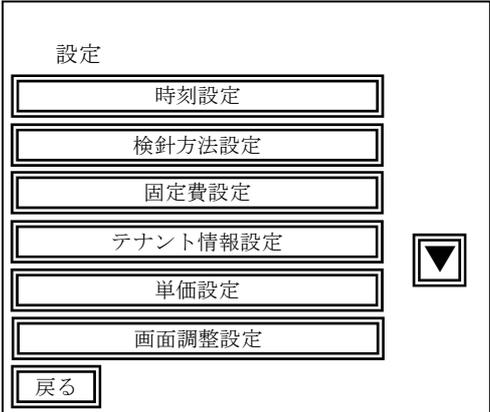


基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

Ver:*****

<画面1>

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。



固定費設定 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

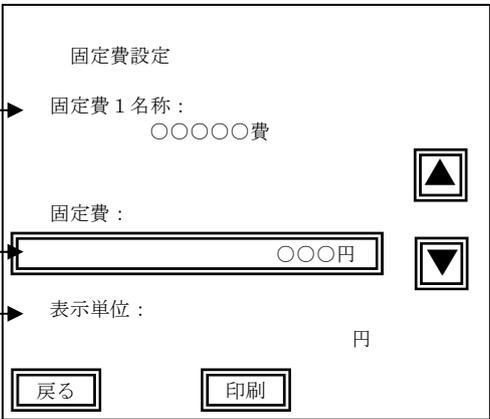
<画面2>

- ③ **固定費設定** を押すと次の画面になります。

現在登録されている固定費名称 → 固定費1名称: ○○○○費

現在設定されている固定費 → 固定費: ○○○円

現在登録されている固定費表示単位 → 表示単位: 円



▲、▼ボタンを押して設定したい固定費を選択します。
固定費1表示中に▲、固定費3表示中に▼を押すと<画面4>を表示します。

○○○円 を押すと<画面5>を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「固定費設定」を印刷します。
<画面8>を表示します。
戻る を押すと<画面2>に戻ります。

<画面3>

固定費請求メーター種別選択

水道 1
水道 2
水道 3
電灯 1
ガス 1

▲ ▼

戻る 印刷

固定費を請求するメーターを選択します。選択したメーターのボタンは反転します。1画面で表示できない数のメーターが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないメーターを表示させます。

先頭のメーター表示画面で▲を押すと固定費 3 の設定画面、末尾のメーター表示画面で▼を押すと固定費 1 の設定画面を表示します。

<画面 3 > を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「固定費設定」を印刷します。

<画面 9 > を表示します。

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 4 >

④ <画面 3 >にて〇〇〇円 を押すと次の画面になります。

固定費
変更前： ○〇〇 円
変更後： ■ 円

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

削除 設定

戻る

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して固定費を設定します。数値を入力すると 設定 ボタンが表示されます。

設定 を押すと<画面 6 >を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 5 >

⑤ 設定 を押すと次の画面になります。

固定費設定

現在登録されている固定費名称 → 固定費 1 名称： ○○○○費

変更した固定費 → 固定費： ○〇〇円

現在登録されている固定費表示単位 → 表示単位： 円

取消 印刷 設定

設定 を押すと<画面 7 >を表示します。

取消 を押すと<画面 10 >を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「固定費設定」を印刷します。

<画面 8 > を表示します。

<画面 6 >

- ⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

固定費設定

設定が変更されましたが、
更新しますか？

中止 設定

設定 を押すと設定を更新し、<画面 8 >を表示します。

中止 を押すと固定費設定を中止し、<画面 6 >に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面 7 >

- ⑦ <画面 3 >、<画面 4 >、<画面 6 >の **印刷**
<画面 7 >の **設定** を押すと次の画面になります。

固定費設定
印刷しますか？

しない 実行

実行 を押すと<画面 9 >を表示します。
<画面 3、画面 4、画面 6 >から遷移してきた場合

現在設定されている固定費設定を印刷します。

<画面 7 >から遷移してきた場合

変更した固定費設定 (変更前、変更後) を印刷します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面 2 >に戻ります。

<画面 8 >

- ⑧ **実行** を押すと次の画面になります。

固定費設定
印刷中

中止

固定費設定を印刷した後、<画面 2 >に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 2 >に戻ります。

<画面 9 >

⑨ <画面6>にて **取消** を押すと次の画面になります。

設定変更破棄確認

現在、本頁で行った設定内容を
破棄して前画面に戻ります

よろしいですか？

中止
確認

確認を押すと、今回設定しようとして入力した設定値を破棄して<画面2>に戻ります。

中止を押すと、設定変更破棄を中止して<画面6>に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面10>

<印刷フォーマット>

設定変更時の印刷

メーター値票
○○○ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻

変更前
登録番号 01
固定費名称: ○○○○○
固定費 ○○円
表示単位 円

変更後
登録番号 01
固定費名称: ●●●●●
固定費 ●●円
表示単位 円

変更前
メーター種別 水道1
固定費請求: あり

変更後
メーター種別 水道1
固定費請求: なし

設定内容の印刷

設定情報印刷
○○○ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻

固定費設定
登録番号 01
固定費名称: ○○○○○
固定費 ○○円
表示単位 円

登録番号 02
固定費名称: △△△△△
固定費 △△円
表示単位 円

登録番号 03
固定費名称: □□□□□
固定費 □□円
表示単位 円

固定費請求メーター種別
水道1
水道2
ガス1

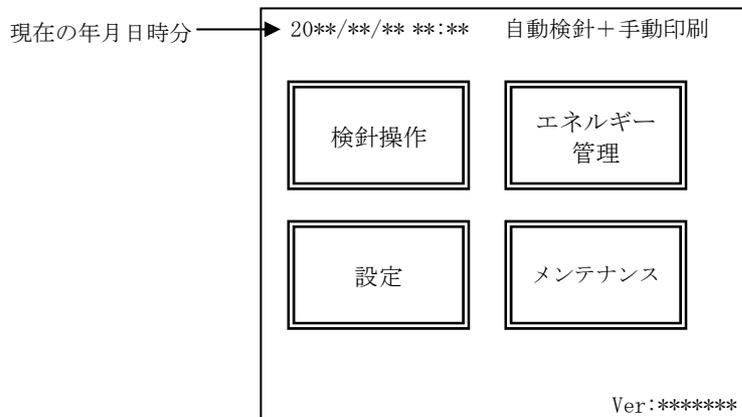
← 現在設定されている
検針方法設定

6-4-4. テナント情報設定

あらかじめ設定されているテナント情報に対して、テナント名称の修正と、設定内容の確認がおこなえます。

操作手順

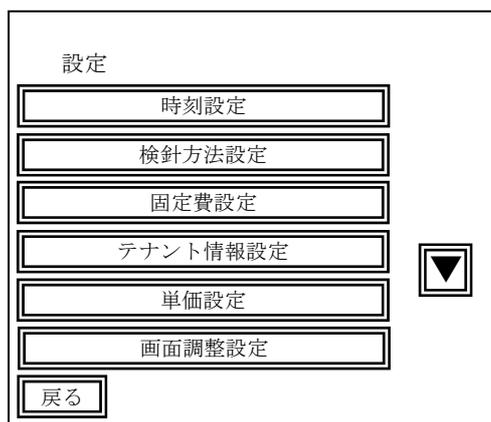
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。

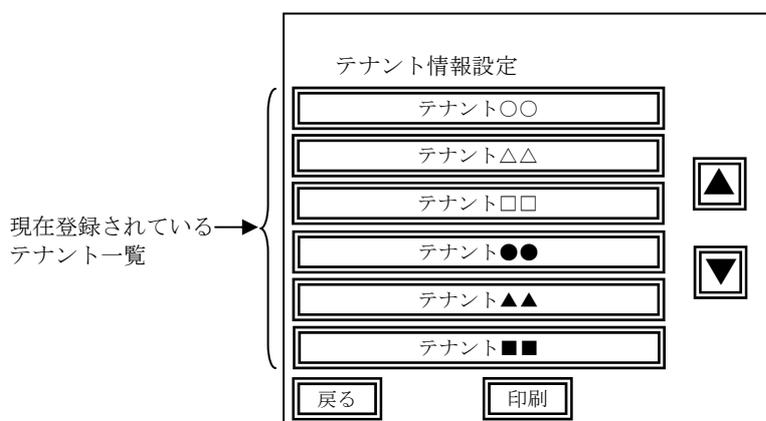


テナント情報設定 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面 2 >

- ③ **テナント情報設定** を押すと次の画面になります。



1画面で表示できない数のテナントが設定してある場合は▲、▼ボタンで表示されていないテナントを表示させます。

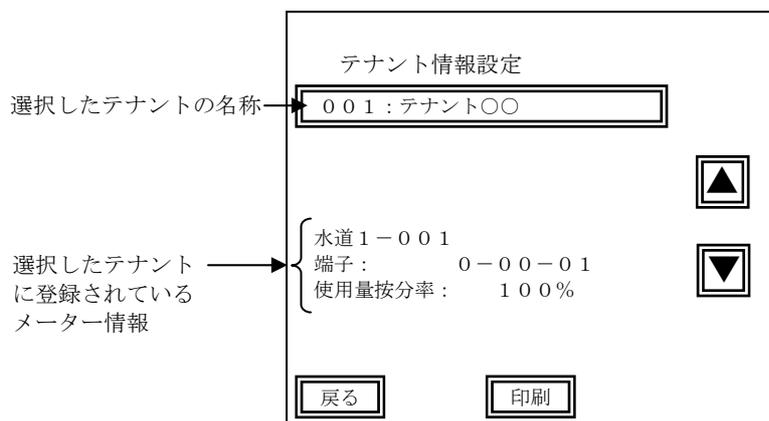
設定内容を確認したいテナントを選択します。<画面 4 >を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている全テナントの「テナント情報設定」を印刷します。<画面 10 >を表示します。

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **テナント名称** を押すと次の画面になります。



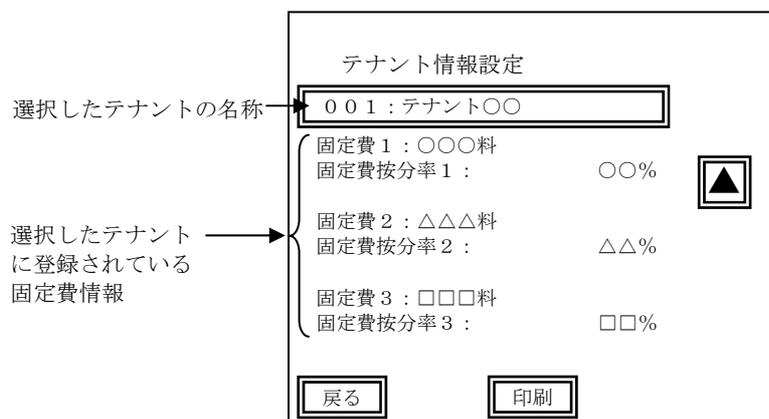
選択したテナントの設定情報を表示します。
▲、▼ボタンでテナントに設定されている
メーター情報を表示します。

テナントに設定されている最後のメーター
の情報を表示している画面で▼を押すと
<画面5>を表示します。

テナント名称 のボタンを押すとテナント
名称が修正できます。
<画面6-1>を表示します。

印刷 を押すと選択したテナントに現在設
定されている「テナント情報設定」を印刷
します。
<画面10>を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。
<画面4>



テナント名称 のボタンを押すとテナント
名称が修正できます。
<画面6-1>を表示します。

印刷 を押すと選択したテナントに現在設
定されている「テナント情報設定」を印刷
します。
<画面10>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。
<画面5>

⑤ **テナント名称** を押すと次の画面になります。(かな入力)



カーソルの位置へ文字を入力してテナント
名称を設定します。
テナント名称を変更すると **設定** ボタンが
表示されます。
設定 を押すと<画面7>を表示します。

あ行 を押すと“あ行”の文字を入力します。
(あ→い→う→え→お→あ→い→う→え
→お→あ)

▶、◀ を押すとカーソルが動きます。

文字 を押すと入力する文字の種類を変更
します。(かな→カナ→英字→数字→かな)

漢字 は“かな”1文字入力後に押すと変換
候補の漢字一覧<画面6-2>を表示します。

削除 を押すと入力した文字を削除します。

戻る を押すと<画面5>に戻ります。
<画面6-1>

“かな” 1文字「例：あ」入力後に **漢字** を押すと次の画面になります。（漢字入力）

テナント名称：
あナント〇〇

亜	啞	娃	阿	▶
哀	愛	挨	始	◀
逢	葵	茜	穉	
愚	握	渥	旭	
葦	芦	鱒	梓	
戻る				設定

カーソルの位置へ文字を入力してテナント名称を設定します。
テナント名称を変更すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと＜画面 7＞を表示します。

▶、◀ を押すと次の変換候補の漢字一覧を表示します。
（カーソルは動きません）

戻る を押すと＜画面 5＞に戻ります。

＜画面 6-2＞

＜画面 6-1＞から“カナ”を選択すると次の画面になります。（カナ入力）

テナント名称：
テナント〇〇

ア行	カ行	サ行	—	▶
タ行	ナ行	ハ行	SP	◀
マ行	ヤ行	ラ行	・	文字
ワ行			—	
			ゝ	削除
戻る				設定

カーソルの位置へ文字を入力してテナント名称を設定します。
テナント名称を変更すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと＜画面 7＞を表示します。

ア行 を押すとア行の文字を入力します。
（ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ→ア）

▶、◀ を押すとカーソルが動きます。

削除 を押すと入力した文字を削除します。

戻る を押すと＜画面 5＞に戻ります。

＜画面 6-3＞

＜画面 6-1＞から“英字”を選択すると次の画面になります。（英字入力）

テナント名称：
テナント〇〇

AB	CD	EF	—	▶
GH	IJ	KL	SP	◀
MN	OP	QR	・	文字
ST	UV	WX		
YZ				削除
戻る				設定

カーソルの位置へ文字を入力してテナント名称を設定します。
テナント名称を変更すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと＜画面 7＞を表示します。

AB を押すとAまたはBの文字を入力します。
（A→B→a→b→A）

▶、◀ を押すとカーソルが動きます。

削除 を押すと入力した文字を削除します。

戻る を押すと＜画面 5＞に戻ります。

＜画面 6-4＞

<画面 6-1>から“数字”を選択すると次の画面になります。（数字入力）

カーソルの位置へ文字を入力してテナント名称を設定します。
テナント名称を変更すると **設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面 7>を表示します。

数字キーを押すと選んだ数字を入力します。

▶、**◀** を押すとカーソルが動きます。

削除 を押すと入力した文字を削除します。
戻る を押すと<画面 5>に戻ります。

<画面 6-5>

⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

設定 を押すと<画面 8>を表示します。

印刷 を押すと選択したテナントに現在設定されている「テナント情報設定」を印刷します。
<画面 10>を表示します。

取消 を押すと先の入力を無効にして<画面 3>に戻ります。

<画面 7>

⑦ **設定** を押すと次の画面になります。

設定 を押すと<画面 9>を表示します。

取消 を押すと<画面 12>を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている全テナントの「テナント情報設定」を印刷します。
<画面 10>を表示します。

<画面 8>

⑧ **設定** を押すと次の画面になります。

設定 を押すと設定を更新し、<画面 10>を表示します。

中止 を押すとテナント情報設定を中止し、<画面 3>に戻ります。

<画面 9>

- ⑨ <画面3>、<画面4>、<画面5>、<画面7>、<画面8>の **印刷**
<画面9>の **設定** を押すと次の画面になります。



実行 を押すと<画面11>を表示します。
<画面3>、<画面4>、<画面5>、<画面7>、<画面8>
から遷移してきた場合
現在設定されている固定費設定を印刷し
ます。
<画面9>から遷移してきた場合
変更した固定費設定（変更前、変更後）
を印刷します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面2>
に戻ります。

<画面10>

- ⑩ **実行** を押すと次の画面になります。

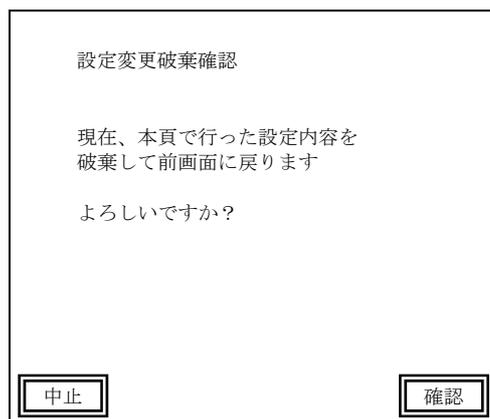


テナント設定を印刷した後、<画面2>に
戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面2>に
戻ります。

<画面11>

- ⑪ <画面8>にて **取消** を押すと次の画面になります。



確認 を押すと、今回設定しようとして入力した
設定値を破棄して<画面2>に戻ります。

中止 を押すと、設定変更破棄を中止して
<画面8>に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面12>

<印刷フォーマット>

設定変更時の印刷

```

*****
メーター値票
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
変更前
登録番号      :      001
テナント名称
      : テナント〇〇

メーター種別:   水道1-001
端子番号     :   0-00-01
使用量按分率 :   〇〇%

メーター種別:   電灯1-001
端子番号     :   0-00-02
使用量按分率 :   〇〇%

固定費1 :   〇〇〇〇〇
固定費1按分率:   〇〇%
固定費3 :   □□□□□
固定費3按分率:   □□%
-----
変更後
登録番号      :      001
テナント名称
      : テナント**

メーター種別:   水道1-001
端子番号     :   0-00-01
使用量按分率 :   〇〇%

メーター種別:   電灯1-001
端子番号     :   0-00-02
使用量按分率 :   〇〇%

固定費1 :   〇〇〇〇〇
固定費1按分率:   〇〇%
固定費3 :   □□□□□
固定費3按分率:   □□%
*****
    
```

← 変更前の
テナント情報設定

← 変更後の
テナント情報設定

設定内容の印刷

```

*****
テナント情報設定
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
テナント情報設定
登録番号      :      001
テナント名称
      : テナント〇〇
メーター種別:   水道1-001
端子番号     :   0-00-01
使用量按分率 :   〇〇%

メーター種別:   電灯1-001
端子番号     :   0-00-02
使用量按分率 :   〇〇%

固定費1 :   〇〇〇〇〇
固定費1按分率:   〇〇%
固定費3 :   □□□□□
固定費3按分率:   □□%
-----
登録番号      :      002
テナント名称
      : テナント△△
      :
      :
      :
    
```

← テナント登録の順番
及びテナント名称

← テナントに登録されて
いるメーターの情報

← テナントに登録されて
いる固定費の情報

6-4-5. 単価設定

ここでは、消費税率 (%) とメーター種別ごとの単価情報を設定します。

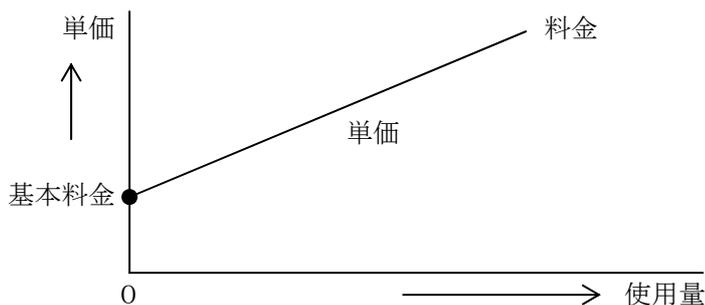
※印刷データ種類が『料金』に設定されている時のみ表示される項目です。
印刷データ種類の設定については、取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

単価設定は、料金算出に関わる重要な設定ですので、正確に設定してください。
水道局や電力会社などの単価表や計算方法を参考に、各条件を十分考慮したうえで単価を決めてください。

単価を設定するには、以下の2つの方法があります。

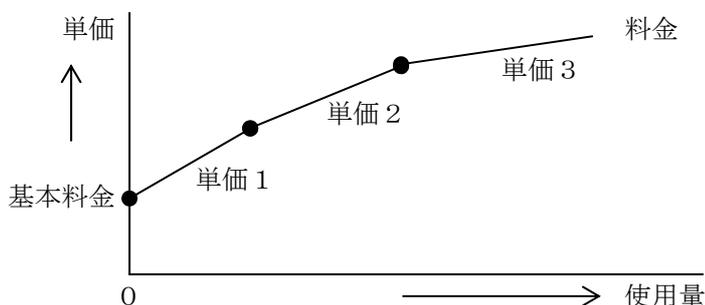
○簡易設定

基本料金と、料金増加料一定の単価体系を設定できます。



○詳細設定

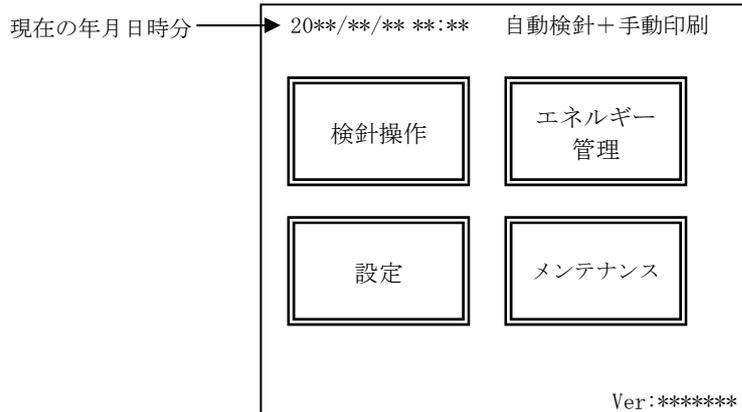
基本料金と、ある使用量ごとに料金の増加量が変わる単価体系を設定できます。



簡易設定と詳細設定は **簡易** と **詳細** で切り替えます。設定方法を切り替えても、切り替える前に設定した内容は保持されます。但し、簡易設定の『単価』と詳細設定の『単価 1』は連動します。

操作手順

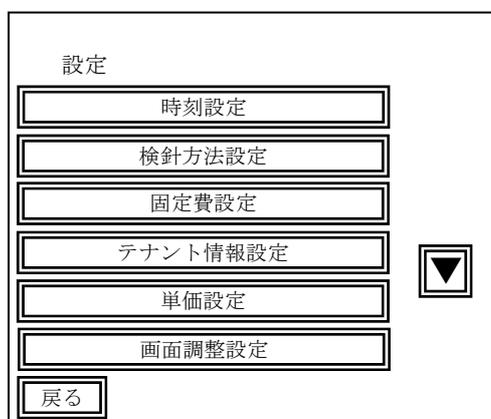
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。

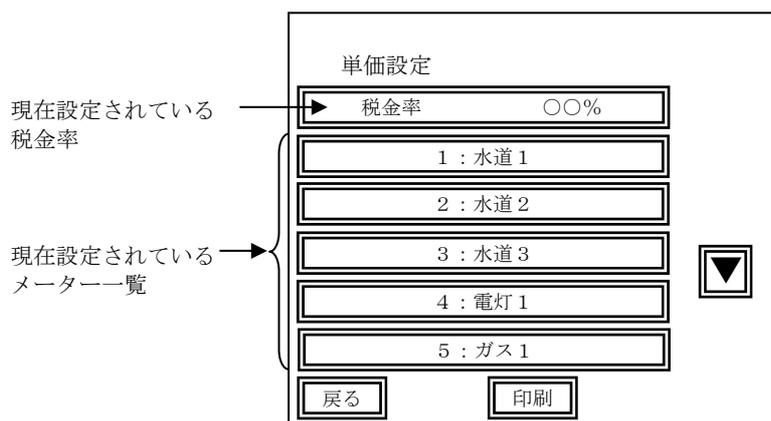


単価設定 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面 2 >

- ③ **単価設定** を押すと次の画面になります。



税金率 00% のボタンを押すと税金率の設定ができます。

<画面 4 >を表示します。 P 1 2 7 ④へ

○:メーター種別 のボタンを押すと選択したメーターに対する基本料金、単価が設定できます。

<画面 9 >を表示します。 P 1 2 8 ⑨へ
▼、**▲**ボタンで設定したいメーター種別を選択します。

印刷 を押すと現在設定されている「単価設定」を印刷します。

<画面 7 >を表示します。 P 1 2 8 ⑦へ

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ <画面3>にて **税金率 ○○%** を押すと次の画面になります。

消費税
変更前：
変更後：

○○ %
■ %

7 8 9
4 5 6
1 2 3
0

戻る 削除 設定

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して税金率を設定します。
数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと <画面5> を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

戻る を押すと <画面3> に戻ります。

<画面4>

⑤ **設定** を押すと次の画面になります。

単価設定

設定変更した税金率 → 税金率 △△%

現在設定されているメーター一覧 → 1:水道1
2:水道2
3:水道3
4:電灯1
5:ガス1

取消 印刷 設定

設定 を押すと <画面6> を表示します。

取消 を押すと <画面18> を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「単価設定」を印刷します。
<画面7> を表示します。

<画面5>

⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

単価設定

設定が変更されましたが、
更新しますか？

中止 設定

設定 を押すと設定を更新し、<画面7> を表示します。

中止 を押すと単価設定を中止し、
<画面5> に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面6>

- ⑦ <画面3>、<画面5>にて **印刷**
<画面6>にて **設定** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと<画面8>を表示します。
<画面3、画面5>から遷移してきた場合
現在設定されている単価設定を印刷します。
<画面6>から遷移してきた場合
変更した単価設定（変更前、変更後）を
印刷します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面2>
に戻ります。

<画面7>

- ⑧ **実行** を押すと次の画面になります。

単価設定を印刷した後、<画面2>に戻り
ます。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面2>に
戻ります。

<画面8>

- ⑨ <画面3>にて **○：メーター種別** を押すと次の画面になります。

基本料金 ○○円 のボタンを押すと基本
料金の設定ができます。
<画面10>を表示します。P129⑩へ

○○.○○円/単位 のボタンを押すと単位
あたりの料金が設定できます。
<画面12>を表示します。P129⑫へ

詳細 を押すと、単価について使用量に応じ
て3段階に分けて設定できます。
<画面13>を表示します。P129⑬へ

入力すると**設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面9>

⑩ <画面9>にて **基本料金 ○○円** を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して基本料金を設定します。数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。**設定** を押すと<画面11>を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

戻る を押すと<画面9>に戻ります。

<画面10>

⑪ **設定** を押すと次の画面になります。

設定変更のため入力した水道1に対する基本料金

設定変更のため入力した水道1に対する単価

入力すると **設定** ボタンが表示されます。**設定** を押すと<画面5>を表示します。

取消 を押すと入力した値をキャンセルし<画面5>を表示します。

<画面11>

⑫ <画面9>にて **○○. ○○円/単位** を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して基本料金を設定します。数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。**設定** を押すと<画面11>を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

戻る を押すと<画面9>に戻ります。

<画面12>

⑬ <画面9>にて **詳細** を押すと次の画面になります。

現在設定されている水道1に対する基本料金

▼ ボタンを押すと単価を使用量に応じて3段階に分けた画面を表示します。<画面14>を表示します。

簡易 を押すと、単価について詳細設定をおこなわないモードに戻ります。<画面9>を表示します。

入力すると **設定** ボタンが表示されます。**設定** を押すと<画面5>を表示します。

<画面13>

⑭ ▼ ボタンを押すと次の画面になります。

単価1を適用する
使用量範囲

単価1に使用する
金額

0単位 のボタンを押すと
単価1を適用する範囲の開始値の設定が
できます。

<画面15>を表示します。P130⑮へ

99999997単位 のボタンを押すと
単価1を適用する範囲の終了値の設定が
できます。

<画面16>を表示します。P130⑯へ

00.00円/単位 のボタンを押すと
単価1の金額の設定ができます。

<画面17>を表示します。P131⑰へ

▼、▲ボタンにより、単価2、単価3につ
いても同様に設定できます。

簡易 を押すと、単価について詳細設定を
おこなわないモードに戻ります。
<画面9>を表示します。

設定 を押すと<画面5>を表示します。

取消 を押すと入力した値をキャンセルし
<画面5>を表示します。

<画面14>

⑮ <画面14>にて 0単位 を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して
単価1を適用する開始値を設定します。
数値を入力すると 設定 ボタンが表示され
ます。

設定 を押すと<画面14>を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

<画面15>

⑯ <画面14>にて 99999997単位 を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して
単価1を適用する終了値を設定します。
数値を入力すると 設定 ボタンが表示され
ます。

設定 を押すと<画面14>を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

<画面16>

⑰ <画面 1 4>にて 〇〇. 〇〇円/単位 のボタンを押すと次の画面になります。

単価 1 単価
 変更前： 〇〇. 〇〇円/単位
 変更後： ■円/単位

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0	.	

戻る
削除
設定

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して単価 1 を適用する終了値を設定します。数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。**設定** を押すと<画面 1 4>を表示します。

削除 を押すと入力した数値を削除します。

戻る を押すと<画面 1 4>に戻ります。

<画面 1 7>

⑱ <画面 5>にて **取消** を押すと次の画面になります。

設定変更破棄確認

現在、本頁で行った設定内容を破棄して前画面に戻ります

よろしいですか？

中止
確認

確認 を押すと、今回設定しようとして入力した設定値を破棄して<画面 2>に戻ります。

中止 を押すと、設定変更破棄を中止して<画面 5>に戻ります。
(入力した値はします)

<画面 1 8>

<印刷フォーマット>

設定変更時の印刷

例 1

```

*****
          単価設定
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
変更前
税金率          : 3% ← 変更前の税金率
-----
変更後
税金率          : 5% ← 変更後の税金率
*****

```

例 2

```

          :
変更前
メーター種別      水道 2
単価設定          : 簡易
基本料金          : 〇〇円
単価              : 〇.〇〇円
-----
変更後
メーター種別      水道 2
単価設定          : 詳細
基本料金          : △△円
範囲 1            : 〇〇〇単位
                  ~ ●●●単位
単価 1            : 〇.〇〇円
範囲 2            : △△△単位
                  ~ ▲▲▲単位
単価 2            : △.△△円
範囲 3            : □□□単位~
単価 3            : □.□□円
*****

```

変更のあった部分のみを印刷します

設定内容の印刷

```

*****
          設定情報印刷
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
単価設定
税金率          : 〇〇% ← 現在設定されている税金率
-----
メーター種別      水道 1
単価設定          : 簡易 ← 現在設定されている単価 (簡易)
基本料金          : 〇〇円
単価              : 〇.〇〇円
-----
メーター種別      水道 2
単価設定          : 詳細 ← 現在設定されている単価 (詳細)
基本料金          : △△円
範囲 1            : 〇〇〇単位
                  ~ ●●●単位
単価 1            : 〇.〇〇円 ← 現在設定されている単価 (詳細)
範囲 2            : △△△単位
                  ~ ▲▲▲単位
単価 2            : △.△△円
範囲 3            : □□□単位~
単価 3            : □.□□円
-----
メーター種別      水道 3
                  :
                  :

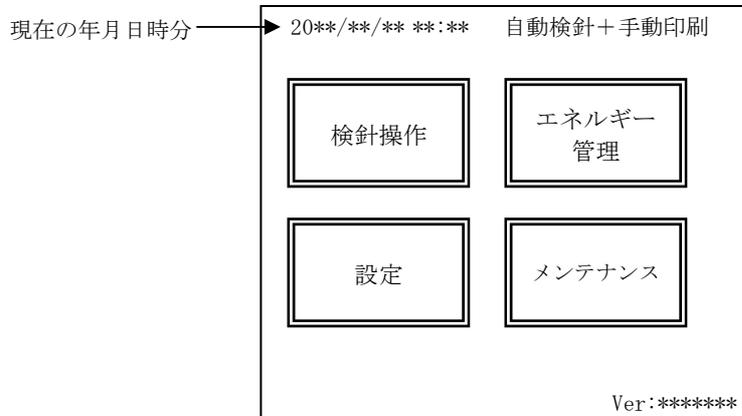
```

6-4-6. 画面調整設定

表示操作部の画面表示の見易さを調整するため「明るさ」や「コントラスト」の設定をおこないます。

操作手順

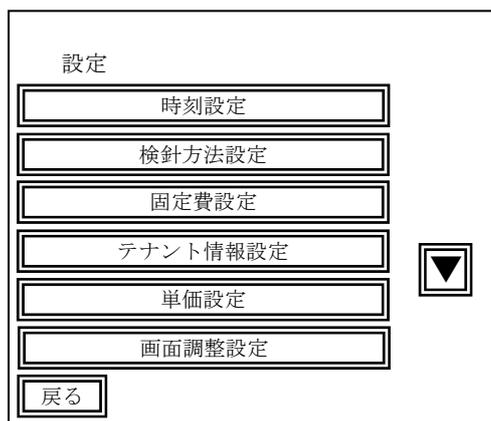
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。

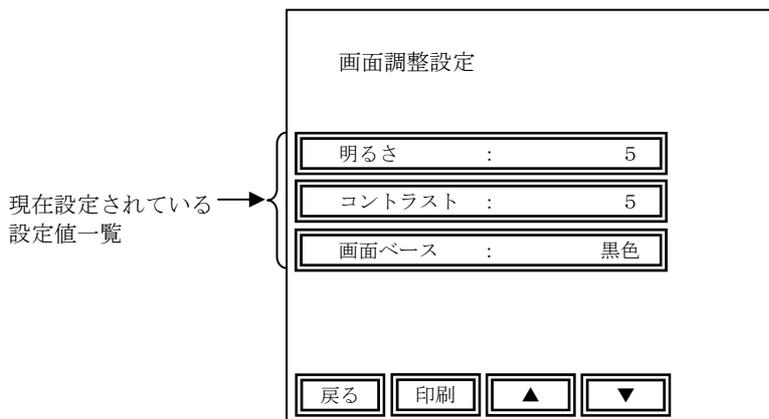


画面調整設定 を押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面 2 >

- ③ **画面調整設定** を押すと次の画面になります。



設定したい項目を選択し、▲、▼ボタンで設定値を調整します。

明るさ : ○

コントラスト : ○

画面ベース : ○○ のボタンを押すと表示が反転し、選択されたことを示します。

明るさは「1～10」の10段階

コントラストは「1～10」の10段階

画面ベースは「黒色／白色」の2種類が設定できます。

▲、▼を押すごとに表示が変わります。

見易い設定を選んでください。

印刷 を押すと現在設定されている「画面調整設定」を印刷します。

<画面 5 >を表示します。

戻る を押すと<画面 2 >に戻ります。

<画面 3 >

④ 設定を変更すると次の画面になります。

設定を変更すると**設定**ボタンが表示され、**戻る**ボタンが**取消**ボタンに変わります。

設定を押すと変更した内容を確定し、
<画面 5>を表示します。

取消を押すと変更した内容をキャンセルし、
<画面 7>を表示します。

印刷を押すと現在設定されている「画面調整設定」を印刷します。
<画面 5>を表示します。

<画面 4>

⑤ <画面 3>、<画面 4>にて **印刷**
<画面 4>にて **設定** を押すと次の画面になります。

実行 を押すと<画面 6>を表示します。
<画面 3、画面 4>で**印刷**を押した場合
現在設定されている画面調整設定を印刷
します。

<画面 4>で**設定**を押した場合
変更した画面調整設定（変更前、変更後）
を印刷します。

しないを押すと印刷を行わずに<画面 2>
に戻ります。

<画面 5>

⑥ **実行** を押すと次の画面になります。

画面調整設定を印刷した後、<画面 2>に
戻ります。

中止を押すと印刷を中止し、<画面 2>に
戻ります。

<画面 6>

⑦ <画面4>にて **取消** を押すと次の画面になります。

設定変更破棄確認

現在、本頁で行った設定内容を
破棄して前画面に戻ります

よろしいですか？

中止
確認

確認 を押すと、今回設定しようとして入力した設定値を破棄して<画面2>に戻ります。

中止 を押すと、設定変更破棄を中止して<画面3>に戻ります。

<画面7>

<印刷フォーマット>

設定変更時の印刷

画面調整設定

○○○ビル ← 設定されている物件名

20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻

変更前

明るさ : ○

コントラスト : △

画面ベース色 : □色

変更後

明るさ : ●

コントラスト : ▲

画面ベース色 : ■色

← 変更前の画面調整設定

← 変更後の画面調整設定

設定内容の印刷

設定情報印刷

○○○ビル ← 設定されている物件名

20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻

画面調整設定

明るさ : ○

コントラスト : △

画面ベース色 : □色

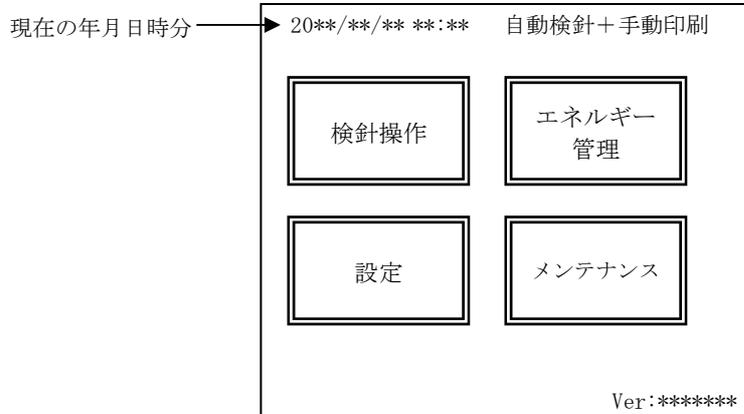
← 現在設定されている画面調整設定

6-4-7. 履歴

検針盤で保存している機器異常履歴、動作履歴、メーター交換履歴について、表示をおこないます。

操作手順

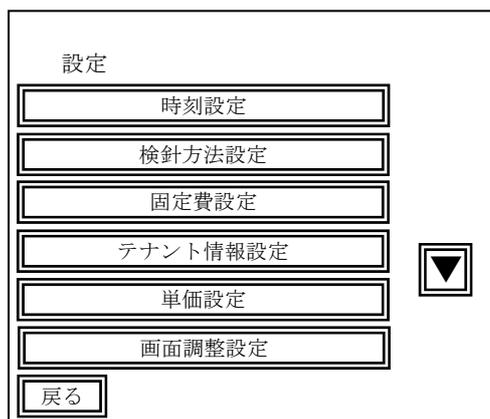
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。

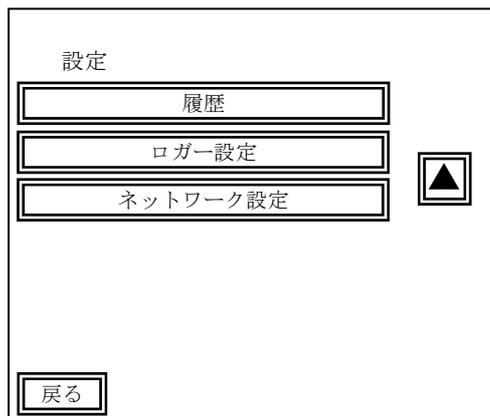


▼ボタンを押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面 2 >

- ③ ▼ を押すと次の画面になります。

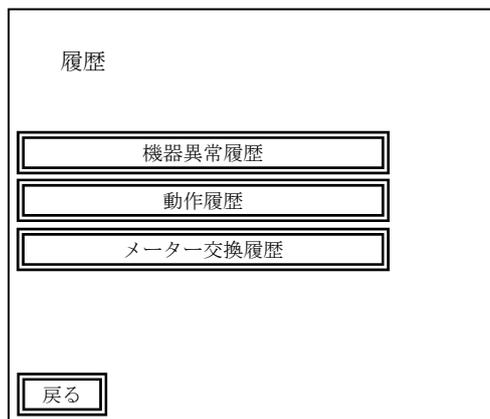


履歴 を押します。

戻る を押すと<画面 1 >に戻ります。

<画面 3 >

④ **履歴** を押すと次の画面になります。



閲覧したい履歴を選択してください。

機器異常履歴

機器の異常に関する発生／復帰の履歴を表示します。・・・P136⑤へ

動作履歴

機器の動作（操作）に関する履歴を表示します。・・・P137⑦へ

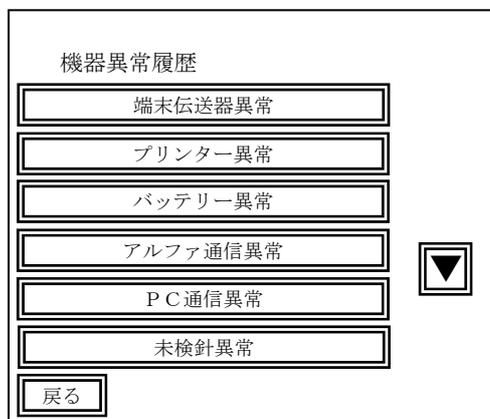
メーター交換履歴

メーター交換に関する履歴を表示します。・・・P137⑦へ

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面4>

⑤ **機器異常履歴** を押すと次の画面になります。



閲覧したい機器異常履歴を選択してください。

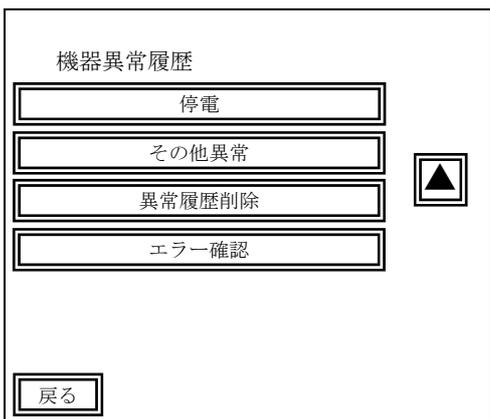
▼ を押すと<画面6>を表示します。

閲覧したい機器異常履歴を選択すると<画面7>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面5>

⑥ **▼** を押すと次の画面になります。



閲覧したい機器異常履歴を選択してください。

▲ を押すと<画面5>を表示します。

閲覧したい機器異常履歴を選択すると<画面7>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面6>

⑦ 閲覧したい項目のボタンを押すと次の画面になります。

閲覧したい期間を入力してください。

****年**月**日**時**分** を押すと
 <画面 8> を表示します。

確認 を押すと <画面 9> を表示します。
 機器異常履歴の場合・・・P137⑨-1
 動作履歴の場合・・・P137⑨-2
 メーター交換履歴の場合
 ・・・P138⑨-3

<画面 7>

⑧ ****年**月**日**時**分** を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して
 閲覧したい期間の開始日/終了日を設定し
 ます。

設定 を押すと <画面 7> を表示します。

戻る を押すと <画面 7> に戻ります。

<画面 8>

⑨-1 <画面 7> にて **設定** を押すと次の画面になります。

履歴データの数により **▲**、**▼** ボタンが
 表示されます。このボタンは10個単位で
 表示を進め(戻し)ます。

印刷 を押すと選択した履歴を印刷します。
 <画面 10> を表示します。

最大2000件の履歴を表示します。

戻る を押すと <画面 4> に戻ります。

<画面 9-1>

⑨-2 <画面 7> にて **設定** を押すと次の画面になります。

履歴データの数により **▲**、**▼** ボタンが
 表示されます。このボタンは10個単位で
 表示を進め(戻し)ます。

印刷 を押すと選択した履歴を印刷します。
 <画面 10> を表示します。

最大2000件の履歴を表示します。

戻る を押すと <画面 4> に戻ります。

<画面 9-2>

⑨-3 <画面7>にて **設定** を押すと次の画面になります。

選択した履歴名称 → メーター交換履歴

テナント名称 → 0001
テナント名称 → テナント〇〇
メーター種別 → 水道1-001

メーター交換内容 → 交換前日時: **年**月**日**時**分
交換前メーター値: 〇〇 単位
交換後日時: **年**月**日**時**分
交換後メーター値: △△ 単位

戻る 印刷

履歴データの数により **▲**、**▼** ボタンが表示されます。このボタンは10個単位で表示を進め(戻し)ます。

印刷 を押すと選択した履歴を印刷します。
<画面10>を表示します。

最大1800件の履歴を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面9-3>

⑩<画面9>にて **印刷** を押すと次の画面になります。

選択した履歴名称 → 端末伝送器異常
印刷しますか?

しない 実行

実行 を押すと<画面11>を表示します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面4>に戻ります。

<画面10>

⑪ **実行** を押すと次の画面になります。

端末伝送器異常
印刷中

中止

選択した履歴を印刷した後、<画面4>に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面4>に戻ります。

<画面11>

<印刷フォーマット>

異常履歴の印刷

```

*****
端末伝送器異常
〇〇〇ビル
20**年**月**日**時**分
*****
内容 0001: 通信異常: 1-00
発生 0001: **年**月**日**時**分
復旧 0001: **年**月**日**時**分
内容 0002: 通信異常: 0-02
発生 0002: **年**月**日**時**分
復旧 0002: **年**月**日**時**分
内容 0003: 通信異常: 3-99
発生 0003: **年**月**日**時**分
復旧 0003: **年**月**日**時**分
.
.
    
```

選択した履歴名称
 設定されている物件名
 印刷をおこなった時刻
 異常の内容、発生時刻、復旧時刻の
 3項目をひとまとめにして表示

動作履歴の印刷

```

*****
動作履歴
〇〇〇ビル
20**年**月**日**時**分
*****
内容 0001: プリンター異常ボタン
発生 0001: **年**月**日**時**分
内容 0002: 待機画面
発生 0002: **年**月**日**時**分
内容 0003: 無操作タイムアウト
発生 0003: **年**月**日**時**分
内容 0004: 戻るボタン テナント情報設定変更破棄
発生 0004: **年**月**日**時**分
内容 0005: 機器異常履歴ボタン
発生 0005: **年**月**日**時**分
.
.
    
```

設定されている物件名
 印刷をおこなった時刻
 動作の内容、発生時刻の2項目を
 ひとまとめにして表示
 1行で書き表せない場合は、
 行数を増やして印刷

動作履歴の印刷

```

*****
メーター交換履歴
〇〇〇ビル
20**年**月**日**時**分
*****
0001
テナント〇〇
メーター種別 水道1-001
交換前時刻 **年**月**日**時**分
交換前メーター値
          〇〇 単位
交換後時刻 **年**月**日**時**分
交換後メーター値
          ●● 単位
-----
0002
テナント△△
メーター種別 水道2-001
交換前時刻 **年**月**日**時**分
交換前メーター値
          △△ 単位
交換後時刻 **年**月**日**時**分
交換後メーター値
          ▲▲ 単位
-----
.
.
    
```

設定されている物件名
 印刷をおこなった時刻
 交換前、交換後の時刻及びメーター値を
 ひとまとめにして表示

6-4-8. ロガー設定

検針票とは別に、最小10分単位の検針値を取得し、CSVファイルとして出力します。
お客様にて検針データを加工し、様々な表示形態に展開していただくことが可能です。

注 記



8ビット電文式メーターに対してロガー設定をする場合、検針間隔が短い（通信回数が多くなる）と、メーターの電池がなくなり、メーターが動作しなくなる可能性があります。
8ビット電文式メーターについては、ロガー設定しない運用を推奨します。

操作手順

① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）

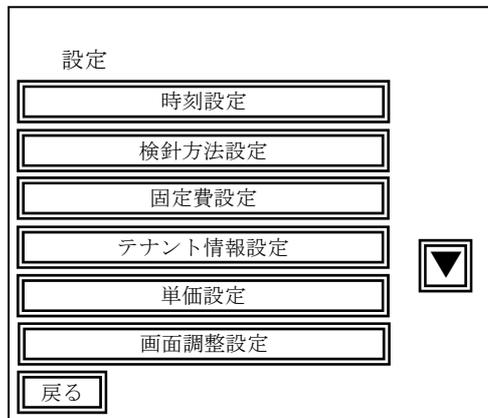
現在の年月日時分



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面1>

② **設定** を押して設定メニューを表示させます。

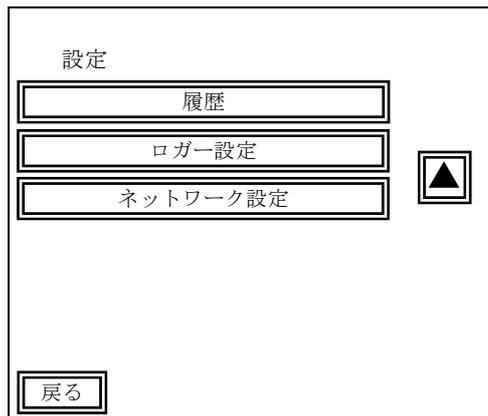


▼ボタンを押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面2>

③ ▼ を押すと次の画面になります。



ロガー設定 を押します。

戻る を押すと<画面1>に戻ります。

<画面3>

④ **ログー設定** を押すと次の画面になります。

ログー機能の検針タイミングを設定してください。

次回検針日**年**月**日**時**

次回の検針をおこなう日時を設定します。
・・・P141⑤へ

検針周期 〇〇毎

ログー検針実施後、次のログー検針をおこなうまでの期間を設定します。
・・・P142⑨へ

検針対象 〇〇〇〇〇

ログー検針の対象となるメーターを選択します。
・・・P143⑩へ

印刷 を押すと現在設定されている「ログー設定」を印刷します。
<画面7>を表示します。

戻る を押すと<画面3>に戻ります。

<画面4>

⑤ **次回検針日****年**月**日**時** を押すと次の画面になります。

カーソルの位置へ数字をテンキー入力して次回検針をおこなう日時を設定します。

数値を入力すると **設定** ボタンが表示されます。

設定 を押すと<画面6>を表示します。

※**検針周期** が「分」単位の場合は、入力項目に「分」が表れます。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面5>

⑥ **設定** を押すと次の画面になります。

最小10分間隔で検針をおこなうことが可能。
検針対象に電文メーターが選択された場合、想定以上の通信がおこなわれる可能性があるため、このメッセージが表示されます。

設定 を押すと変更した内容を確定し、<画面7>を表示します。

取消 を押すと<画面11>を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「ログー設定」を印刷します。

<画面7>を表示します。

<画面6>

- ⑦ <画面4>、<画面6>にて **印刷**
 <画面6>にて **設定** を押すと次の画面になります。

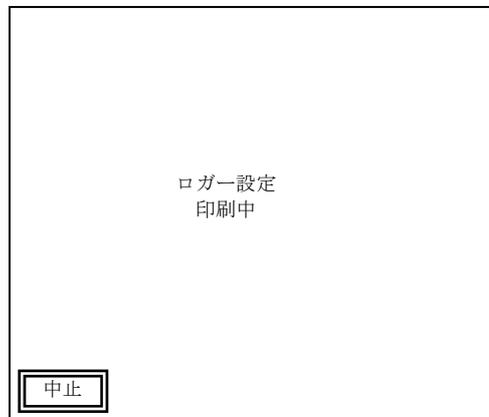


実行 を押すと<画面8>を表示します。
 <画面4、画面6>にて**印刷**を押した場合
 現在設定されているログ設定を印刷し
 ます。
 <画面6>にて**設定**を押した場合
 変更したログ設定（変更前、変更後）
 を印刷します。

しないを押すと印刷を行わずに<画面3>
 に戻ります。

<画面7>

- ⑧ **実行** を押すと次の画面になります。

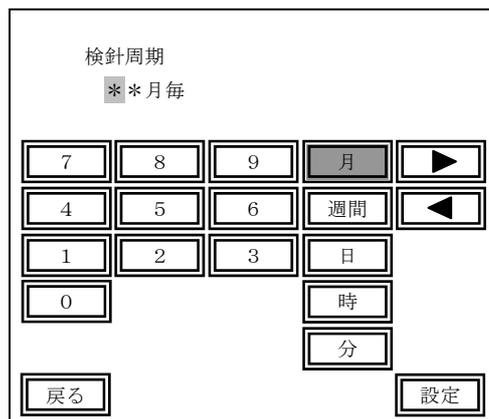


ログ設定を印刷した後、<画面3>に戻
 ります。

中止を押すと印刷を中止し、<画面3>に
 戻ります。

<画面8>

- ⑨ <画面4>にて **検針周期 ○○毎** を押すと次の画面になります。



カーソルの位置へ数値を入力して検針周期
 を設定します。

月 **週間** **日** **時** **分** のボタンは、
 いずれか1つを選択します。
 選択されているボタンが反転表示します。

検針周期を変更すると **設定** ボタンが表示
 されます。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面9>

⑩ <画面4>にて **検針対象** を押すと次の画面になります。

検針対象

パルスのみ

パルス+電文

電文のみ

ロガー検針に対応させたいメーターの種別を、**パルスのみ** **パルス+電文** **電文のみ** から選択します。
 選択されているボタンが反転表示します。

検針対象を変更すると **設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面6>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面10>

⑪ <画面6>にて **取消** を押すと次の画面になります。

設定変更破棄確認

現在、本頁で行った設定内容を破棄して前画面に戻ります
 よろしいですか？

確認 を押すと、今回設定しようとして入力した設定値を破棄して<画面3>に戻ります。

中止 を押すと、設定変更破棄を中止して<画面6>に戻ります。
 (入力した値は保持します)

<画面11>

<印刷フォーマット>

設定変更時の印刷

```

*****
ロガー設定
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
変更前
次回メーター値検針日
      **年**月**日  **時
検針周期      :   1日毎
検針対象      :   パルスのみ
-----
変更後
次回メーター値検針日
      **年**月**日  **時**分
検針周期      :   10分毎
検針対象      :   パルス+電文
*****
  
```

← 変更前のロガー設定

← 変更後のロガー設定

設定内容の印刷

```

*****
画面調整設定
〇〇〇ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
ロガー設定
次回メーター値取得日
      **年**月**日  **時
検針周期      :   1日毎
検針対象      :   パルスのみ
*****
  
```

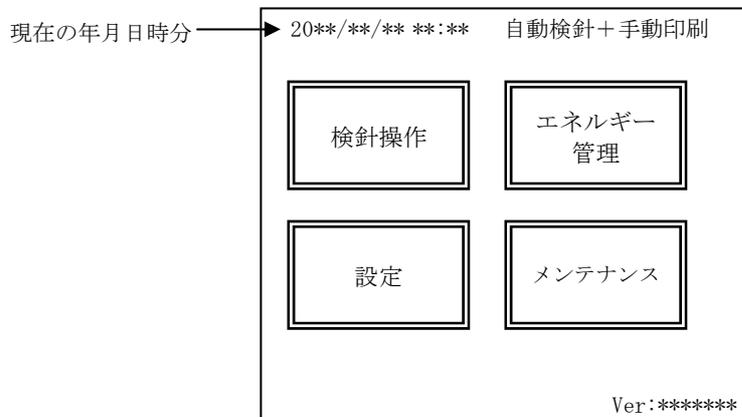
← 現在設定されているロガー設定

6-4-9. ネットワーク設定

アメリスDMをネットワーク接続するための設定をおこないます。

操作手順

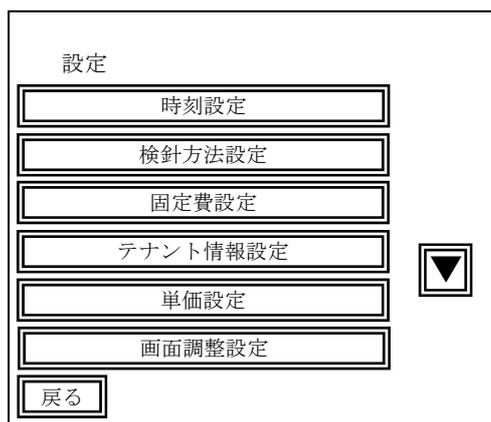
- ① バックライトが消えている場合は、画面にふれてください。（どこでもかまいません）



基本画面が表示されます。
他のメニューを表示している場合は、基本画面まで戻ってください。

<画面 1 >

- ② **設定** を押して設定メニューを表示させます。

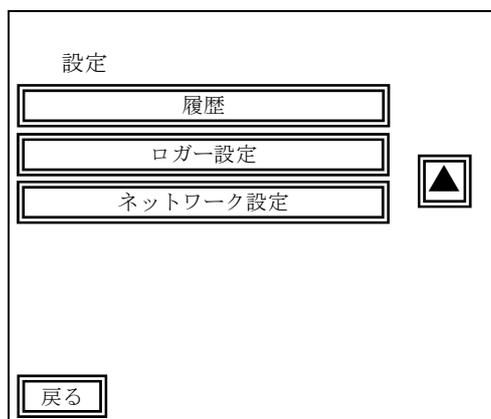


▼ ボタンを押します。

※各画面において **戻る** を押すと、現在の画面に遷移してくる前の画面に戻ります。

<画面 2 >

- ③ ▼ を押すと次の画面になります。



ネットワーク設定 を押します。

戻る を押すと<画面 1 >に戻ります。

<画面 3 >

- ④ **ネットワーク設定** を押すと次の画面になります。

ネットワーク

ネットワーク接続に必要な項目の設定をおこないます。・・・P 1 4 5 ⑤へ

Web

管理者様やテナントオーナー様がWeb上で検針盤が保持しているデータを閲覧するために必要なユーザーIDやパスワードを設定します。・・・P 1 4 8 ⑬へ
戻る を押すと<画面 3 >に戻ります。

<画面 4 >

- ⑤ **ネットワーク** を押すと次の画面になります。

DHCPサーバーによる自動取得

自動取得 なし ボタンを押すことにより「あり」「なし」を選択します。

IPアドレス

000.000.000.000 ボタンを押してIPアドレスを設定します。
<画面 7 >を表示します。

(DHCPサーバーによる自動取得が「なし」の場合のみ)

▼ ボタンを押すと<画面 6 >を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「ネットワーク設定」を印刷します。

<画面 1 0 >を表示します。

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 5 >

- ⑥ **▼** を押すと次の画面になります。

サブネットマスク

000.000.000.000 ボタンを押してサブネットマスクを設定します。
<画面 7 >を表示します。

(DHCPサーバーによる自動取得が「なし」の場合のみ)

デフォルトゲートウェイ

000.000.000.000 ボタンを押してデフォルトゲートウェイを設定します。<画面 7 >を表示します。

(DHCPサーバーによる自動取得が「なし」の場合のみ)

受信ポート

00 ボタンを押して受信ポートを設定します。
<画面 8 >を表示します。

▲ ボタンを押すと<画面 5 >を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「ネットワーク設定」を印刷します。

<画面 1 0 >を表示します。

戻る を押すと<画面 4 >に戻ります。

<画面 6 >

- ⑦ <画面5>にてIPアドレス
 <画面6>にてサブネットマスク
 <画面6>にてデフォルトゲートウェイ を押すと
 次の画面になります。

選択した項目名称 → IPアドレス
 ・IPアドレス
 ・サブネットマスク
 ・デフォルトゲートウェイ

変更前: 000. 000. 000. 000
 変更後: █ . . .

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

▶ ◀ 削除 戻る 設定

カーソルの位置へ数値を入力してIPアドレス等を設定します。

IPアドレス等を変更すると **設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面9>を表示します。

戻る を押すと<画面5>または<画面6>に戻ります。

<画面7>

- ⑧ <画面6>にて受信ポート を押すと次の画面になります。

選択した項目名称 → 受信ポート

変更前: 00
 変更後: █

7	8	9
4	5	6
1	2	3
0		

▶ ◀ 削除 戻る 設定

カーソルの位置へ数値を入力して受信ポートを設定します。

受信ポートを変更すると **設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面9>を表示します。

戻る を押すと<画面6>に戻ります。

<画面8>

- ⑨ <画面7>、<画面8>にて **設定** を押すと次の画面になります。

ネットワーク設定

MACアドレス
 ***-**-**-**-**-**

DHCPサーバーによる自動取得
 なし

IPアドレス

取消 印刷 設定

設定を変更すると**設定**ボタンが表示され、**戻る**ボタンが**取消**ボタンに変わります。

設定 を押すと変更した内容を確定 (**設定** ボタンの上に「設定中」の文字が点滅) し、
 <画面10>を表示します。

取消 を押すと変更した内容をキャンセルし、
 <画面7>を表示します。

印刷 を押すと現在設定されている「画面調整設定」を印刷します。
 <画面5>を表示します。

<画面9>

- ⑩ <画面5>、<画面6>にて **印刷**
<画面9>にて **設定** を押すと次の画面になります。

ネットワーク設定
印刷しますか？

しない **実行**

実行 を押すと<画面11>を表示します。
<画面5、画面6>で**印刷**を押した場合
現在設定されているネットワーク設定を
印刷します。

<画面9>で**設定**を押した場合
変更したネットワーク設定（変更前、変
更後）を印刷します。

しないを押すと印刷を行わずに<画面4>
に戻ります。

<画面10>

- ⑪ **実行** を押すと次の画面になります。

ネットワーク設定
印刷中

中止

画面調整設定を印刷した後、<画面4>に
戻ります。

中止を押すと印刷を中止し、<画面4>に
戻ります。

<画面11>

- ⑫ <画面9> **取消** を押すと次の画面になります。

設定変更破棄確認

現在、本頁で行った設定内容を
破棄して前画面に戻ります

よろしいですか？

中止 **確認**

確認を押すと、今回設定しようとして入力した
設定値を破棄し、<画面4>に戻ります

中止を押すと、設定変更破棄を中止し、
<画面9>に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面12>

⑬ <画面4>にて **Web** を押すと次の画面になります。

管理者用

管理者様がWeb上で検針盤が保持しているデータを閲覧するために必要なユーザーIDとパスワードの設定をおこないます。・・・P148⑭へ

テナントオーナー用

テナントオーナー様がWeb上で検針盤が保持しているデータを閲覧するために必要なユーザーIDとパスワードを設定します。・・・P148⑭へ

印刷 を押すと現設定されている「Web設定」を印刷します。
<画面18>を表示します。

戻る を押すと<画面4>に戻ります。

<画面13>

⑭ **管理者用** または **テナントオーナー用** を押すと次の画面になります。

01 : ***** ボタンを押してユーザーIDとパスワードを設定します。
<画面15>を表示します。

▲、▼、◀、▶ ボタンにて設定するユーザーを選択します。
◀、▶ ボタンは60個単位で表示を進め(戻し)ます。

戻る を押すと<画面13>に戻ります。

<画面14>

⑮ **01 : ******* を押すと次の画面になります。

ユーザーID

********* ボタンを押してユーザーIDを設定します。
<画面16>を表示します。

パスワード

********* ボタンを押してパスワードを設定します。
<画面16>を表示します。

設定変更後に **戻る** を押すと<画面17>を表示します。

<画面15>

- ⑩ <画面15>にてユーザーID
 <画面15>にてパスワード を押すと次の画面になります。

選択した項目名称
 ・ユーザーID
 ・パスワード

ユーザーID
 変更前: *****
 変更後:

AB	CD	EF	-	▶
GH	IJ	KL	SP	◀
MN	OP	QR	.	文字
ST	UV	WX		
YZ				削除
戻る				設定

カーソルの位置へ数値を入力してユーザーIDやパスワードを設定します。

文字 を押すと入力する文字の種類を変更します。(英字→数字→英字)

ユーザーIDやパスワード等を変更すると**設定** ボタンが表示されます。
設定 を押すと<画面15>を表示します。

戻る を押すと<画面15>に戻ります。

<画面16>

- ⑪ <画面15>にて設定変更後に **戻る** を押すと次の画面になります。

選択した方を表示
 (管理者用/テナントオーナー用) → Web設定 (管理者用)

ユーザーIDを表示

管理者用は最大10個
 テナントオーナー用は最大900個のWeb設定を登録可能

▶ 01:*****	▲
02:	▲
03:	▼
04:	▼
05:	
06:	

取消 設定

設定 を押すと変更した内容を確定し、<画面18>を表示します。

取消 を押すと<画面20>を表示します。

<画面17>

- ⑫ <画面13>にて **印刷**
 <画面17>にて **設定** を押すと次の画面になります。

Web設定
 印刷しますか?

しない **実行**

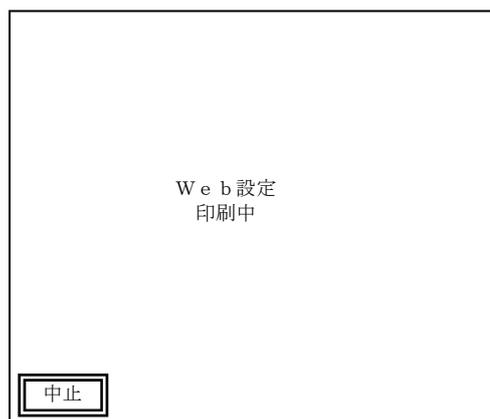
実行 を押すと<画面19>を表示します。
 <画面13>で**印刷**を押した場合
 現在設定されているWeb設定を印刷します。

<画面17>で**設定**を押した場合
 変更したWeb設定(変更前、変更後)を印刷します。

しない を押すと印刷を行わずに<画面13>に戻ります。

<画面18>

⑱ **実行** を押すと次の画面になります。

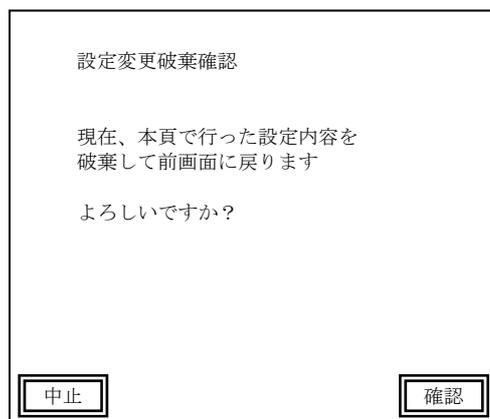


画面調整設定を印刷した後、<画面 1 3 >に戻ります。

中止 を押すと印刷を中止し、<画面 1 3 >に戻ります。

<画面 1 9 >

⑳ <画面 1 7 >にて **取消** を押すと次の画面になります。



確認 を押すと、今回設定しようとして入力した設定値を破棄し、<画面 1 3 >に戻ります

中止 を押すと、設定変更破棄を中止し、<画面 1 7 >に戻ります。
(入力した値は保持します)

<画面 2 0 >

<印刷フォーマット>

●ネットワーク設定

設定変更時の印刷

```

*****
                ネットワーク設定
○○○ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
変更前
MACアドレス      **--**--**--**--**
DHCPサーバによる自動取得  なし
IPアドレス        ***, ***, ***, ***
サブネットマスク  ***, ***, ***, ***
デフォルトゲートウェイ  ***, ***, ***, ***
受信ポート        **
-----
変更後
MACアドレス      **--**--**--**--**
DHCPサーバによる自動取得  あり
IPアドレス        ***, ***, ***, ***
サブネットマスク  ***, ***, ***, ***
デフォルトゲートウェイ  ***, ***, ***, ***
受信ポート        **
*****
    
```

設定内容の印刷

```

*****
                設定情報印刷
○○○ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
                ネットワーク設定
MACアドレス      **--**--**--**--**
DHCPサーバによる自動取得  なし
IPアドレス        ***, ***, ***, ***
サブネットマスク  ***, ***, ***, ***
デフォルトゲートウェイ  ***, ***, ***, ***
受信ポート        **
*****
    
```

●Web設定

設定変更時の印刷

```

*****
                Web設定
○○○ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
変更前
管理者01
ユーザーID      *****
パスワード      *****
-----
変更後
管理者01
ユーザーID      *****
パスワード      *****
*****
    
```

設定内容の印刷

```

*****
                設定情報印刷
○○○ビル ← 設定されている物件名
20**年**月**日**時**分 ← 印刷をおこなった時刻
*****
                Web設定
管理者          01
ユーザーID      *****
パスワード      *****
-----
管理者          02
ユーザーID      *****
パスワード      *****
-----
管理者          03
ユーザーID      *****
パスワード      *****
-----
テナントオーナー  001
ユーザーID      *****
パスワード      *****
-----
テナントオーナー  002
ユーザーID      *****
パスワード      *****
-----
テナントオーナー  003
ユーザーID      *****
パスワード      *****
*****
    
```

注 記

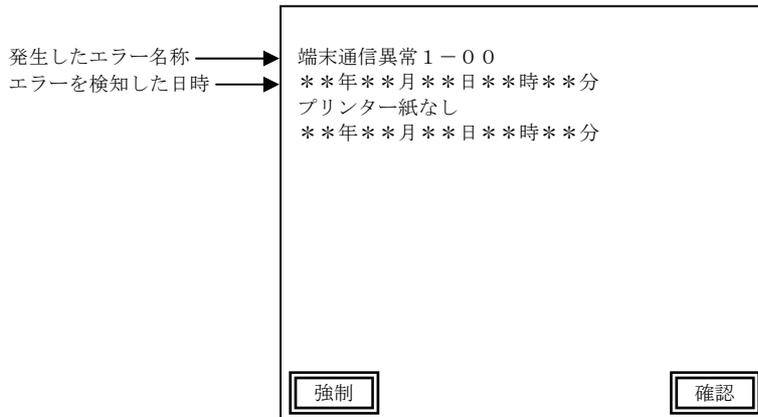
「設定メニュー」に入ることができると、Web設定の設定内容を印刷することで、管理者及びテナントオーナーの“ユーザーID”、“パスワード”を知ることができてしまいます。セキュリティを強化するため『操作用暗証番号』を設定し、むやみに他人が盤を操作できない様にすることを推奨します。
 ※『操作用暗証番号』の設定については取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

§ 7. 警報・故障（アラーム・エラー表示）の見分け方と処置方

「アメリスDM」は、異常が発生するとその内容を画面に表示してお知らせします。

7-1. 画面例

異常発生時の画面の表示例です。



異常内容は1画面上6件まで表示されます。6件を超えると▼ (▲) が表示され、次頁（前頁）の異常内容を表示させます。

○ 強制 と 確認 の違い

- ・ **強制** : 異常が復旧しているか確認はしないで、基本画面（P9参照）にすることができま
す。異常内容に関する機能以外の操作をすることができます。
- ・ **確認** : 異常が復旧しているか確認をおこないます。異常が復旧している場合は、異常内容
を表示しなくなります。

7-2. 異常の復旧方法

異常が発生していたら、下記の要領に従って処置をしてください。

(1) プリンター・記録紙関係のエラー

画面表示	内 容	処 置 方 法
プリンター紙なし	記録紙がありません。	新品の記録紙と交換してください。 記録紙をセットした後、 確認 を押して ください。
プリンターカバーオープ ン	プリンターのカバーが開いていま す。	プリンターカバーを閉じてください。 プリンターカバーを閉じた後、 確認 を 押してください。
プリンター通信異常	プリンターとの通信が不通状態にな っています。	確認 を押して表示が消えるか確認して ください。 エラーが消えない場合は、プリンター側、 制御基板側（J7）、充放電基板側（J 9）のコネクタ接続に緩みがないか確認 し、 確認 を押してください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源 をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。
プリンター電圧異常	プリンター電圧に異常が発生して います。	確認 を押して表示が消えるか確認して ください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源 をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。

画面表示	内 容	処 置 方 法
プリンター温度異常	プリンターの温度が異常に高くなっています。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。 エラーが消えない場合は、しばらく印刷しないで放置してから 確認 を押してください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。

処置方法の指示通りに対処しても異常表示が消えない場合は、機器の故障が考えられますので、保守契約先までご連絡ください。

(2) バッテリー関係のエラー

画面表示	内 容	処 置 方 法
バッテリー充電異常	バッテリーの充電に異常が発生しています。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。
バッテリー電圧異常	バッテリー電圧上限 (13.8V) 異常が発生しています。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。
バッテリー温度1異常	バッテリー温度異常 (60℃) が発生しています。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。
バッテリー終止電圧	停電中にバッテリーが終止電圧 (10.5VDC) になっています。	通電状態で 確認 を押すとエラー表示は消えます。 しばらく通電してバッテリーを充電した後、電源をOFFして異常ランプ (赤色) が点灯することを確認してください。この後、電源をONして停電記録が印刷されることを確認してください。 ※バッテリーが劣化してショートモードになった場合、バッテリー用ブレーカーがOFFになります。バッテリー交換後、バッテリー用ブレーカーをONした後、OFFにならないことを確認してください。

処置方法の指示通りに対処しても異常表示が消えない場合は、機器の故障が考えられますので、保守契約先までご連絡ください。

(3) 検針盤の機器に関するエラー

画面表示	内 容	処 置 方 法
タッチパネル異常	タッチパネルの座標検出が不能になっています。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。 エラーが消えない場合は、 強制 を押して基本画面から メンテナンス → タッチパネル位置調整 をおこなってください。 エラーが消えない場合は、検針盤の電源をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。
充放電基板通信異常	充放電基板との通信に異常が発生しました。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。 エラーが消えない場合は、充放電基板側（J6）、制御基板側（J8）のコネクタ接続に緩みがないか確認し、 確認 を押してください。 それでもエラーが消えない場合は、検針盤の電源をOFFして数秒後にONをおこない、 確認 を押してください。
未検針異常	予定していた自動検針の時刻に停電が発生し、時刻通りに検針できませんでした。	確認 を押すとエラー表示は消えます。
バックアップ電池異常	バックアップ電池の電圧が低下しています。	バックアップ電池の電池電圧を測定してください。電圧が2.9V未満の時は電池を交換してください。交換後、 確認 を押してください。 調整前、制御基板のバックアップ電池有効/無効ジャンプスイッチが「無効」（下側）でなかったか確認してください。調整前にジャンプスイッチが「有効」（上側）になっていた場合、メモリーバックアップしている状態で保管されていたので電池が消耗している可能性があります。調整前にジャンプスイッチが「無効」（下側）であったにも係らずこの様なエラーが表示される場合は、電池の不良です。新品と交換してください。 新品と交換後、念のためジャンプスイッチが「有効」（上側）の状態です1分程度停電させ、復電後に時刻が初期値になったり、遅れたりせずに現在時刻と合っていることを確認してください。また、電池電圧を測定し、2.9V未満になっていないか確認してください。もし現在時刻とずれたり、電池電圧が低下するようなことがあれば、制御基板の不良が考えられます。
設定値異常 1	記憶している設定値情報が不整合になっています。	設定し直した後、 確認 を押して表示が消えるか確認してください。
設定値異常 2	設定値の保持ができず、デフォルト値になっています。	設定し直した後、 確認 を押して表示が消えるか確認してください。
履歴内容復帰	履歴データ更新中に電源がOFFになり、更新前の値で復旧しました。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。

画面表示	内 容	処 置 方 法
検針値内容復帰	検針値（メーター値・ログ）更新中に電源がOFFになり、更新前の値で復帰しました。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。
端末ROM異常〇-〇〇	〇(チャンネル)-〇〇(アドレス)の入力ユニットもしくは端末伝送器からROM異常のステータスが報告されました。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。
端末E2P異常〇-〇〇	〇(チャンネル)-〇〇(アドレス)の入力ユニットもしくは端末伝送器からE2P異常のステータスが報告されました。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。
端末停電	〇(チャンネル)-〇〇(アドレス)の入力ユニットもしくは端末伝送器から停電のステータスが報告されました。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。
8ビットアラーム	接続されている8ビット電文出力付きメーターに何らかの異常が発生しています。	確認 を押して表示が消えるか確認してください。

処置方法の指示通りに対処しても異常表示が消えない場合は、機器の故障が考えられますので、保守契約先までご連絡ください。

(4) 通信関係のエラー

画面表示	内 容	処 置 方 法
端末通信異常〇-〇〇	〇(チャンネル)-〇〇(アドレス)の入力ユニットもしくは端末伝送器と正常に通信がおこなわれませんでした。	<p>確認 を押して表示が消えるか確認してください。</p> <p>エラーが消えない場合は、以下の項目を再度確認してください。</p> <p>a) 端末伝送器の配線は正しいか？（P+、P-、S+、S-は正しく配線されているか？特にペアケーブルを使用している場合、ペアとなる電線に誤りはないか？）</p> <p>b) チャンネル、アドレス（ロータリースイッチ）の設定に間違いがないか？間違いがあった場合は、設定を直した後リセットスイッチを押してください。</p> <p>c) 端末伝送器の配線において、途中で中継しているジョイント部分の接触不良はないか？ （線を引っ張って抜けてこないか確認してください）</p> <p>d) 端末伝送器の端子台にしっかりネジ止めされているか？ （線を引っ張って抜けてこないか確認してください） 線の被覆を噛んでネジ止めされていないか？</p> <p>e) 配線が別のチャンネルに接続されていないか？</p>

画面表示	内 容	処 置 方 法
α 通信異常	α 通信中に通信異常が発生しました。	<p>確認 を押すとエラー表示は消えます。再度 α 通信をおこない、正常に通信できるか確認してください。再度エラーが発生する場合は、以下の項目を再度確認してください。</p> <p>a) シリアルケーブルが外れていないか？</p> <p>b) 使用しているシリアルケーブルに誤りはないか？ 直 結：クロスケーブル モデム：ストレートケーブル</p> <p>c) 電文延長器の電源が外れていないか？</p> <p>d) 通信設定に間違いはないか？</p>
設定器通信異常	設定器通信中に通信異常が発生しました。	<p>確認 を押すとエラー表示は消えます。再度設定器通信をおこない、正常に通信できるか確認してください。再度エラーが発生する場合は、以下の項目を再度確認してください。</p> <p>a) シリアルケーブルが外れていないか？</p> <p>b) 使用しているシリアルケーブルがクロスケーブルであるか？</p> <p>c) 通信設定に間違いはないか？</p>

処置方法の指示通りに対処しても異常表示が消えない場合は、機器の故障が考えられますので、保守契約先までご連絡ください。

§ 8. 日常点検について

「アメリスDM」を常に正しく動作させるには、日常点検をおこなうことが大切です。

日常点検の項目

① 検針票の回収

自動検針＋自動印刷モードで運用していると検針から印刷まで自動でおこないますので、印刷が終了した頃に回収してください。

② 記録紙の補充

「プリンター紙なし」が表示されたら速やかに記録紙を補充してください。記録紙に赤い帯状の線が現れたら残りが少なくなっています。この時点で交換することをおすすめします。

③ 異常発生画面の確認

時々画面を確認して異常が発生していないか見てください。

異常ランプ（赤色）が点灯している時は異常が発生しておりますので、異常内容を画面にて確認してください。

④ ランプの点灯状態の確認

「アメリスDM」には、電源ランプ（緑色）と異常ランプ（赤色）の2つのランプが取り付けられています。下表を参照して、ランプの点灯状態が通常状態であることを確認してください。

アメリスDMの状態 ランプ	アメリスDMの状態			
	通常	異常発生	停電中 (バッテリー で動作中)	停電中 (バッテリー 完全放電後)
電源ランプ（緑色）	点灯	点灯	消灯	消灯
異常ランプ（赤色）	消灯	点灯	点灯	消灯

⑤ 定期交換部品

- ・バックアップバッテリー 4年
- ・電源装置 8年
- ・バックアップ電池 10年
- ・プリンター 10年
- ・LCD 10年
- ・電子ユニット 10年
- ・端末伝送器 10年

⑥ メンテナンス目安表示

メンテナンスメニュー（P10参照）から“メンテナンス目安”を設定することにより、メンテナンス部品の交換時期が近いことをLCD画面に表示し、お知らせします。

上記の「定期交換部品」の他に接続されている各種メーターの検満時期を表示することができます。

※メンテナンス目安の設定については取扱説明書（保守点検操作編）をご覧ください。

● 停電時のバックアップについて

- ・バックアップ電池

累計停電時間1年間、時計を保持します。

- ・バックアップバッテリー

スター接続部に 64台メーターを接続した状態で24時間

スター接続部に 128台メーターを接続した状態で12時間

バス接続部に 4点用端末伝送器を 300台接続した状態で12時間

上記の期間において停電状態においてもメーターからのパルスを受け付けます。

※ただし、新品で満充電の状態を条件とします。

§ 9. 長時間使用しない場合の処置

「アメリスDM」の電源ブレーカーを「切」にし、バックアップバッテリーの接続をはずし、バックアップ電池はずす（無効にする）必要があります。
長時間使用しない場合は、保守契約先にご相談ください。

注 記



バックアップ電池をはずすと「アメリスDM」に記憶されているデータは消えてしまいますので、次に使用再開する時に初期設定などをおこなう必要があります。
使用停止する場合は、事前に保守契約先にご相談ください。

§ 10. 廃棄する場合の処置

バックアップバッテリー及び、バックアップ電池をはずします。
廃棄は各自治体の条例または指針にしたがってください。

§ 11. 機器仕様

11-1. アメリスDM検針盤

接続メーター数	最大管理数900台以下でハード的に接続可能な数 (スター接続部は64台、96台、128台から選択)	
メーター接続方式	パルス出力付きメーター： 2心ケーブル (信号2心：FCPEV0.9-1P または、VCTF0.5mm ² -2C) 8ビット電文出力付きメーター： 2心ケーブル (信号2心：AE0.9-2C)	
接続メーターパルス仕様	ONパルス幅：30msec以上、OFFパルス幅：70msec以上 無電圧a接点、オープンコレクタ、オープンドレイン (5VDC、10mA)	
接続メーター8ビット電文仕様	8ビット電文出力付きメーターと通信可能	
盤-メーター間伝送距離	パルス出力付きメーター： FCPEV0.9で800m、VCTF0.5mm ² で500m 8ビット電文出力付きメーター：AE0.9を使用して200m	
端末伝送器接続方式	バス接続 (信号2心、電源2心)	
端末接続チャンネル数	3チャンネル	
接続端末数	300台 (ただし、100台/1チャンネル)	
盤-端末伝送器間通信方式	RS485準拠	
盤-端末伝送器間伝送距離	FCPEV1.2を使用して500m (ただし、条件あり)	
表示	液晶表示器 (320×240 ドットマトリクス)	
操作部	タッチパネル	
プリンター	漢字ラインサーマルプリンター (英数字、記号、漢字JIS第1・2水準)	
感熱紙	58mm×φ50mm以下 (感熱紙長 約30m) 参考型式：P-58-30 (三栄電機)	
盤内サービスコンセント	AC100V (MAX 5A)	
外部接点入力	無電圧a接点 (DC30V以下、3A以下)	
LED表示	電源表示LED：緑色 検針盤にAC100V給電時に点灯 異常表示LED：赤色 異常 (バックアップ電池有効時) 発生時に点灯	
USBポート	USB Specification 1.1 準拠のポート (1箇所)	
SDカードスロット	市販のSDHCカード対応のスロット (1箇所)	
シリアルポート	D-sub 9P オスのポート (1箇所)	
LANポート	10BASE-T、100BASE-T対応のポート (1箇所)	
電 源	100±10VAC 50/60Hz 【消費電力】 盤に直接 64台接続時 待機時：15W 最大負荷時：43W 盤に直接128台接続時 待機時：20W 最大負荷時：45W 端末伝送器経由で接続時 待機時：22W 最大負荷時：55W	
停電保証	盤に直接 64台接続した状態で24時間パルス入力を受け付ける。 盤に直接128台接続した状態で12時間パルス入力を受け付ける。 盤に端末伝送器を最大接続可能数の300台接続状態で12時間メーターからのパルス入力を受け付ける。	
内蔵時計	月差±2分以内 (25±5℃)	
使用温度範囲	0～45℃	
使用湿度範囲	90%RH以下 (ただし、結露なきこと)	
取付方法	屋内壁面取付型 (事務所内 等)	
パネル盤	材質	SPCC 1.2mm
	外形寸法	W450×H550×D150 (ただし、突起部分は含まない)
	色	日塗工 □22-90B (マンセル値[参考]2.5Y9/1) 半ツヤ
	ハンドル	薄型平面スイングハンドル (A-464-2-1：タキゲン)
質 量	標準仕様 約22kg	

※ 本機で接続確認済みでないメディアの場合は、使用できないことがあります。

確認済みUSB：RUF2-E (パプファロー製)・MF-AU2A04GRS (エレコム製)

確認済みSD：512MB (キングston製)

1 1 - 2. 端末伝送器 (パルス 4 点入力用)

型 式	P O 8 - 0 4 - 2	
接続メーター数 (種類)	パルス出力付きメーターを最大 4 台接続可能	
メーター接続方式	2 心ケーブル (信号 2 心 : A E 0 . 9 - 2 C)	
接続メーターパルス仕様	ONパルス幅 : 3 0 m s e c 以上、OFFパルス幅 : 7 0 m s e c 以上 無電圧 a 接点、オープンコレクタ、オープンドレイン (5 VDC、1 0 m A)	
端末伝送器-メーター間 伝送距離	パルス出力付きメーター : A E 0 . 9 を使用して 1 0 0 m	
電源	検針盤より給電 (DC 7 V ~ 1 4 . 5 V)	
使用温度範囲	- 1 0 ~ 6 0 ℃	
使用湿度範囲	9 0 % RH 以下 (ただし、結露なきこと)	
取付方法	屋内壁面取付型 (パイプシャフト内 等)	
ケース	材 質	S P C C 1 . 2 m m
	外形寸法	W 2 0 0 × H 1 5 5 × D 4 8 (ただし、突起部分は含まない)
	色 (表面処理)	E p - F e / Z n [2] / C M 1 (亜鉛メッキ)
質 量	約 1 . 2 k g	

1 1 - 3. 端末伝送器 (パルス 1 6 点入力用、パルス 3 2 点入力用)

型 式	P O 8 - □ □ - 2 ※□□部は下記項目「接続メーター数 (種類)」を参照	
接続メーター数 (種類)	<ul style="list-style-type: none"> ・パルス 1 6 点入力用 (型式 : P O 8 - 1 6 - 2) パルス出力付きメーターを最大 1 6 台接続可能 ・パルス 3 2 点入力用 (型式 : P O 8 - 3 2 - 2) パルス出力付きメーターを最大 3 2 台接続可能 	
メーター接続方式	2 心ケーブル (信号 2 心 : A E 0 . 9 - 2 C)	
接続メーターパルス仕様	ONパルス幅 : 3 0 m s e c 以上、OFFパルス幅 : 7 0 m s e c 以上 無電圧 a 接点、オープンコレクタ、オープンドレイン (5 VDC、1 0 m A)	
端末伝送器-メーター間 伝送距離	パルス出力付きメーター : A E 0 . 9 を使用して 1 0 0 m	
電源	検針盤より給電 (DC 7 V ~ 1 4 . 5 V)	
使用温度範囲	- 1 0 ~ 6 0 ℃	
使用湿度範囲	9 0 % RH 以下 (ただし、結露なきこと)	
取付方法	屋内壁面取付型 (パイプシャフト内 等)	
ケース	材 質	A B S 樹脂
	外形寸法	W 2 0 0 × H 2 3 2 × D 5 1 (ただし、突起部分は含まない)
	色	日塗工 □ 2 2 - 9 0 B (マンセル値[参考] 2 . 5 Y 9 / 1) クリーム色相当
質量	約 0 . 8 5 k g	

11-4. 端末伝送器（8ビット電文16点入力用）

型式	PO8-D8-2	
接続メーター数（種類）	8ビット電文16点入力用 8ビット電文出力付きメーターを最大16台接続可能	
メーター接続方式	2心ケーブル（信号2心：AE0.9-2C）	
接続メーター8ビット電文仕様	8ビット電文出力付きメーターと通信可能	
端末伝送器-メーター間 伝送距離	パルス出力付きメーター：AE0.9を使用して100m 8ビット電文出力付きメーター：AE0.9を使用して200m	
電源	検針盤より給電（DC7V～14.5V）	
使用温度範囲	-10～60℃	
使用湿度範囲	90%RH以下（ただし、結露なきこと）	
取付方法	屋内壁面取付型（パイプシャフト内等）	
ケース	材質	ABS樹脂
	外形寸法	W200×H232×D51（ただし、突起部分は含まない）
	色	日塗工 □22-90B（マンセル値[参考]2.5Y9/1）クリーム色相当
質量	約0.85kg	

11-5. 最大表示（印刷）桁数

テナント名称	10文字
単位名称	4文字（設定器による）
メーター値	正数のみの場合・・・9桁 小数点以下がある場合・・・整数部+小数部の合計9桁
使用量	正数のみの場合・・・9桁 小数点以下がある場合・・・整数部+小数部の合計9桁
料金	9桁
前回比	5桁
前年同月比	5桁
テナント総合計金額	9桁
税金額	9桁

§12. 付属品

- 記録紙（2個）・・・三栄電機株式会社製 型式：μTP-58E
記録紙は指定のものを使用してください。
- カギ（2個）・・・扉カギの施錠用です。扉を閉めたら必ず施錠してください。
また、カギ番号は必ず控えておいてください（巻末の保証書に記入欄があります）。万が一カギを紛失したときに、この番号で複製いたします。
- 取扱説明書・・・取扱説明書には「日常操作編」（本書）と「保守点検操作編」があります。
- 保証書（1枚）・・・本書の巻末に添付してあります。修理をご依頼されるときに必要となりますので、必要事項をご記入のうえ大切に保管してください。

お願い

性能改善のため予告なく製品仕様、その他記載内容を変更することがありますので
ご了承ください。

保証書

1. 対象製品

品名：アメリスDM 型式：CO8-2

端末伝送器 型式：PO8-04-2（4点用）、PO8-16-2（16点用）

PO8-32-2（32点用）、PO8-D8-2（8ビット電文用）

2. 保証期間

ご購入日から1年間とさせていただきます。

（ご購入日または納入日： 年 月 日）

3. 保証範囲

本製品は万全の品質保証体制で製造しておりますが、正常な使用状態において保証期間内に当社製造責任による故障が生じた場合、修理または代替品の納入を無償で行わせていただきます。

ただし、故障した製品についての無償対応の適否は当社の調査結果によるものとします。

また、以下の項目に該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) カタログ、製品仕様書、取扱説明書などの記載事項に従わないで使用した場合の故障
- (2) 火災・地震・風水害・落雷などの災害及び犯罪などの破壊行為に起因する故障
- (3) 腐食環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の生物の行為に起因する故障
- (5) 故障の原因が当製品以外に起因する故障
- (6) 出荷当時の科学・技術水準で予見不可能であった故障
- (7) 当社または当社が指定した者以外による修理や改造による故障
- (8) 不適当な点検や消耗部品の保守・交換に起因する故障
- (9) 当社の「工事指導書」に従った工事指導を守らなかったことに起因する故障
（ただし、(9)は工事指導書の存在する検針盤などの機器に限ります。）

なお、ここでいう保証は当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障から誘発されるお客様の損害（当社製品以外への損害・損傷、逸失利益、機会損失、輸送費用、工事費用等）につきましては、保証範囲外とさせていただきます。

<注記>

お客様が当社と特段の契約を締結された場合は、契約内容に応じた保証とさせていただきます。

製造元

愛知時計電機株式会社

〒456-8691 愛知県名古屋市熱田区千年一丁目2番70号

TEL (052) 661-5870

お問い合わせは、お近くの各支店、営業所へ

支店、営業所の電話番号はホームページをご覧ください。

URL : <http://www.aichitokei.co.jp>



愛知時計電機株式会社